SHARP

SHARP SOFTWARE MANUAL

X68030用

日本語マルチフォントエディタ

ユーザーズマニュアル

X68030

32 bit PERSONAL WORKSTATION

SX-WINDOW
日本語マルチフォントエディタ
ユーザーズマニュアル

SHARP®

はじめに

シャープパーソナルワークステーション「X68030シリーズ」用ウィンドウシステム「SX-WINDOW」上で動作する日本語マルチフォントエディタ「シャーペン」は、文字飾りやカラー表示などに対応した高機能文書作成ツールです。
日本語マルチフォントエディタ「シャーペン」を使うと、大半の仕事(文書およびプログラム作成)をSX-WINDOW上で行うことができます。

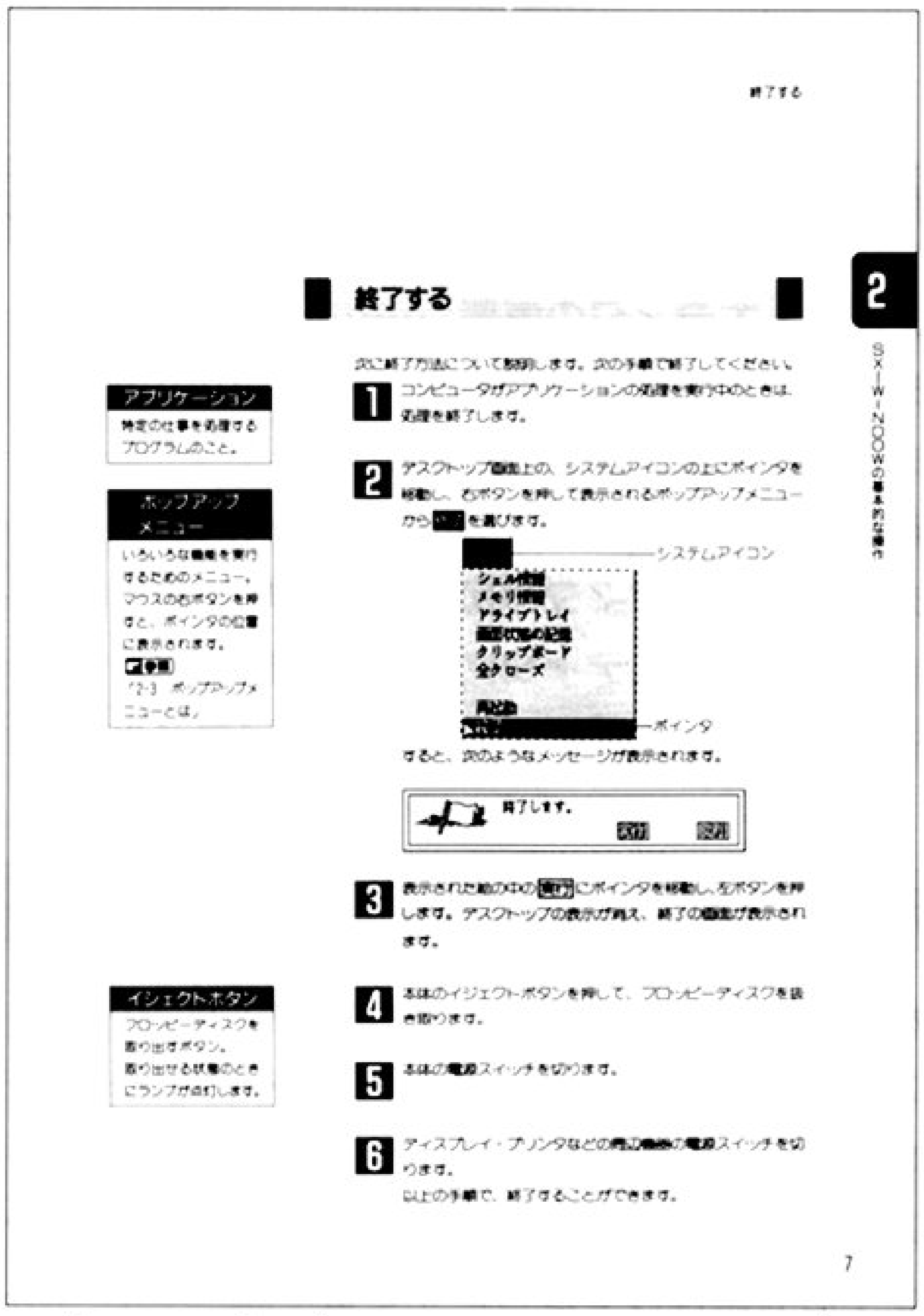
本書は「日本語マルチフォントエディタ　シャーペン」(以降マルチフォントエディタと表記)の説明書で、機能およびその使い方が解説されています。
なお、本機の取り扱いなどについては、別冊の『取扱説明書』にわかりやすく説明されています。初めて本機をお使いになる方は、必ず『取扱説明書』を先にご覧ください。
また、SX-WINDOWの基本的な使い方については、別冊の『SX-WINDOW ユーザーズマニュアル』を参照してください。

バックアップしたシステムディスクをお使いください

本機同梱のSX-WINDOWなどのフロッピーディスクは、必ずバックアップをしてください。
通常はバックアップのフロッピーディスクを用意し、マスターディスク(本機同梱ディスク)は大切に保管しておいてください。
バックアップの方法は、別冊の『SX-WINDOW ユーザーズマニュアル』を参照してください。


取扱説明書
装置の組み立てや
取り扱い方
ウィンドウを使って
グラフィカルに
操作するには
ウィンドウを
使わないで
操作するには
SX-WINDOW
ユーザーズマニュアル
SX-WINDOWの
詳しい使い方
Human68k
ユーザーズマニュアル
Human68kの使い方
文書やテキストデータを
使うには
SX-WINDOW
日本語マルチフォントエディタ
ユーザーズマニュアル
日本語エディタの使い方
自分でプログラムを
作ってみる
Let's Begin!
Take it easy!
Fight!
日本語入力・辞書ユーティリティ
ユーザーズマニュアル
日本語を入力する方法
辞書の使い方
X-BASIC
ユーザーズリファレンス
マニュアル
X-BASICのプログラミング

本書の表記について


終了する

2

SX-WINDOWの基本的な操作

終了する

次に終了方法について説明します。次の手順で終了してください。

1 コンピュータがアプリケーションの処理を実行中のときは、処理を終了します。

2 デスクトップ画面上の、システムアイコンの上にポインタを移動し、右ボタンを押して表示されるポップアップメニューから[illegible]を選びます。

すると、次のようなメッセージが表示されます。

3 表示された絵の中の実行にポインタを移動し、左ボタンを押します。デスクトップの表示が消え、終了の画面が表示されます。

4 本体のイジェクトボタンを押して、フロッピーディスクを抜き取ります。

5 本体の電源スイッチを切ります。

6 ディスプレイ・プリンタなどの周辺機器の電源スイッチを切ります。
以上の手順で、終了することができます。

アプリケーション
特定の仕事を処理するプログラムのこと。

ポップアップメニュー
いろいろな機能を実行するためのメニュー。マウスの右ボタンを押すと、ポインタの位置に表示されます。
参照
「2-3 ポップアップメニューとは」

イジェクトボタン
フロッピーディスクを取り出すボタン。取り出せる状態のときにランプが点灯します。

7

欄外の表記と意味

参照　参照していただきたいほかのページやマニュアルが書かれています。

（囲み）　本文中の用語を説明しています。

本文の表記と意味

A　押すキー

情報　ポップアップメニューから選ぶ項目

実行　ウィンドウやダイアログの中から選ぶスイッチ・ボタン

メモ　補助的な操作や、知っておいていただきたいことが書かれています。

注意　絶対にしてはいけないことが書かれています。

（囲み）　操作にともなって、おぼえていただきたいことがまとめられています。

ポップアップメニュー、ウィンドウ、ダイアログについては、『SX-WINDOWユーザーズマニュアル』を参照してください。

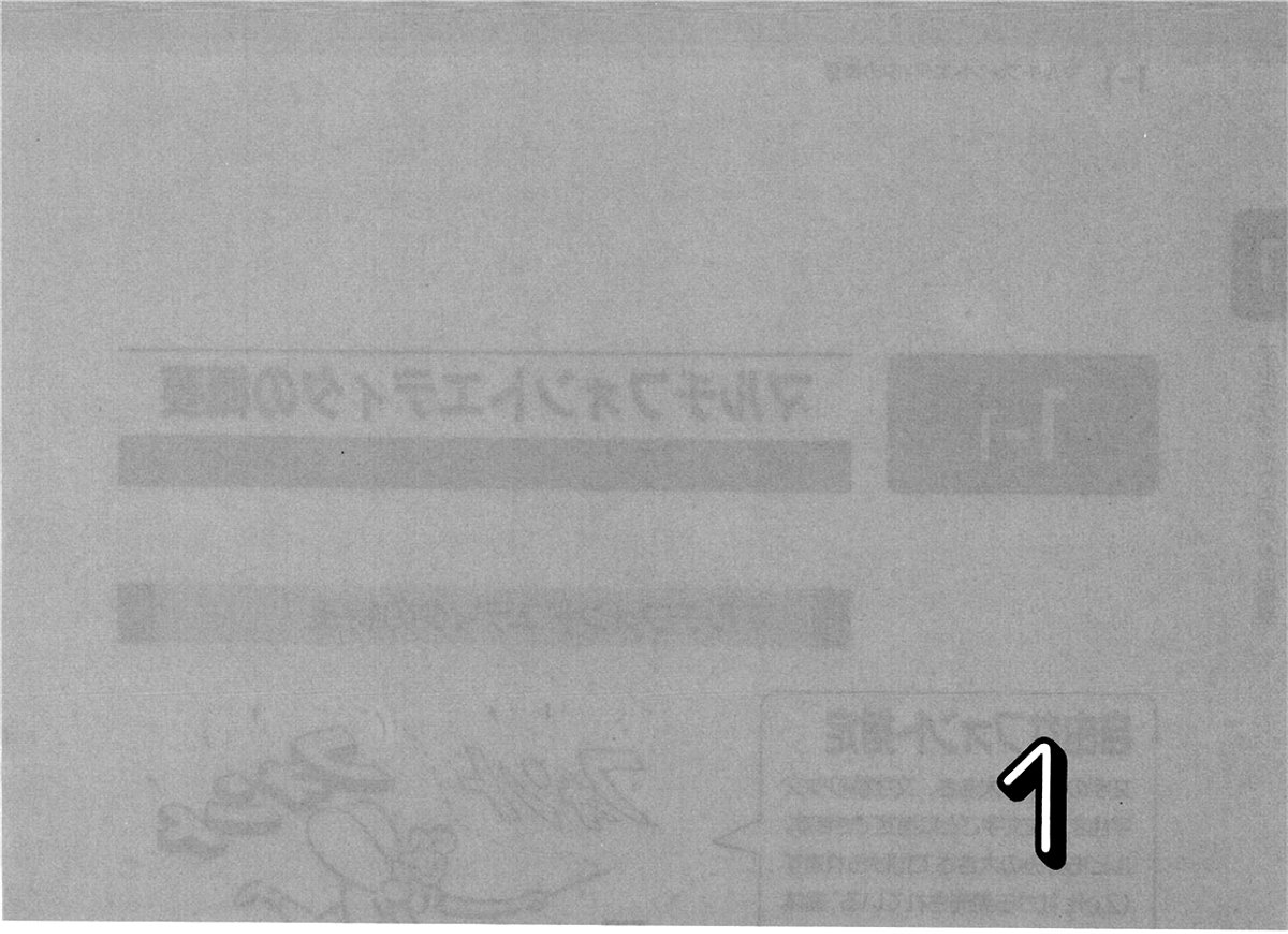
メモ　本書では、文書編集モードを中心に説明します。

目　次

3　文章などの編集

4　マルチフォントエディタの応用

付録



1

マルチフォントエディタの概要

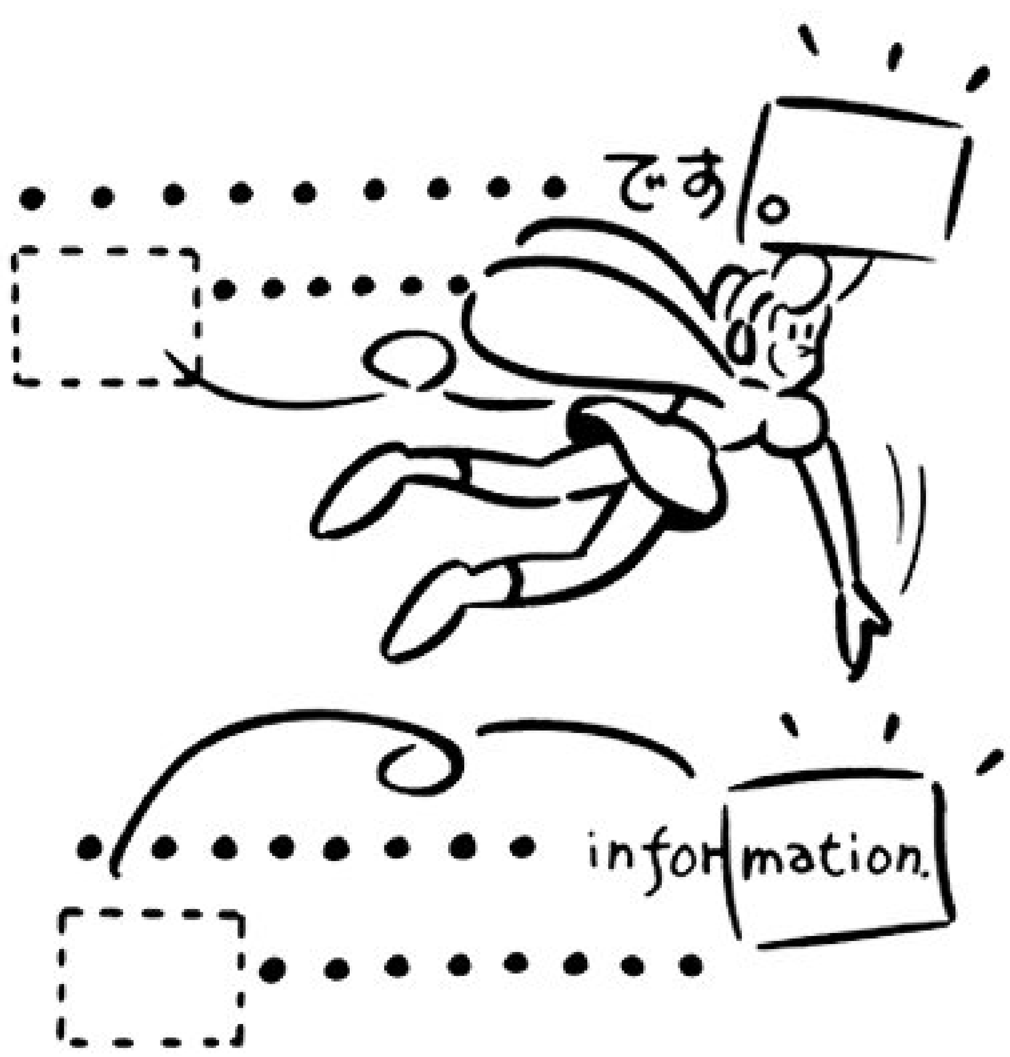
1-1 マルチフォントエディタの概要

マルチフォントエディタの特長

自由なフォント指定

文字の種類、大きさ、文字飾りや文字色までを文字ごとに指定できます。ルビも好みの大きさで付けられます（Zeit 社から発売されている" 書体倶楽部"のフォントを使用できます）。



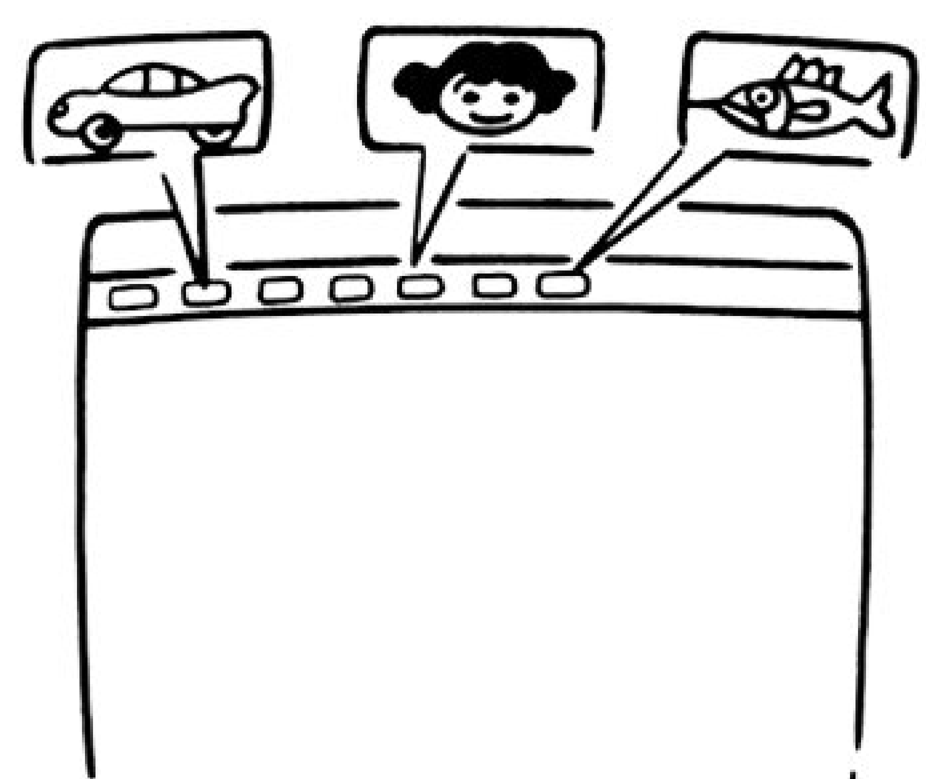


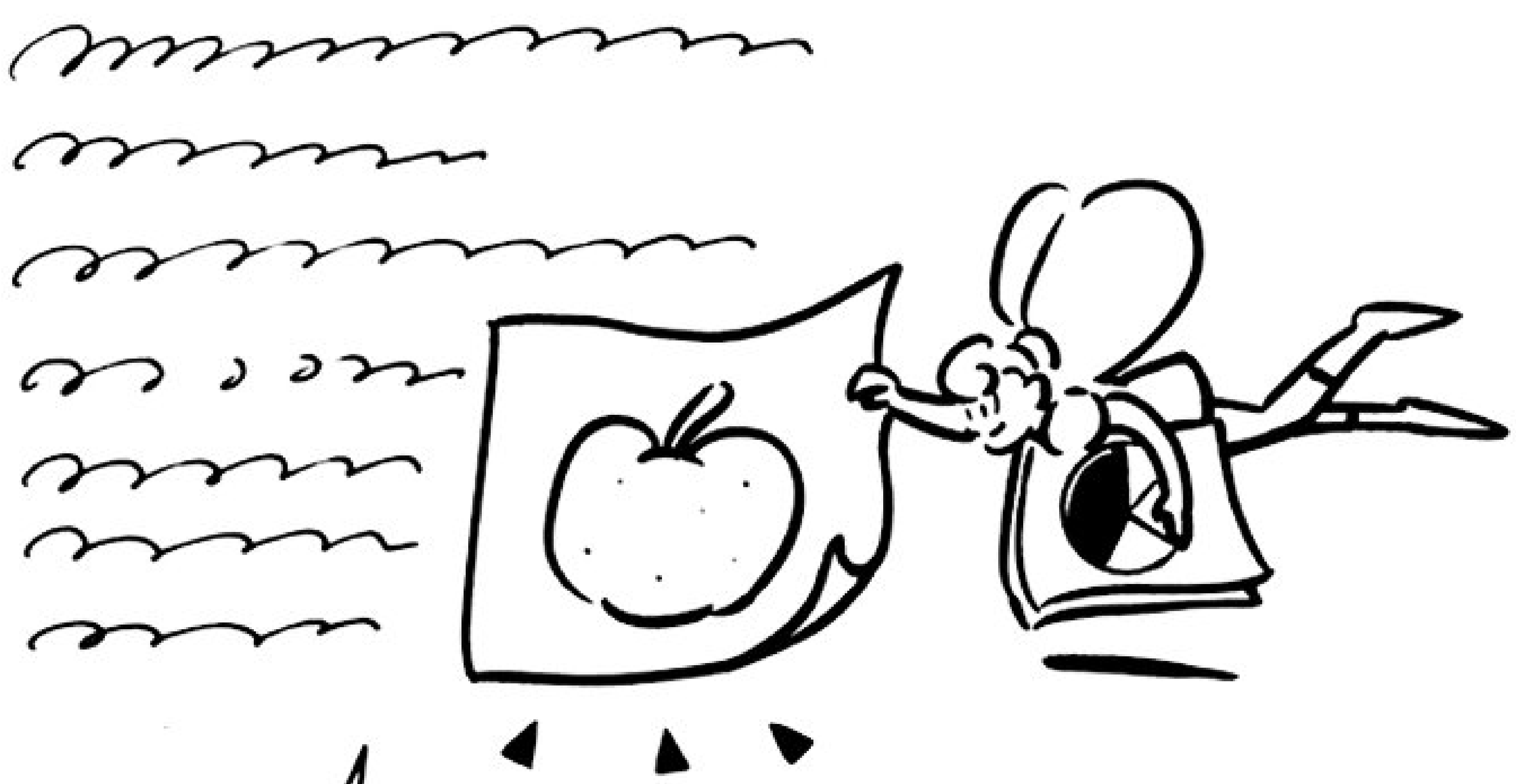
禁則処理機能

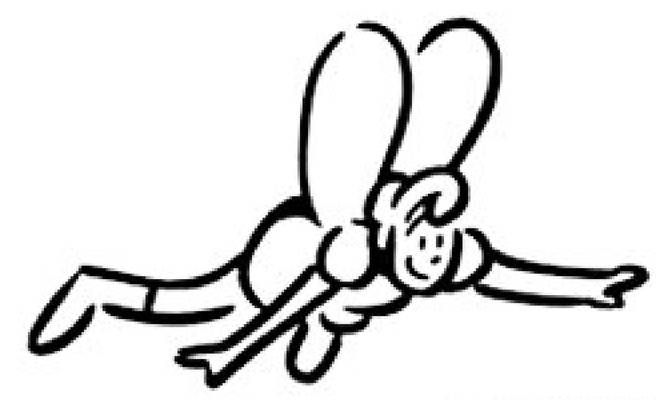
禁則処理（追い出し、ぶら下がり）、英文用ワードラップなどでワープロ的な使い方ができます。

ユーザーカスタマイズ機能

機能やマクロのキー割り付け、アイコンやメニューの変更など、使いやすい環境を自由に作れます。

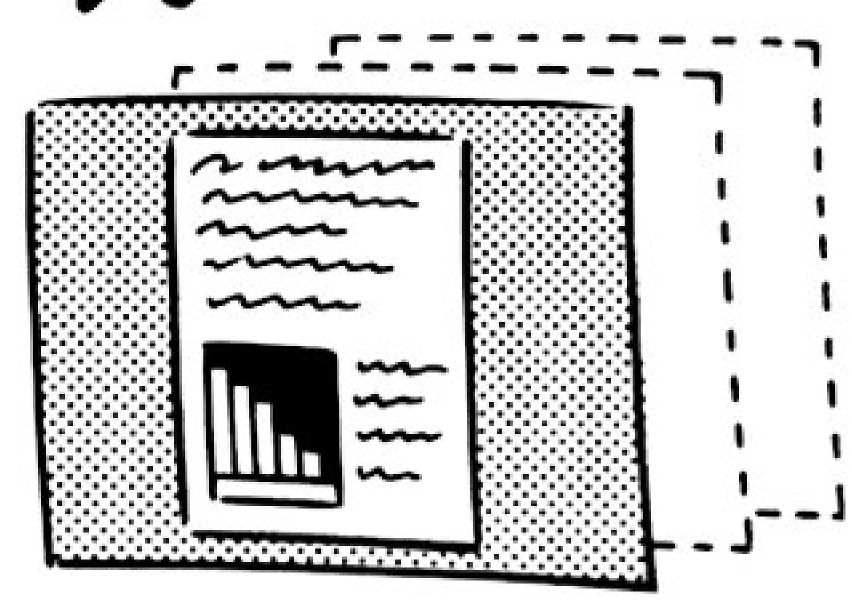






イメージデータの貼り付け

パターンエディタなどで作ったイメージデータを自由に貼り付けられます。



シングルウィンドウモード

一つのウィンドウに複数のファイルを管理させ、必要に応じてファイルを切り替えられます。複数のウィンドウを重なるように開くことがないので、デスクトップでの作業がシンプルになります。





リアルなカラー表示印刷

指定したカラーや大きさをそのまま表示・印刷できます。縮小表示で文書のレイアウトも確認できます。

多彩な編集機能

矩形でのカット・コピー、矩形でのペースト、マークジャンプ機能などで簡単に編集できます。

マルチフォントエディタの印刷例

市販の文字フォントを使用できます

卒業祝賀パーティのご案内

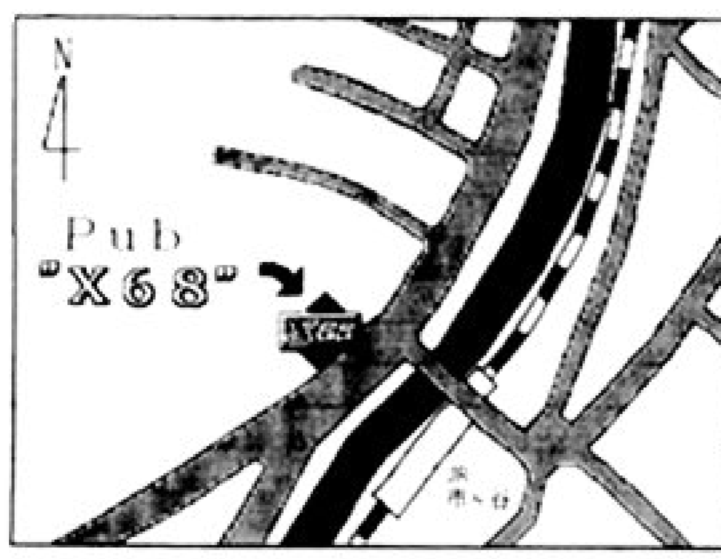
桜のつぼみもふくらみ、春も盛りとなってまいりました。
母校、**早川大学**での卒業式も無事に終わり、そろそろ社会人としての準備も整ってきた頃でしょう。
入学難関を突破したのは、ついこのあいだのような気がしますが、過ぎてしまうと早いものですね。
さて、さまざまな思いを込めて学生時代をふり返り、来るべき社会人生活への希望を語り合うべく、卒業祝賀パーティーを計画しました。
　お忙しいこととは万々承知ですが万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い致します。

記

日時：4月17日金曜日　午後6時～9時

場所：市ヶ谷　Pub 'Ｘ６８'（えっくすろくはち）（地図参照）

ＪＲ市ヶ谷駅より
　徒歩３分です。
チタンブラックの
ツインタワービル３Ｆです。



金額：５,０００円（当日ご持参ください）

カリキュラム：

６：００～６：１０	恩師挨拶、乾杯
６：１０～８：００	懇談会、食事会 （この間、７時頃より我らが仲間 石岡君のサックス演奏があります）
８：００～９：００	カラオケ大会、ビンゴゲームなど （お忙しい方は、ここからの参加も大歓迎）

※なお、美酒を用意しているため一部カリキュラムに変更が生じる場合があります。

文字の上を揃えることができます

文字ごとに任意のサイズを指定できます

各種網かけ、アンダーラインが使用できます

各種文字飾り付きのルビを書けます

各種文字飾りを使用できます

改行幅の指定で、イメージの横に文字を書いたり、文字の重ね合わせをすることができます

イメージデータを貼り込めます

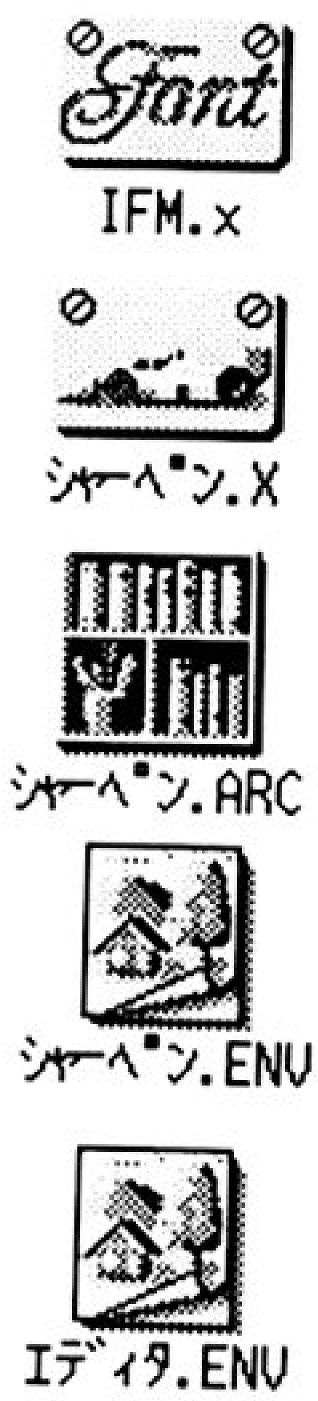
罫線文字をカーソル移動で簡単に書くことができます

その他、白黒４階調とカラー４色を表示、印刷することができます

1-2 操作する前に

マルチフォントエディタの起動に必要なもの

マルチフォントエディタに必要な環境・ファイル



マルチフォントエディタを使うときは、まず次の環境・ファイルが必要です。

X68000/X68030シリーズのセット
Human68k　ver.3.0以上
SX−WINDOW　ver.3.0以上
IFM.X……………………（フォントマネージャ使用時）
シャーペン.X…………（マルチフォントエディタの本体）
シャーペン.ARC……（マルチフォントエディタの外部コマンドアーカイブファイル）
シャーペン.ENV………（マルチフォントエディタの文書編集環境ファイル）
エディタ.ENV…………（マルチフォントエディタのエディタ環境ファイル）

検索などの機能は外部コマンドとなっておりシャーペン.ARCの中に収められています。

キーの割り当てやメニューなどの環境は、シャーペン.ENV、またはエディタ.ENVに収められています。

なお、シャーペン.X、シャーペン.ARC、シャーペン.ENV、エディタ.ENVは同じディレクトリに置いてください。

> メモ　より快適な操作環境を得るために、ハードディスクでのご使用をお勧めします。

マルチフォントエディタの起動時のファイル名

マルチフォントエディタの実行ファイル(シャーペン.X)は、自分のファイル名と同じファイル名をもつ外部コマンドファイル(シャーペン.ARC)と環境ファイル(シャーペン.ENV)を読み込んで起動します。
例えば、「SX ワープロ.X」と実行ファイル名を変更したときは、起動時に、SX ワープロ.ARCと、SX ワープロ.ENV が読み込まれます。

2

マルチフォントエディタの基本的な操作

2-1 起動開始から終了まで

編集の開始

マルチフォントエディタには、作成するテキストによって2つのモードがあります。

- **文書編集モード**……ワープロ的な文書などの作成用
- **エディタモード**……プログラムなどの作成用

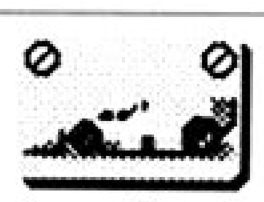
マルチフォントエディタを起動するときは、次のようにします。

1 次のようにしてSX-WINDOWを起動します。
本体のフロッピーディスクドライブ0に、SX-WINDOWシステムディスクを入れます。
また、フロッピーディスクドライブ1に、SX-WINDOWアプリケーションディスク1を入れ、本体の電源を入れます。

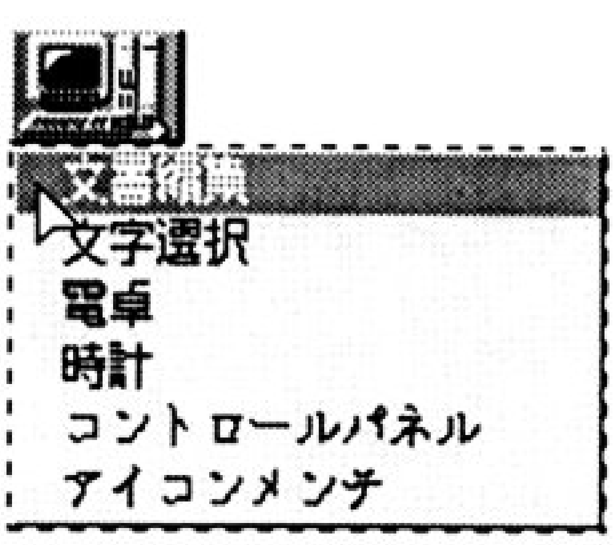
2 アプリケーションディスク1の「シャーペン.X」を、左ダブルクリックします。
または、デスクアクセサリアイコンのポップアップメニューから文書編集を選びます。
文書編集モードのウィンドウが開きます。

SX-WINDOWの起動

参照
「SX-WINDOWユーザーズマニュアル」



ｼｬｰﾍﾟﾝ.X



行数表示

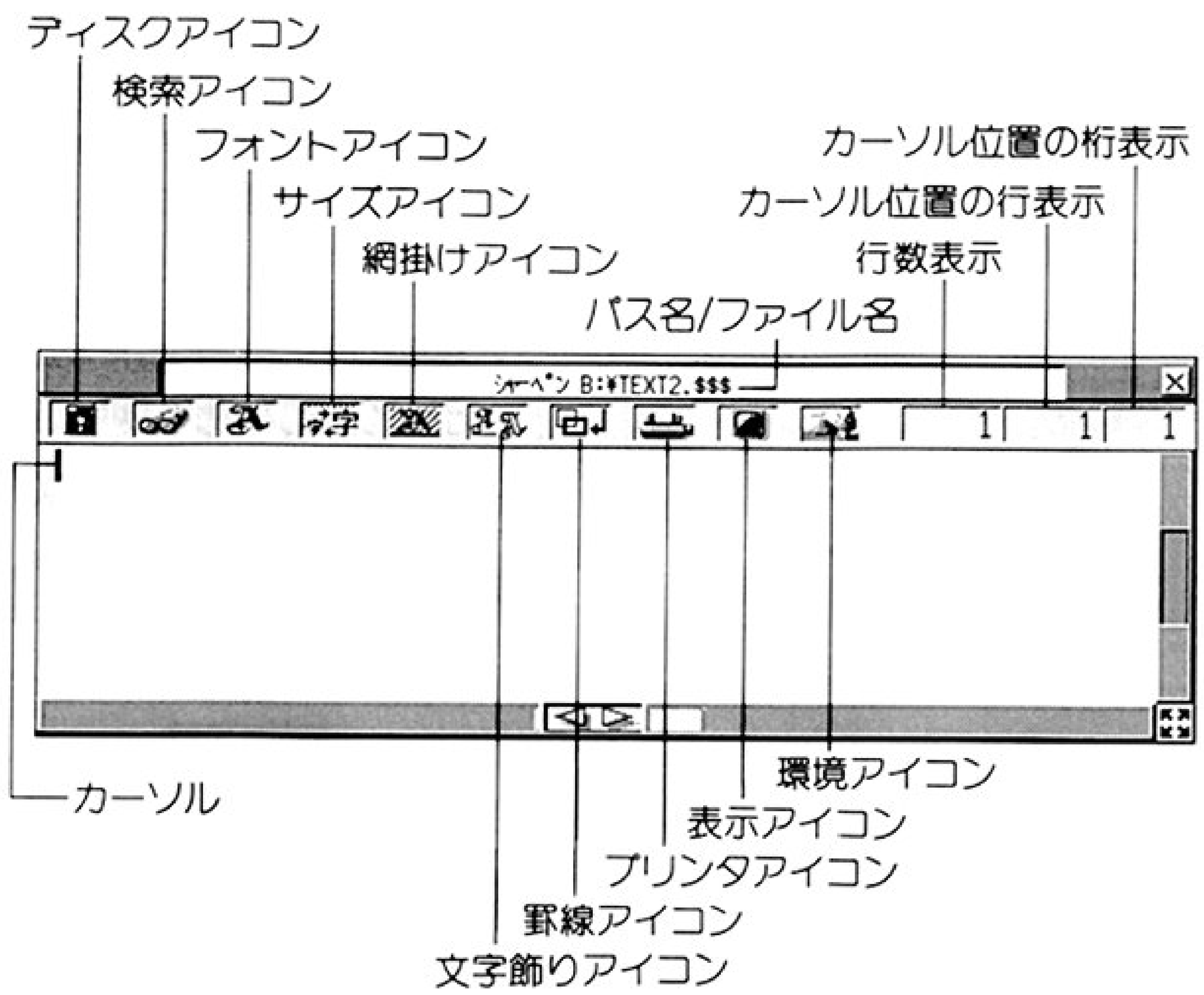
論理行数、物理行数、ページ数の表示を切り替えられます。

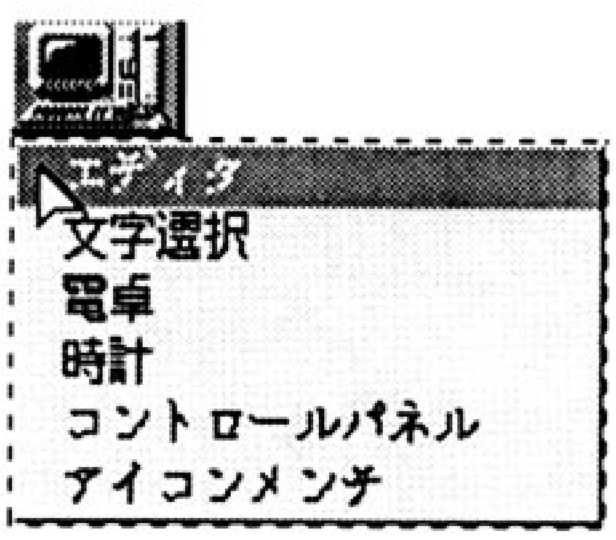
参照
「3-9・論理行表示・物理行表示・頁行数表示」

エディタモードと文書編集モードの区別

エディタモードではアイコンは文字でウィンドウの背景がライトグレー、文書編集モードではアイコンは絵柄でウィンドウの背景が白で表示されます。

●文書編集モードのウィンドウ



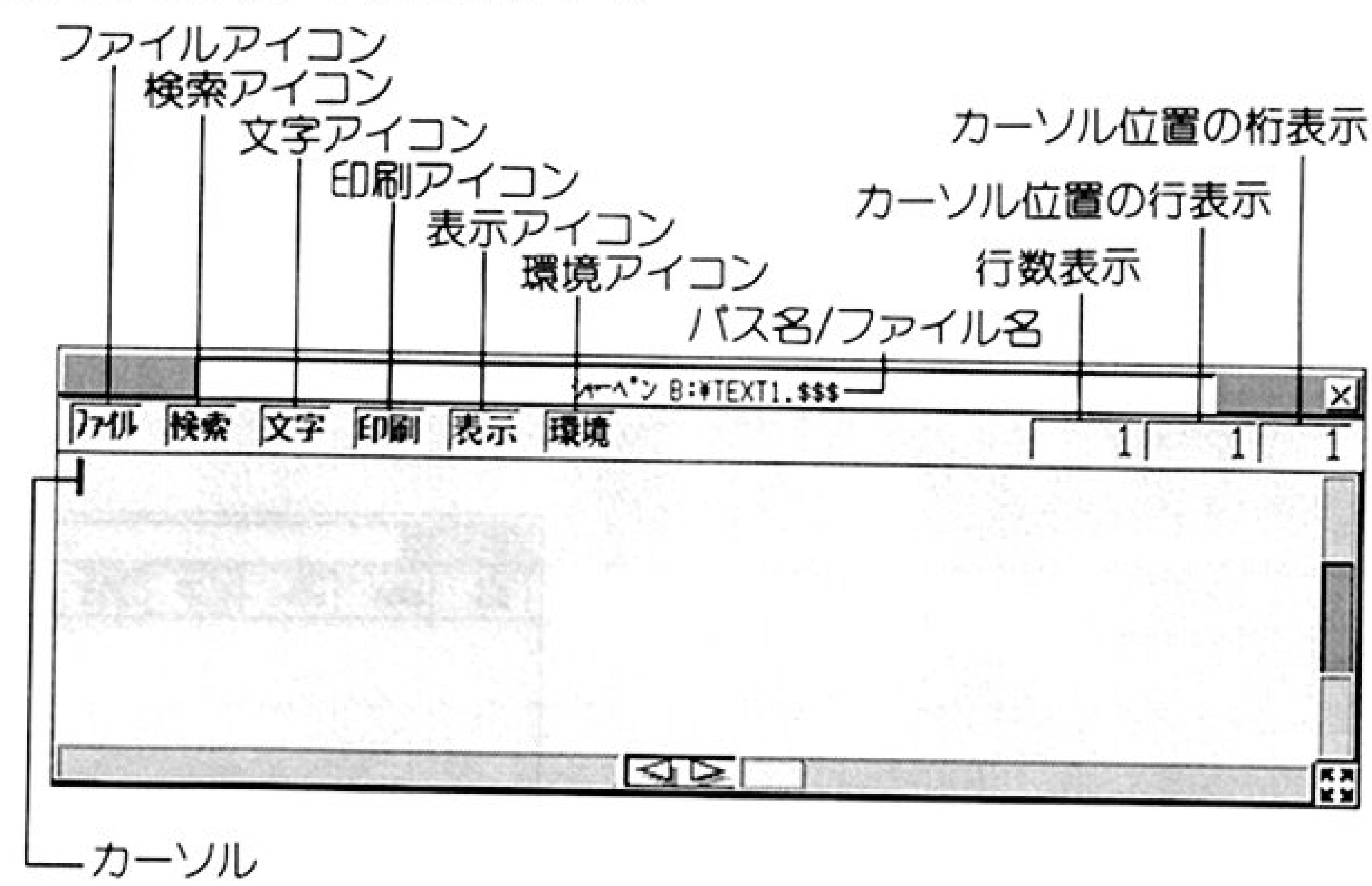


3 エディタモードのウィンドウを開くには、デスクアクセサリアイコンで［SHIFT］を押しながら右プレスで表示されるポップアップメニューから**エディタ**を選びます。
エディタモードのウィンドウが開きます。

カレントディレクトリ

起動したドライブのディレクトリ。

●エディタモードのウィンドウ



TEXTn.$$$

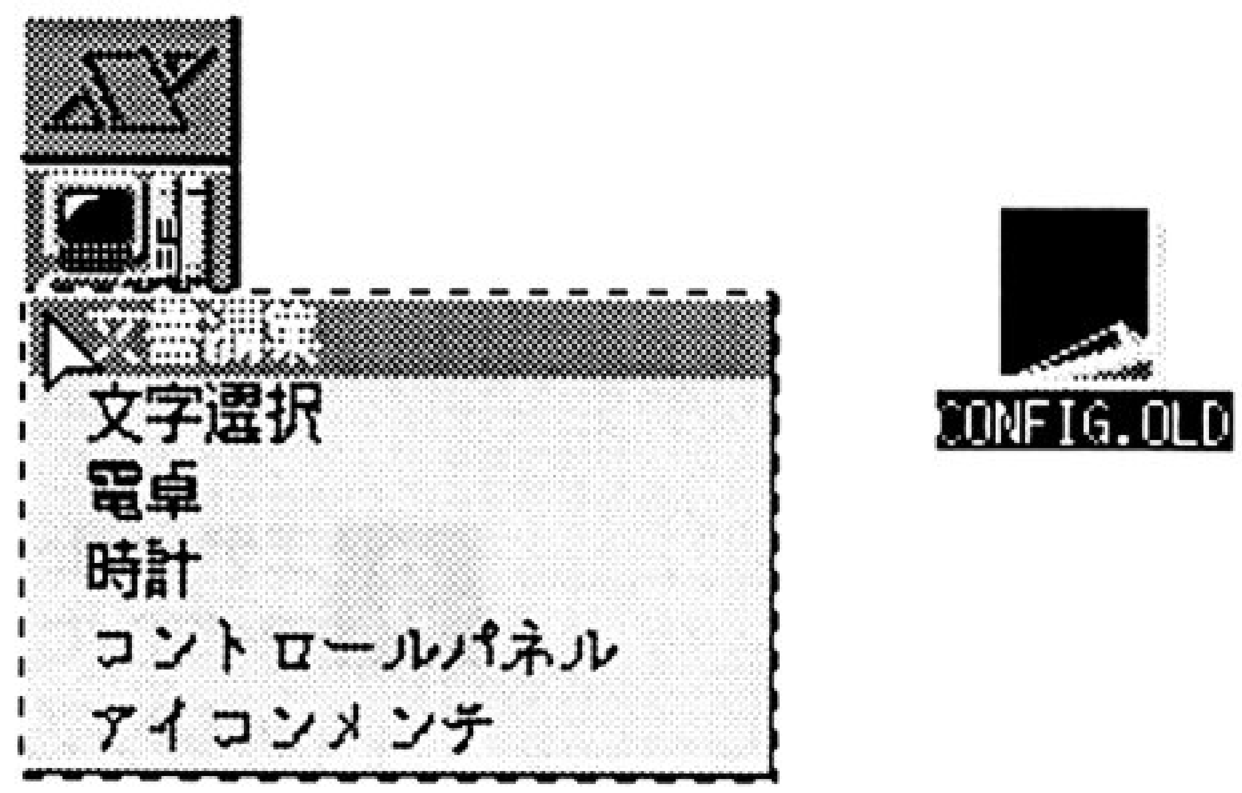
新規編集テキストに自動的に付けられるファイル名です。
n はウィンドウを開くたびに 1 から順に増えます。

ファイル名は、パス名がカレントディレクトリの「TEXTn.$$$」と自動的に付きます。新しいファイルを作るときは、パス名・ファイル名を変えてください。
作成する文書やソースプログラムによって、文書編集モードとエディタモードを使い分けてください。

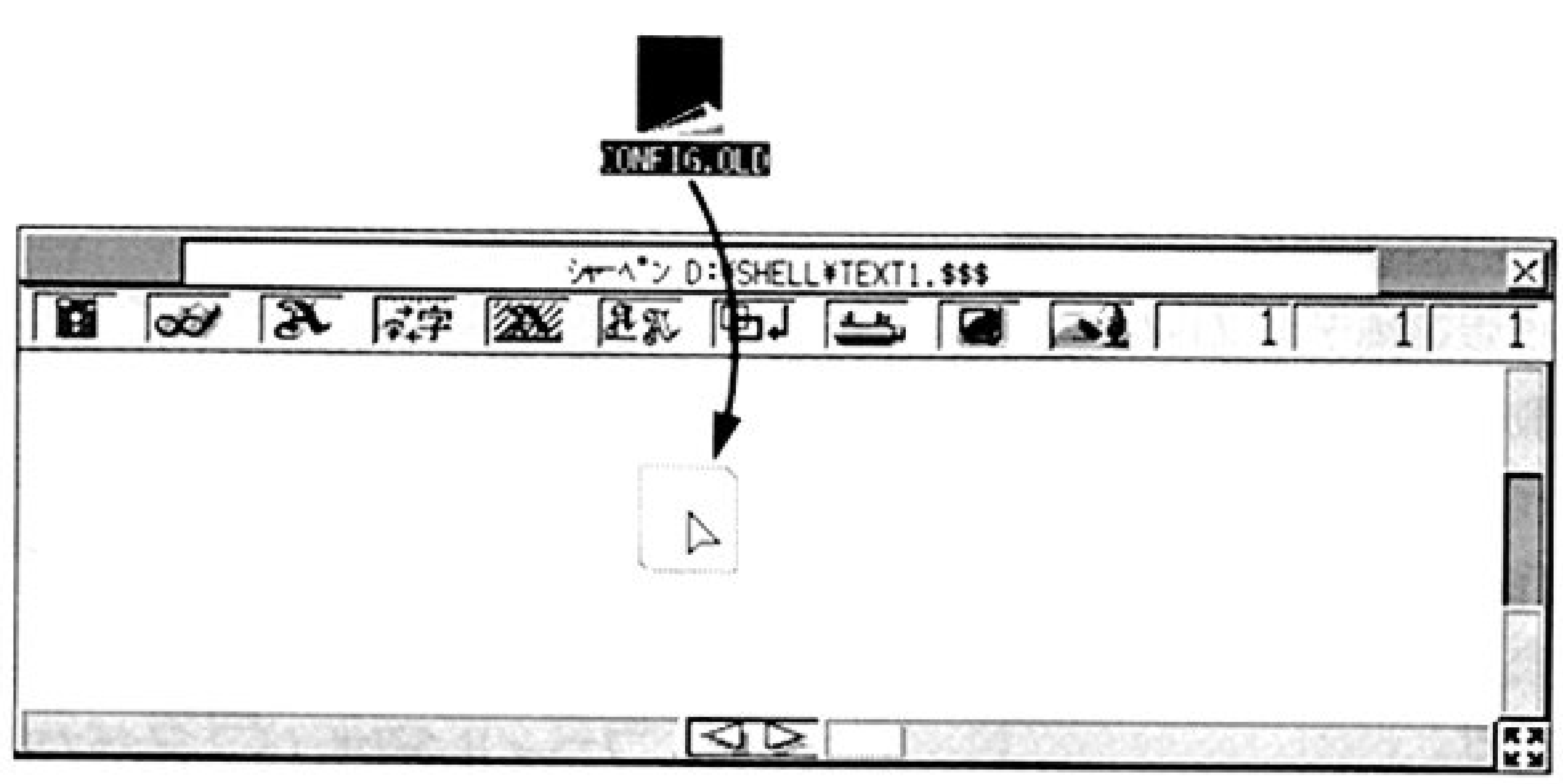
編集するファイルの呼び出し

編集するファイルをマルチフォントエディタに呼び出すには、次の3つの方法があります。

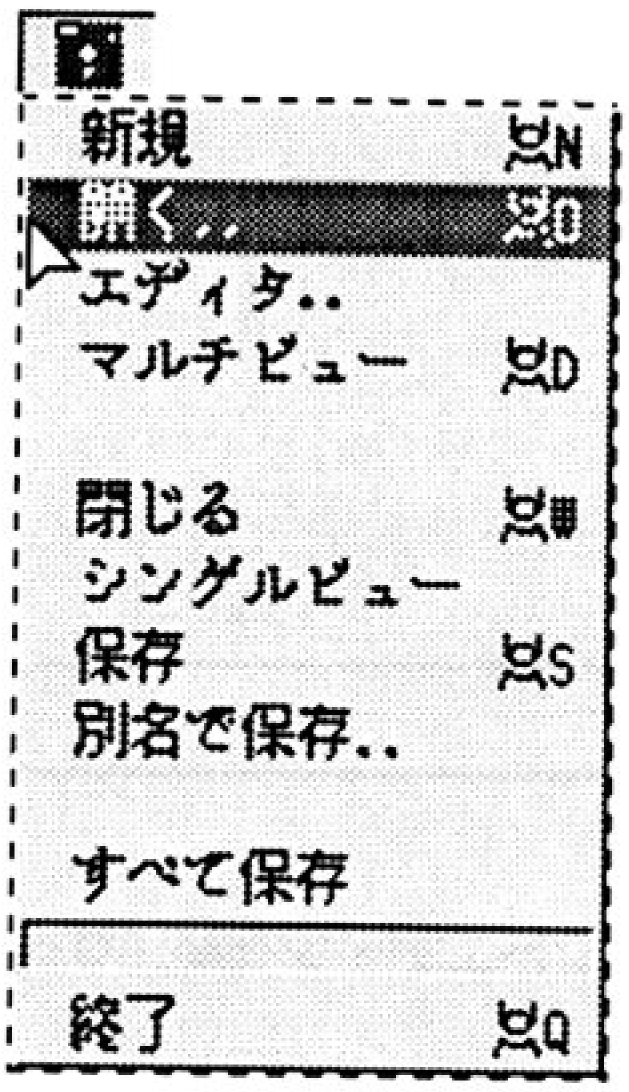
①編集するファイルアイコンを左クリックして選択状態にしたあと、デスクアクセサリアイコンのポップアップメニューから**文書編集**または**エディタ**を選びます。
それぞれのモードでウィンドウが開き、選択されたファイルが読み込まれます。



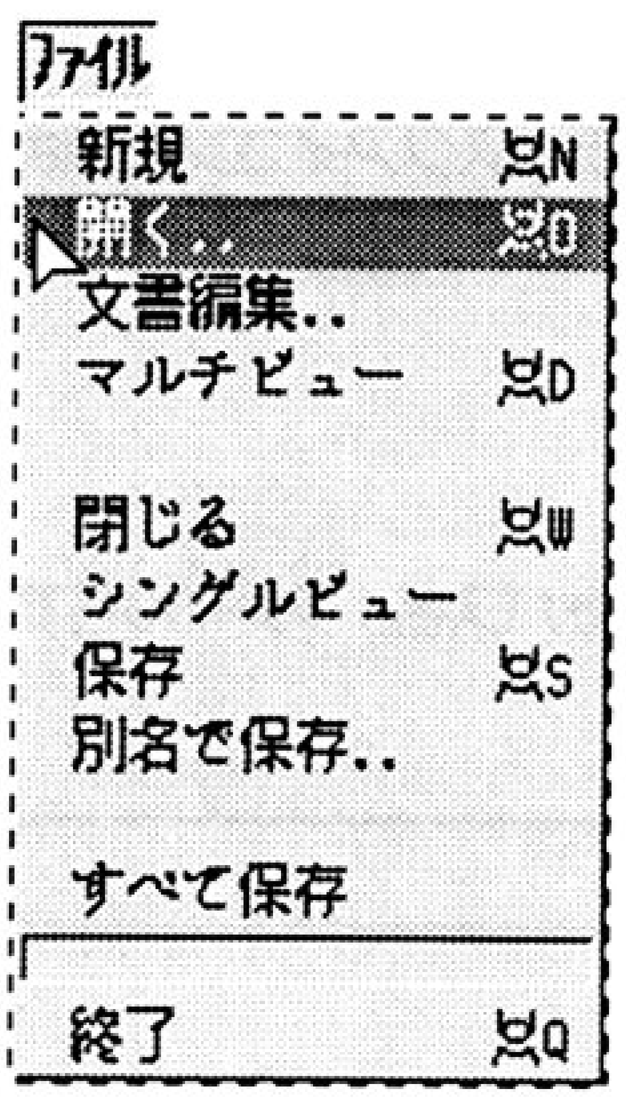
②開いているマルチフォントエディタウィンドウに、編集したいファイルアイコンをドロップします。
それまで開いていたテキストファイルに代わって、ドロップしたファイルが読み込まれます。



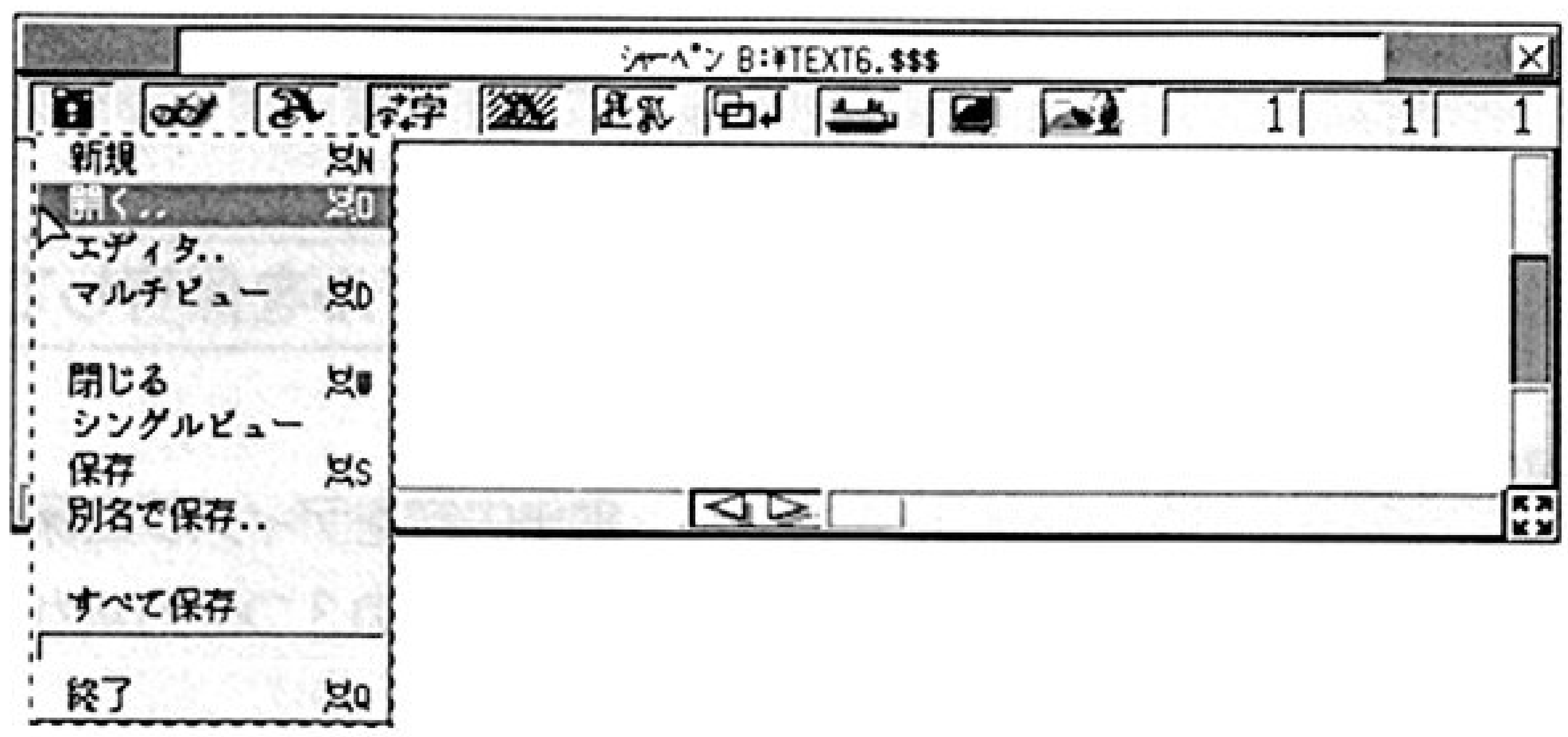
●文書編集モード

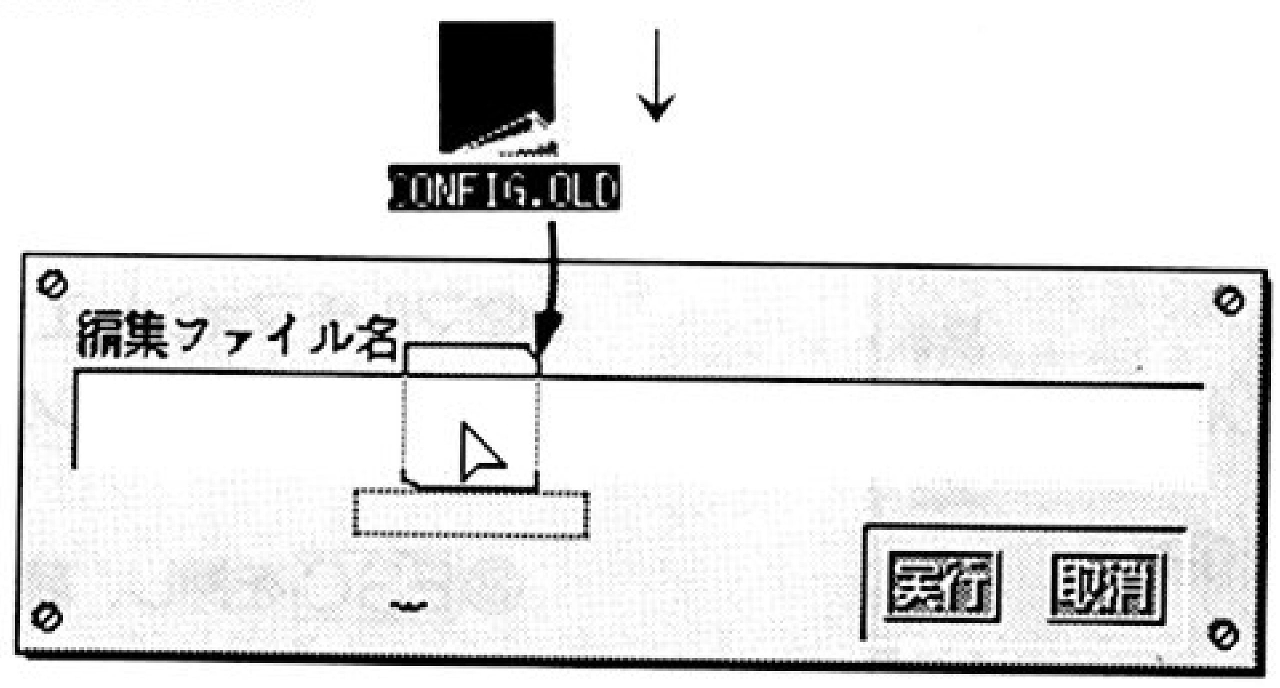


●エディタモード



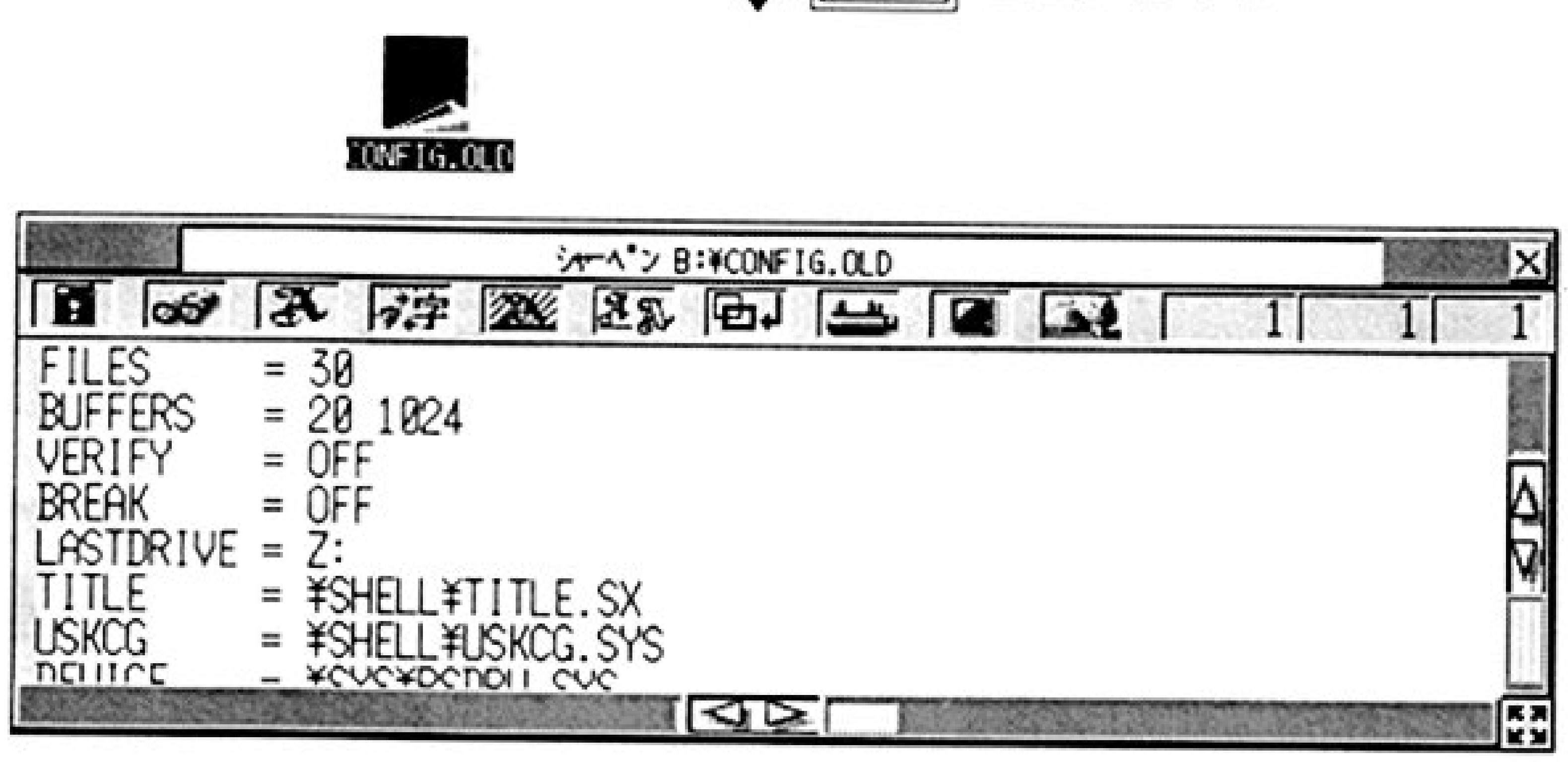
③開いているマルチフォントエディタウィンドウのディスクアイコンまたはファイルアイコンのポップアップメニューから 開く.. を選び、ファイル名を指定します。
開いているウィンドウと同じモードで「マルチフォントエディタ」ウィンドウが開き、指定したファイルが読み込まれます。





ダイアログ上にアイコンをドロップすると、ファイル名が入力されます。

↓ 実行 を左クリック



編集の終了

マルチフォントエディタの終了には、次の2つの方法があります。

①保存してから終了する
②保存しないで終了する

ファイルを保存してから終了する

編集内容をディスクに保存してマルチフォントエディタを終了するには、次の3つの方法があります。

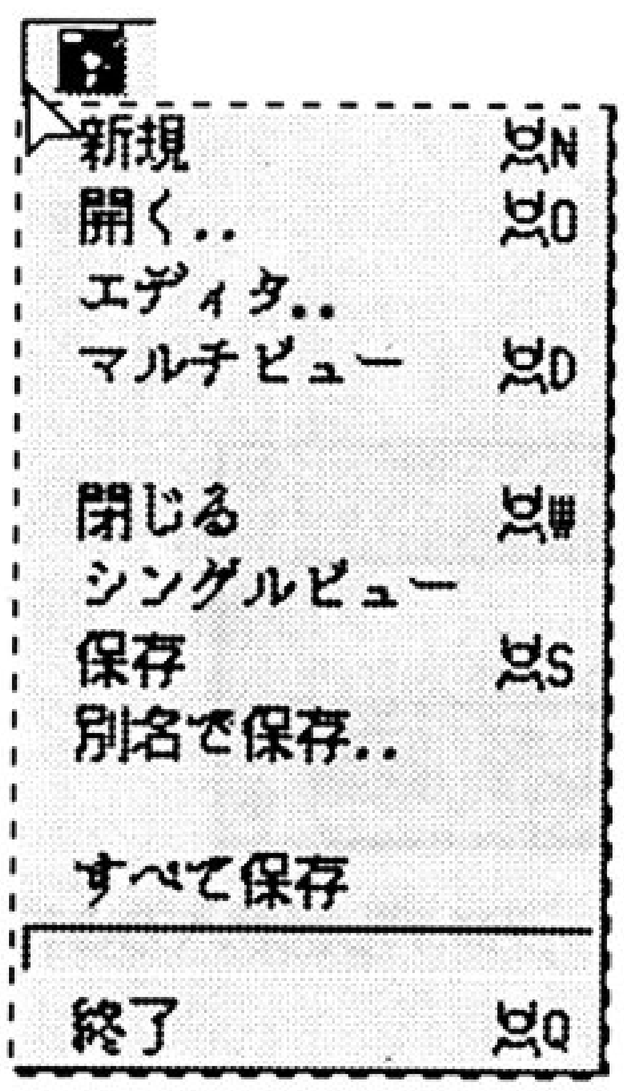
①マルチフォントエディタウィンドウの、ディスクアイコンまたはファイルアイコンから保存を選び、続いて終了を選びます。

②マルチフォントエディタウィンドウの、ディスクアイコンまたはファイルアイコンからすべて保存を選び、続いて終了を選びます。

③ESCを押し、続いてEを押します。

編集中のファイルは、タイトルに表示されたパス名、ファイル名でディスクに保存されます。

●文書編集モード



ファイルを保存しないで終了する

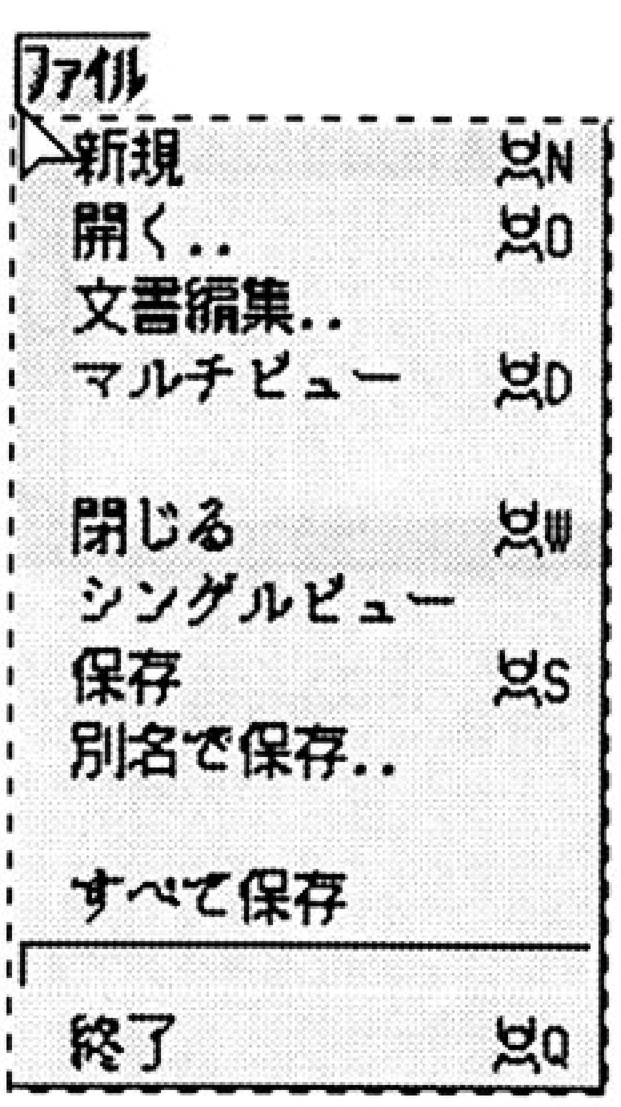
編集内容を破棄し、編集前の状態で終了するには、次の3つの方法があります。

①マルチフォントエディタウィンドウの、ディスクアイコンまたはファイルアイコンから終了または閉じるを選びます。

②マルチフォントエディタウィンドウの、右上のクローズボタンを左クリックします。

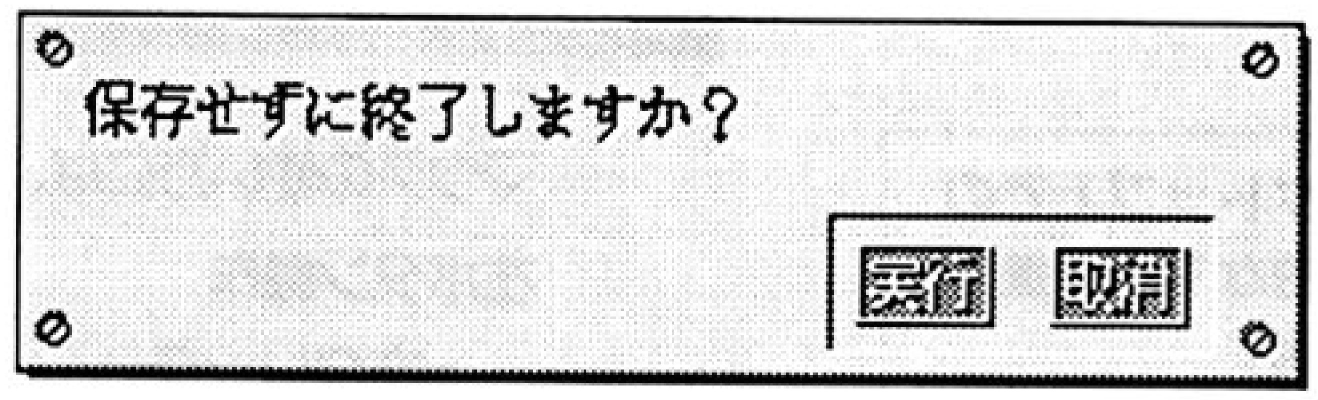
③ESCを押し、続いてQを押します。

●エディタモード



ここでは、①の操作について説明します。

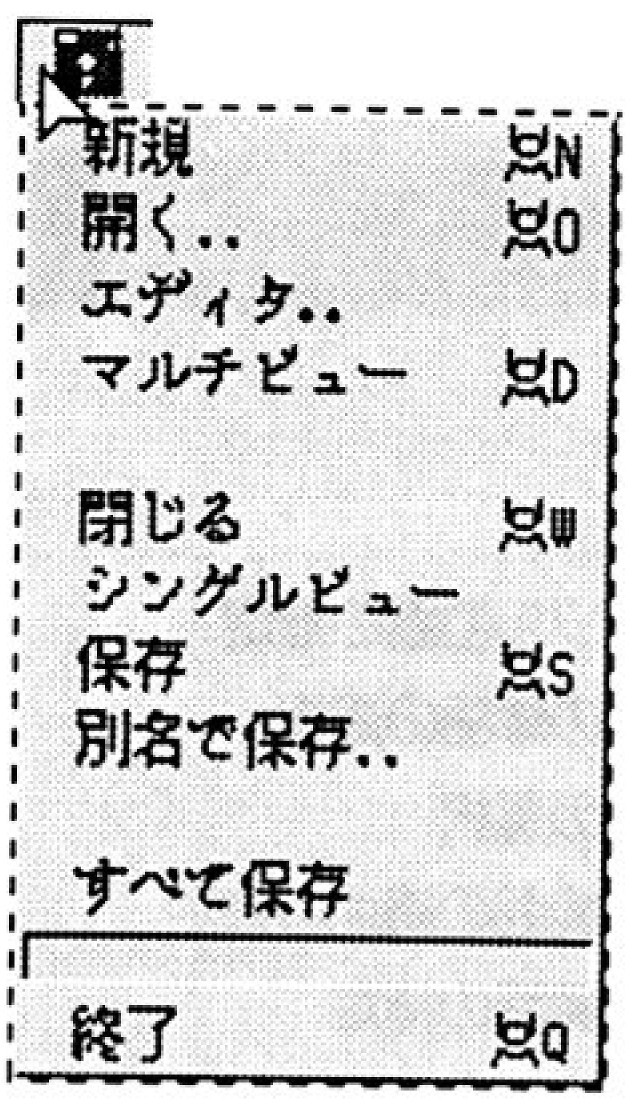
1 マルチフォントエディタウィンドウの、ディスクアイコンまたはファイルアイコンから 終了 または 閉じる を選びます。
ファイル内容に変更があるときは、次のダイアログが表示されます。変更がないときは、そのまま終了します。



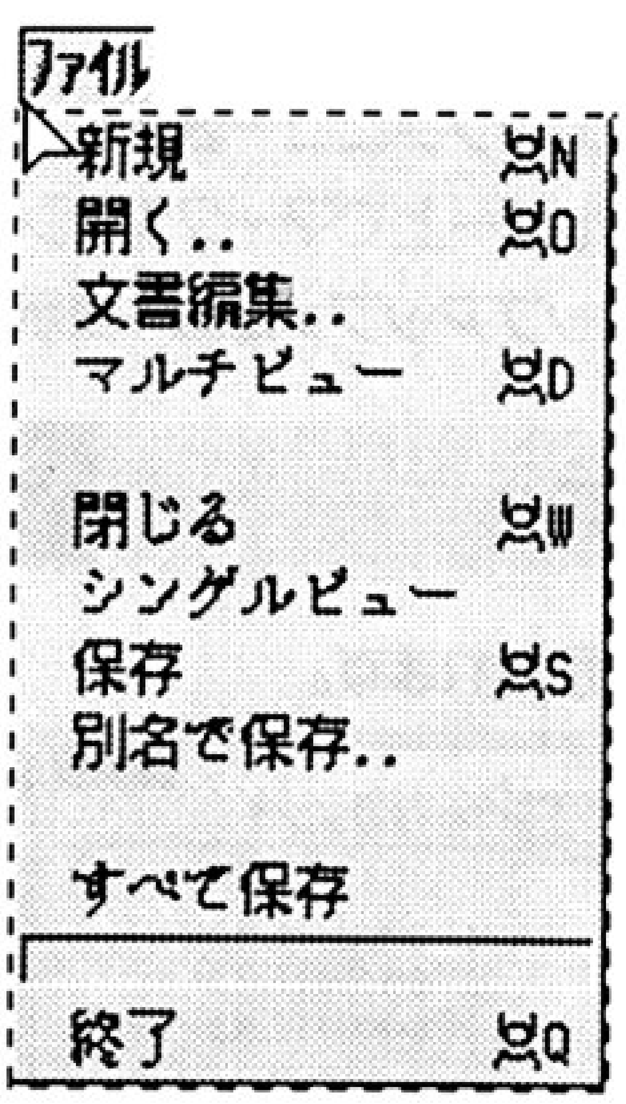
2 編集中の内容を保存しないで終了するときは、実行 を左クリックします。
編集を継続するときは、取消 を左クリックします。

> **メモ** ディスクアイコンまたはファイルアイコンのポップアップメニューから 別名で保存.. を選び、ファイル名を入力してから 終了 を選ぶと、編集中のファイルはファイル名が変更され編集内容を保存して終了します。

●文書編集モード



●エディタモード



2-2 マルチフォントエディタの基本操作

マウスの使い方

デスクトップ上での一般的なマウス操作
参照
『SX - WINDOW ユーザーズマニュアル』

左トリプルクリック
マウスの左ボタンを続けて3回押して離すことをいいます。

マウスの使い方には、次の操作があります。

左ボタン操作

- 左クリック……………………………カーソル位置の指定
- 左ダブルクリック…………………1つの単語の選択
- 左トリプルクリック………………1行の選択
- シフト左クリック…………………選択範囲の終点の指定
- 左ドラッグ……………………………選択範囲の指定
- コントロール左ドラッグ…………矩形範囲の選択（始点変更）
- シフトコントロール左ドラッグ…矩形範囲の選択（始点固定）
- コントロール左ドラッグ＋シフト左クリック…………一度矩形範囲を選択したあとに、その始点からシフト左クリックの位置までの矩形範囲の選択

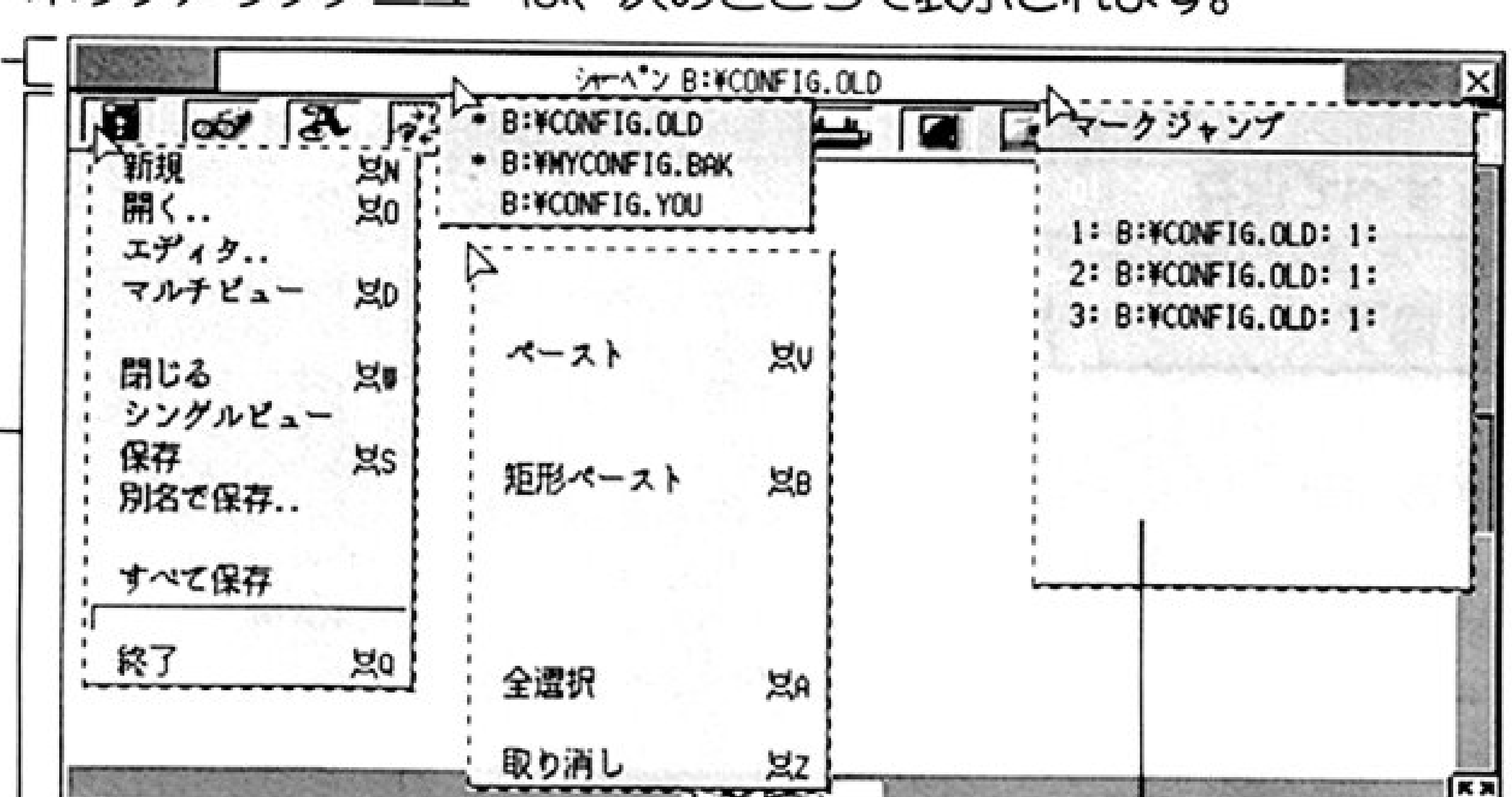
右ボタン操作

- 右プレス…………………………ポップアップメニュー表示
- シフト右プレス…………………タイトルバー上でマークジャンプのポップアップメニュー表示

ポップアップメニューの表示

ポップアップメニューは、次のところで表示されます。

ポップアップメニューは一度に1つしか表示されません。
右図は説明用のものです。



タイトルバー上で SHIFT を押しながら右プレスすると表示される（マークジャンプ）

キーボードからの文字の入力

標準状態での入力
参照
「取扱説明書」

キーボードから直接文字を入力することや、日本語フロントプロセッサを使って文字を入力することができます。
入力できる文字は、次の状態によって違います。

標準状態	全半角の英数字、記号、カタカナ、全角のひらがな
日本語入力状態	全角の漢字、ひらがな 全半角の英数字、記号、カタカナ

日本語の入力

フロッピーディスクでご使用の方は、日本語入力状態にする前に、辞書ディスクをフロッピーディスクドライブ1に入れます。
参照
『日本語入力・辞書ユーティリティユーザーズマニュアル』

入力された文字は、あらかじめ設定されている文字の種類・大きさ・文字飾りになります。入力する前に入力環境を確認してください。
外字は、文字選択または日本語入力のコード番号入力で入力します。

なお、改行するときは、↵を押します。

入力モード

挿入・上書きモード

INSのランプの点灯／無灯に関わらず入力モードにしたがって挿入・上書きモードになります。

入力モードには、次のモードがあります。

- **通常モード**……文字の入力(挿入モード)
- **罫線モード**……罫線文字の入力(上書きモード)
  文字の入力(挿入モード)
- **上書きモード**…文字の入力(上書きモード)

メモ　疑似ダイアログが表示されたとき、実行の代わりに↵、取消の代わりにスペース、中止の代わりにESCを押して選択できます。

機能キーの使い方

機能キー一覧
参照
「付－3　操作一覧」

CTRLやESCなどの機能キーを使って操作できます(キーボードショートカット)。

- ESCプレフィックス ……………ESCを押し、続いてキーを押す(続けて押すキーは、CTRLシーケンスを含む)
- ファンクションキー …………………F1～F10、HOME、UNDOなどの機能キーを押す
- OPT.1シーケンス ……………OPT.1を押しながらキーを押す
- SHIFT＋ファンクションキー… SHIFTを押しながらF1～F10、HOME、UNDOなどの機能キーを押す
- CTRLシーケンス ………………CTRLを押しながらキーを押す
- SHIFT＋CTRLシーケンス… SHIFTとCTRLを押しながらキーを押す

これらの機能キーには、あらかじめ機能が割り付けられているものがあります。この機能を、キーボードマクロや外部コマンド、キー定義ファイルを使って自由に変えることもできます。
詳しくは、「4-3　カスタマイズ」を参照してください。

メモ　マルチフォントエディタのさまざまな機能は、選択されている文字列に対して実行されます。

2-3 文字を編集する

編集する位置の指定

編集する位置を指定するときは、次のようにします。

- 左クリック……………………………カーソル移動
- [↑]、[↓]、[←]、[→]……………………上下左右にカーソル移動
- スクロールバー………………………テキスト編集領域のスクロール
- [ROLL UP]、[ROLL DOWN]…1ウィンドウ分の上下スクロール
- マークジャンプ………………………マークを付けたところへのカーソル移動
- [F1]……………………………………カーソルをファイルの先頭に移動
- [F2]……………………………………カーソルをファイルの最終行に移動
- [CTRL]＋[D]………………………カーソルを1文字右に移動
- [CTRL]＋[S]………………………カーソルを1文字左に移動
- [CTRL]＋[F]………………………カーソルを1ワード右に移動
- [CTRL]＋[A]………………………カーソルを1ワード左に移動
- [CTRL]＋[X]………………………カーソルを1行下に移動
- [CTRL]＋[E]………………………カーソルを1行上に移動
- [CTRL]＋[C]………………………画面をロールアップ
- [CTRL]＋[R]………………………画面をロールダウン

カーソルの移動

ポインタを移動して左クリックすると、カーソルがその位置に移動します。

マークした位置にカーソルを移動する……マークジャンプ

あらかじめ登録したマーク位置にカーソルを移動するときは、マークジャンプを使います。マークジャンプを使うと、次のようなときに素早くカーソルを移動できます。

・複数の箇所を並行して編集するとき
・複数のファイルを並行して編集するとき
・ウィンドウ上に同時に表示できない離れた箇所に素早くカーソルを移動するとき

●マークを設定する

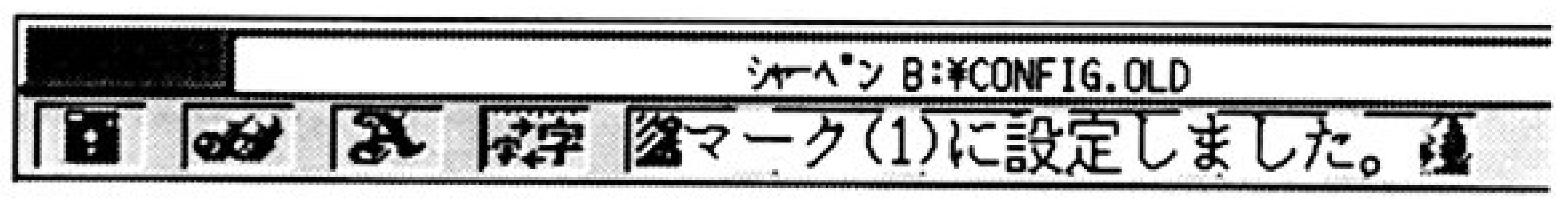
マークを設定するときは、次のようにします。

1 マークする位置にカーソルを移動し、CTRL を押しながら J を押します。



マークの登録
最大9箇所。

2 マークする番号を 1 〜 9 を押して指定します。

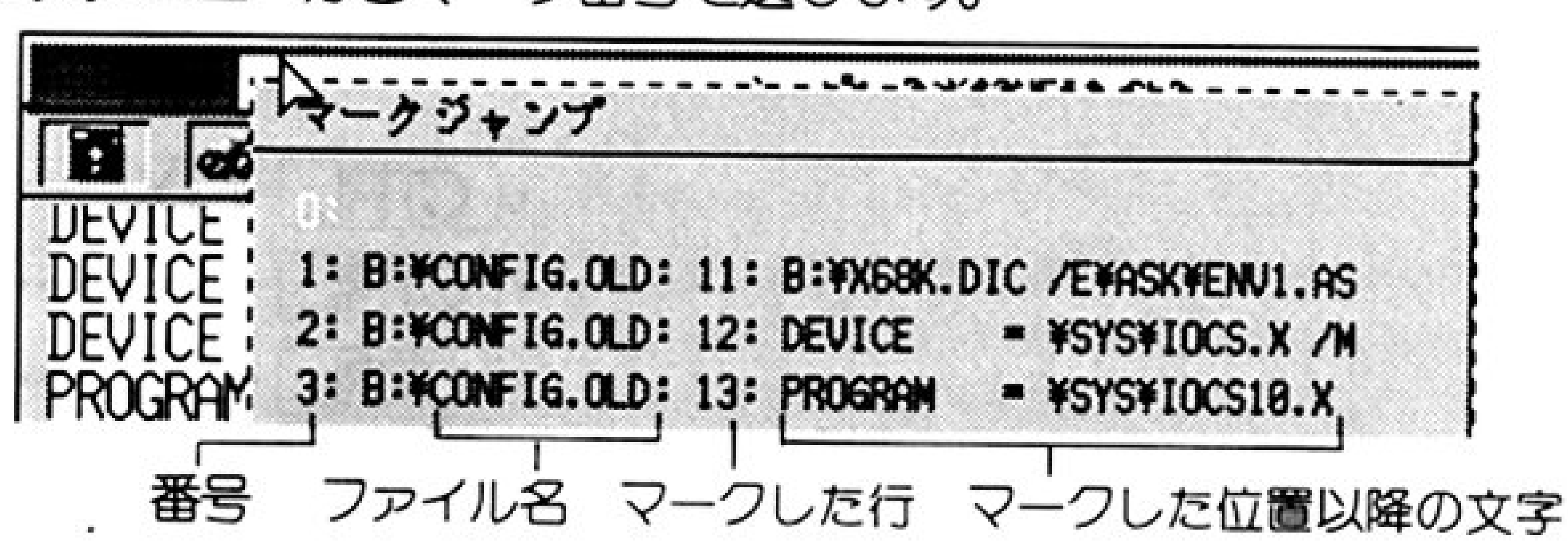


マーク登録の中止
ESC を押します。

3 続けてマークする位置にカーソルを移動し、**1**〜**2**を繰り返します。ほかのウィンドウの文字をマークすることもできます。

●マークした位置にジャンプする

マーク位置にカーソルを移動するときは、タイトルバーをシフト右プレス（SHIFT を押しながら右プレスする）して表示されるポップアップメニューからマーク番号を選びます。



マーク位置の記憶
マルチフォントエディタウィンドウをすべて閉じると、記憶したマーク位置が破棄されます。

指定した位置にカーソルが移動します。

0番は特別なマークです。カーソルを移動したあとに、元の位置に戻るときなどに使います。先頭行や最終行への移動や、検索、マークジャンプなどを実行すると、自動的に実行前の位置が設定されます。

編集範囲の選択

編集する範囲を選択するには、次の方法があります。

マウスによる選択

- 左ドラッグ ……………………ドラッグした範囲を選択
- 左ダブルクリック ……………1つの単語を選択
- 左トリプルクリック …………1行を選択
- ポップアップメニュー全選択……すべての文字を選択

マウス＋キー操作

- SHIFT ＋左クリック…………選択範囲の終点を指定
- CTRL ＋左ドラッグ …………矩形範囲を選択(始点変更)
- SHIFT ＋ CTRL ＋左ドラッグ…矩形範囲を選択(始点固定)
- CTRL ＋左ドラッグ・SHIFT ＋左クリック ………一度矩形範囲を選択したあと、その始点から SHIFT ＋左クリックの位置までの矩形範囲を選択

キー操作のみ

- OPT.1 ＋ A ……………………すべての文字列を選択
- F6 ・カーソル移動 …………キー操作による範囲指定開始/取消

> メモ SHIFT を押しながら CTRL によるキー操作でカーソルを移動すると、移動した分だけ選択されます。

選択できるデータ

文字・イメージデータ・罫線文字などすべてを編集の対象として選択できます。選択すると、編集範囲が反転します。

同じ種類の文字列

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字など文字の種類と、全角・半角の大きさが同じ文字列。

左トリプルクリック

左ボタンを素早く3回続けてクリックすること。

マウスによる選択

●左ドラッグ

左ドラッグすると、ドラッグした範囲が選択されます。

●左ダブルクリック

左ダブルクリックすると、同じ種類の文字列が単語として選択されます。



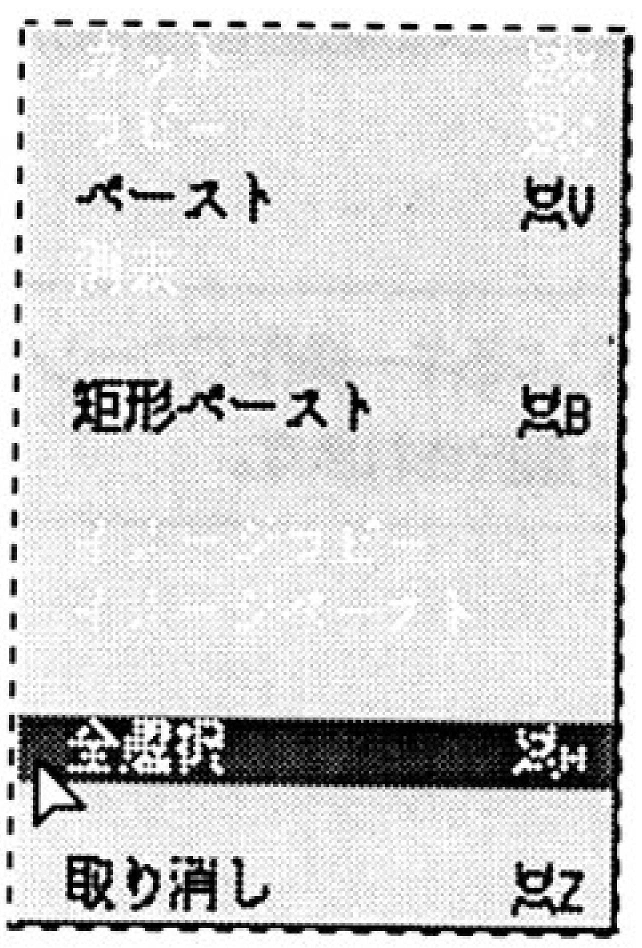
●左トリプルクリック

左トリプルクリックすると、1行が選択されます。



●全選択

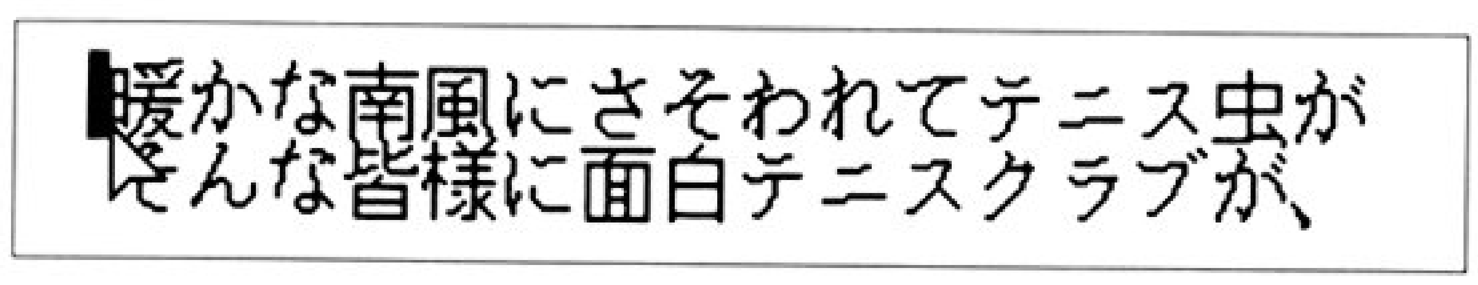
すべての文字列を選択するには、テキスト編集領域のポップアップメニューから全選択を選びます。



マウス+キー操作

● SHIFT +左クリック

SHIFT を押しながら左クリックすると、カーソル位置を始点としてポインタの位置までの範囲が選択されます。

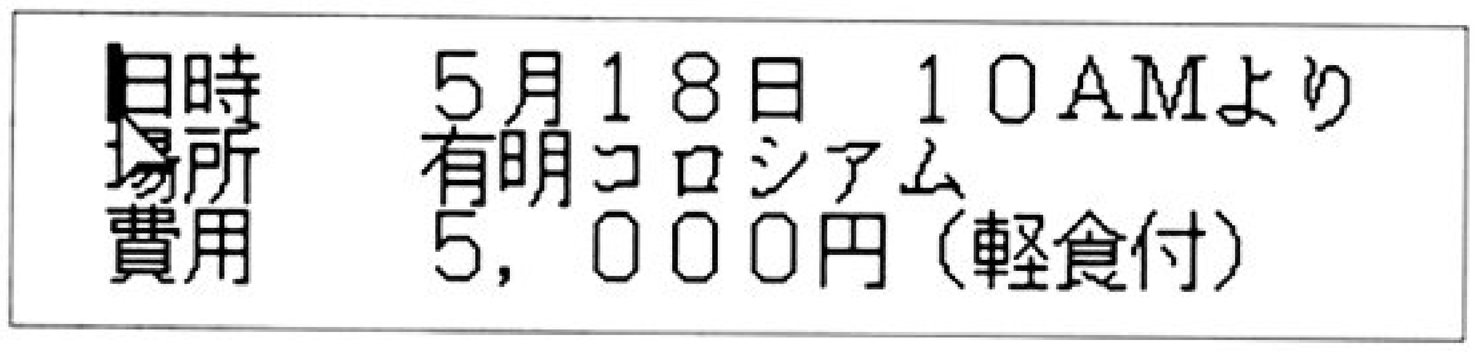


↓ SHIFT を押しながら左クリックする

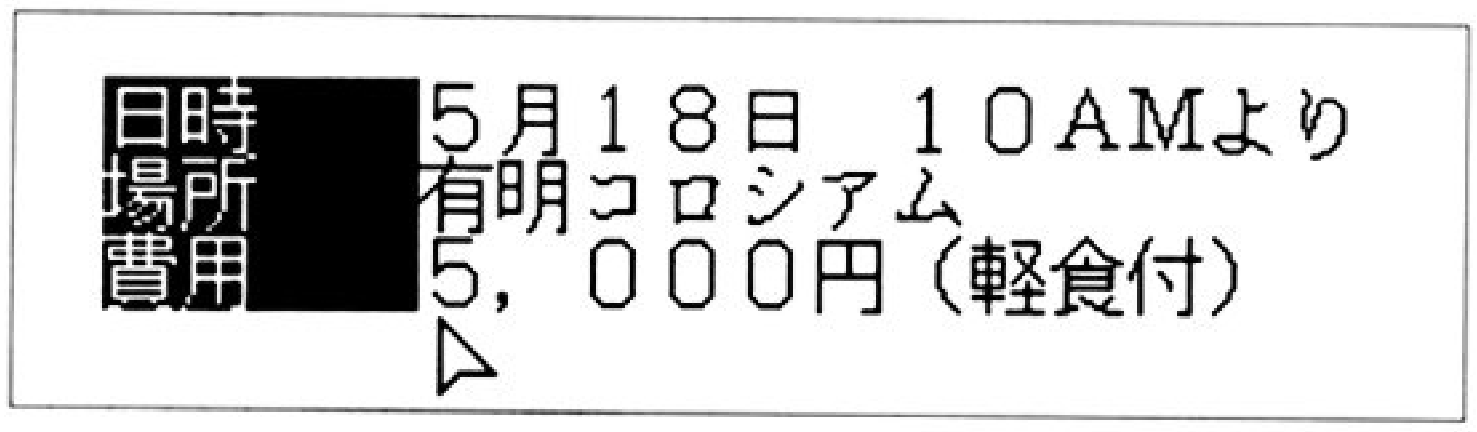


● CTRL ＋左ドラッグ

CTRL を押しながら左ドラッグすると、ドラッグした範囲が矩形で選択されます。



↓ CTRL を押しながら左ドラッグする

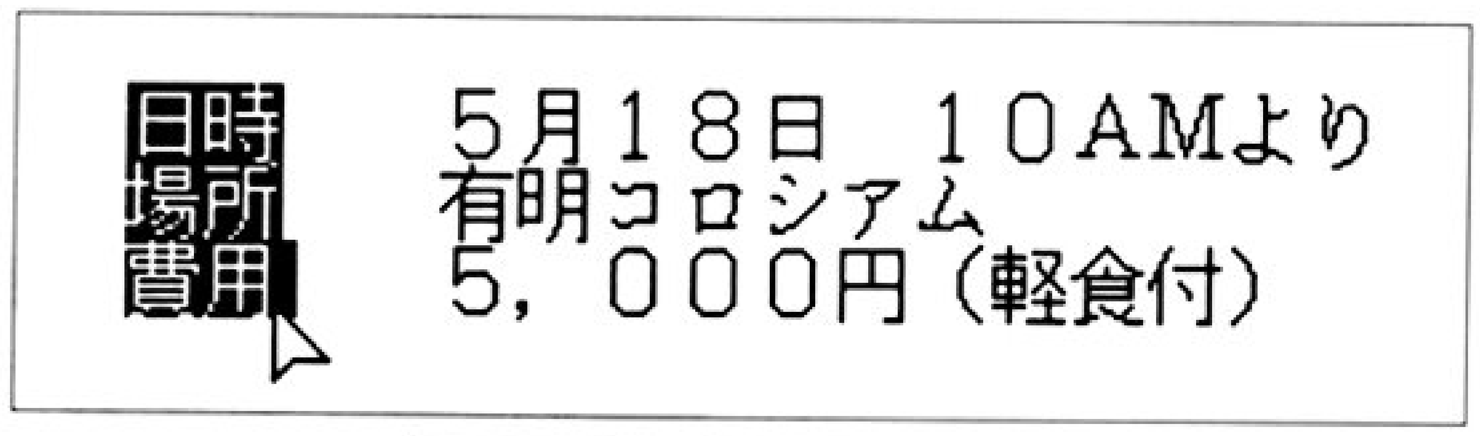


SHIFT ＋ CTRL ＋左ドラッグの実行

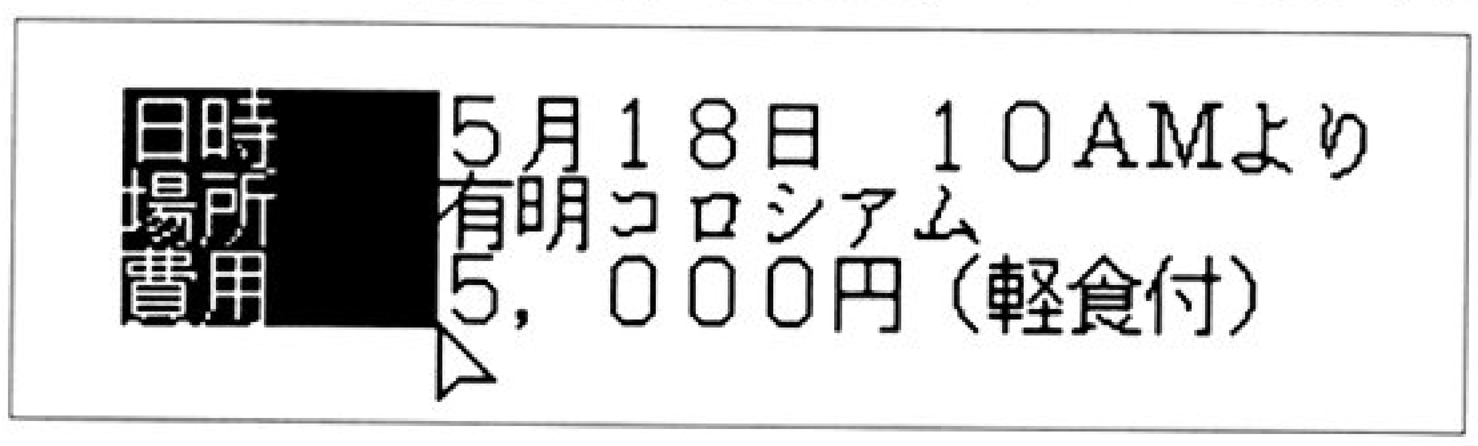
CTRL ＋左ドラッグですでに矩形範囲が選択されているときにのみ、実行できます。

● SHIFT ＋ CTRL ＋左ドラッグ（矩形範囲選択時）

SHIFT と CTRL を両方押しながら左ドラッグすると、すでに選択されていた矩形範囲の始点をそのままにして、ポインタ位置を矩形の終点とする範囲が選択されます。



↓ SHIFT と CTRL を押しながら左ドラッグする

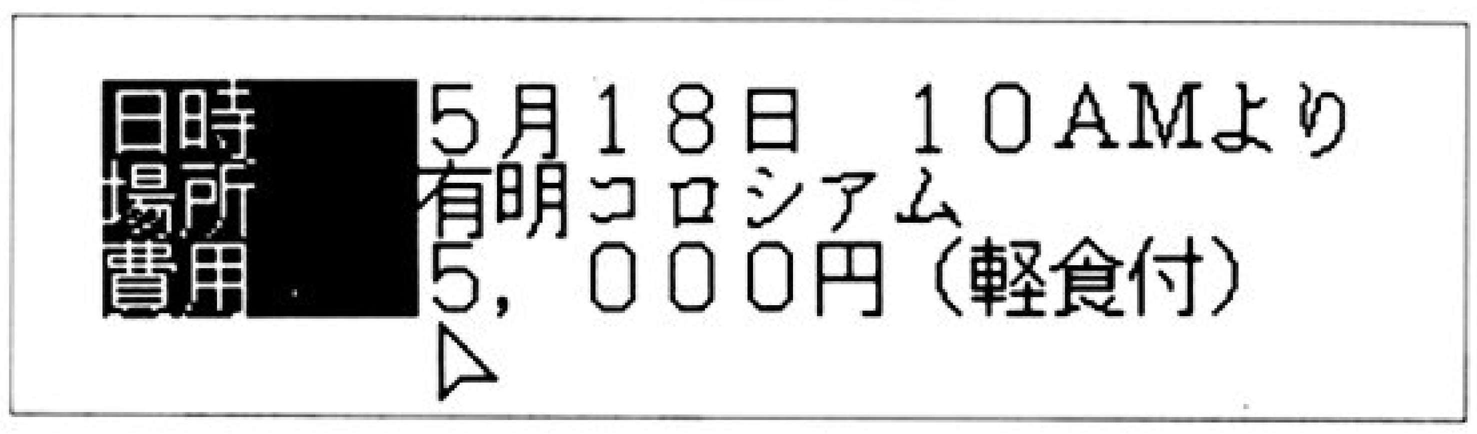


●CTRL＋左ドラッグ・SHIFT＋左クリック

CTRLを押しながら左ドラッグしたあと、別の位置をポイントしてSHIFTを押しながら左クリックすると、CTRLを押しながら左ドラッグした矩形の始点から、SHIFTを押しながら左クリックした位置を終点とする範囲が矩形で選択されます。



↓ SHIFTを押しながら左クリックする



キー操作のみ

●OPT.1＋A

OPT.1を押しながらAを押すと、編集中のテキストすべてが選択されます。

●F6・カーソル移動

選択する始点にカーソルを移動しF6を押すと、アイコンバーに「範囲指定中」と表示されます。↑↓←→でカーソルを移動すると、範囲が選択されます。

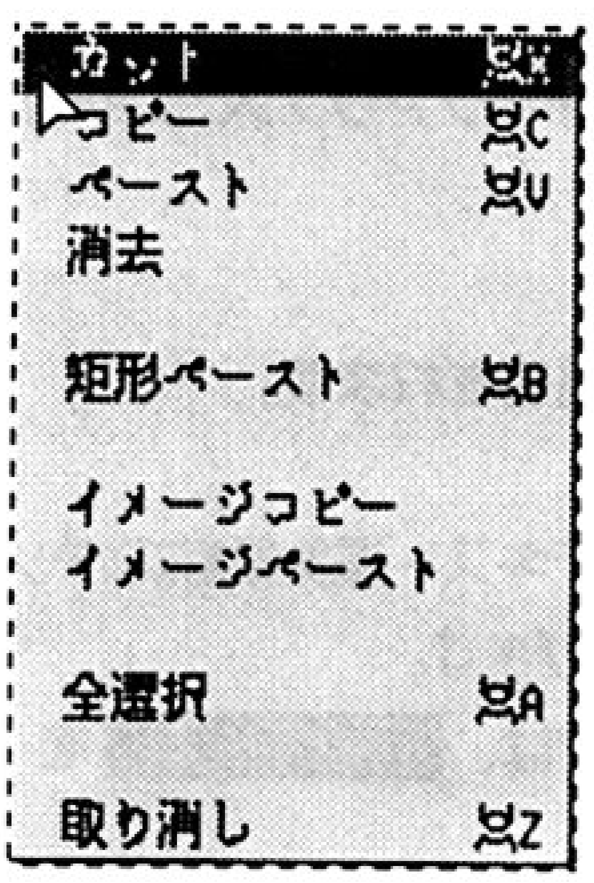
文字列の修正・削除

入力した文字列を修正・削除するときは、次の操作を使います。

- **文字入力** ……………………カーソル位置に文字を挿入する
  文字列が選択されているときは、入力した文字列に置き換える
- BS ……………………カーソル位置の前の文字を削除する
- DEL ……………………カーソル位置の文字を削除する
- カット ……………………選択した文字列を削除し、クリップボードに格納する
- 消去 ……………………選択した文字列を削除する（クリップボードには格納しない）

文字列をカット・消去する

文字列をカット・消去するには、次のようにします。



1 カット・消去する文字列を選択します。

2 テキスト編集領域のポップアップメニューからカットまたは消去を選ぶと文字列が削除されます。
カットでは削除した文字列がクリップボードに格納されます。
消去では、格納されません。

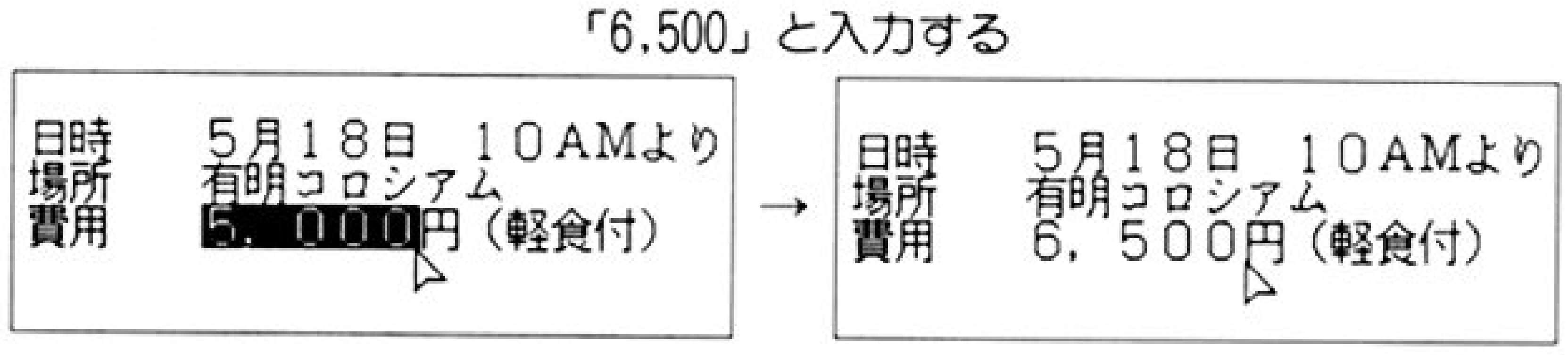
文字列を置き換える

文字列を選択したあと、文字列を入力すると、選択した文字列に置き換えられます。

文字列の入力

クリップボードに格納されている文字列をペーストして置き換えることもできます。

「6,500」と入力する



メモ CTRL シーケンスや OPT.1 シーケンス、ファンクションキーを使って、文字列を削除することもできます。
詳しくは、「付-3 操作一覧」を参照してください。

データの移動・複写

文字列を移動・複写する……カット&ペースト、コピー&ペースト

移動・複写時の文字属性

カット&ペースト、コピー&ペーストでは、文字属性は移動・複写されます。矩形ペーストでは、文字属性は移動・複写されません。

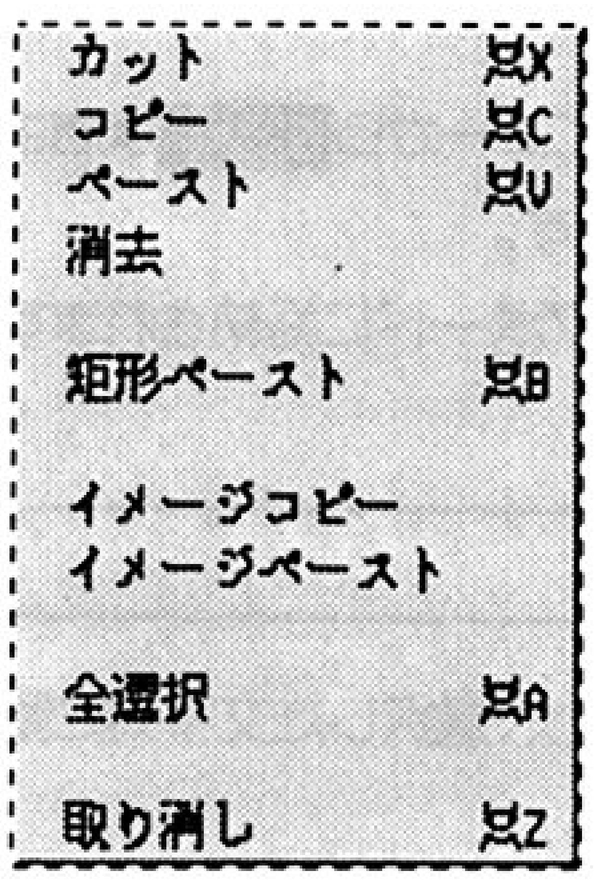
文字列を移動・複写するときは、次の方法を使います。

- **移動**……選択した文字列をカットし、移動先でペーストする
- **複写**……選択した文字列をコピーし、コピー先でペーストする

1 移動元・複写元の文字列を選択します。

> たくさんの男女を誘い合わせ、ぜひご参加ください。
> もちろん、観客も大歓迎です。
> 皆様の参加を心よりお待ちしております。

2 移動するときは、テキスト編集領域のポップアップメニューから**カット**を選びます。
複写するときは、**コピー**を選びます。
選択した文字列がクリップボードに格納されます。



3 移動先・複写先にカーソルを移動し、テキスト編集領域のポップアップメニューから**ペースト**を選びます。
移動元・複写元を矩形で選択したときは、**矩形ペースト**を選びます。

> たくさんの男女を誘い合わせ、ぜひご参加ください。
> 皆様の参加を心よりお待ちしております。
> もちろん、観客も大歓迎です。

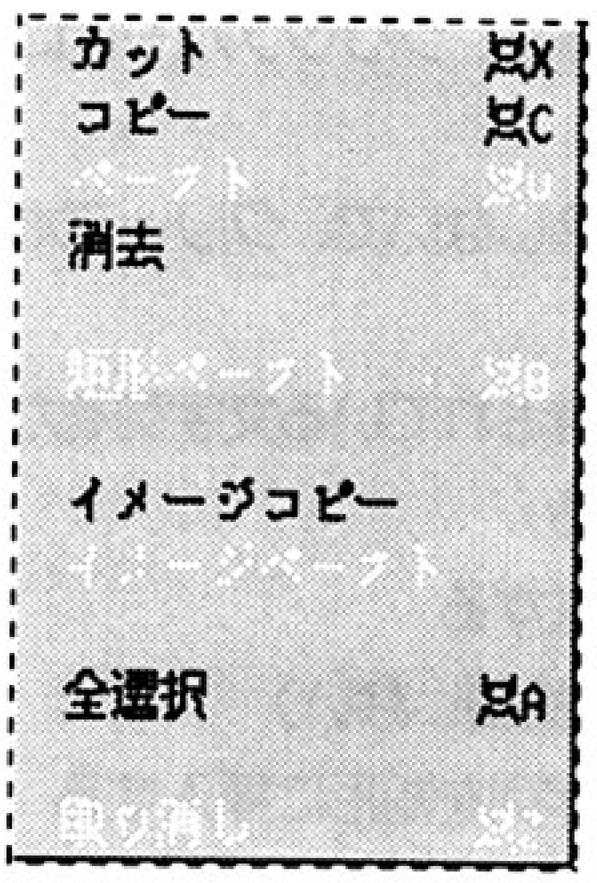
> **メモ** CTRL シーケンスや OPT.1 シーケンス、ファンクションキーを使用して、文字列を移動・複写することもできます。詳しくは、「付3　操作一覧」を参照してください。

イメージデータを複写する……イメージコピー&イメージペースト

クリップボード
アプリケーション間などでデータをやりとりするところ。

マルチフォントエディタウィンドウの中では、カット&ペースト、コピー&ペーストでイメージデータを移動・複写できますが、パターンエディタなど他のアプリケーションとの間でイメージデータをやりとりするときは、イメージコピー&イメージペーストを使います。
イメージデータを複写するときは、次の方法があります。

- **コピー&ペースト**……大きさなどの文字属性を含めて複写する
- **イメージコピー&イメージペースト**……パターンエディタなどで作成したままを複写する



イメージコピー&イメージペーストを使うときは、次のようにします。

1 複写するイメージデータを選択し、テキスト編集領域のポップアップメニューから イメージコピー を選びます。

2 複写先にカーソルを移動し、テキスト編集領域のポップアップメニューから イメージペースト を選びます。
イメージデータが複写されます。

パターンエディタ
参照
「SX - WINDOW ユーザーズマニュアル」

メモ　パターンエディタのイメージデータを貼り付けるときは、次のようにします。

1 パターンエディタを起動し、パターンを作成します。

2 貼り付ける範囲を選択し、パターン編集窓のポップアップメニューから コピー を選びます。
イメージデータがクリップボードに格納されます。

3 マルチフォントエディタウィンドウの複写先にカーソルを移動し、テキスト編集領域のポップアップメニューから イメージペースト を選びます。
イメージデータが複写されます。

編集作業の取り消し

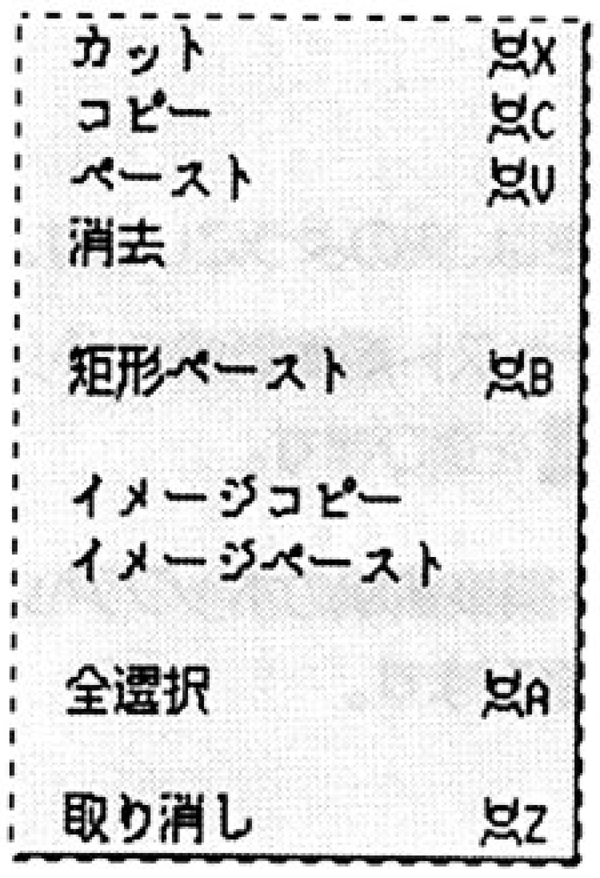
実行した編集作業を実行前の状態に戻すには、テキスト編集領域のポップアップメニューから**取り消し**を選びます。
直前に実行した編集作業が取り消されます。

矩形ペースト後の取り消し

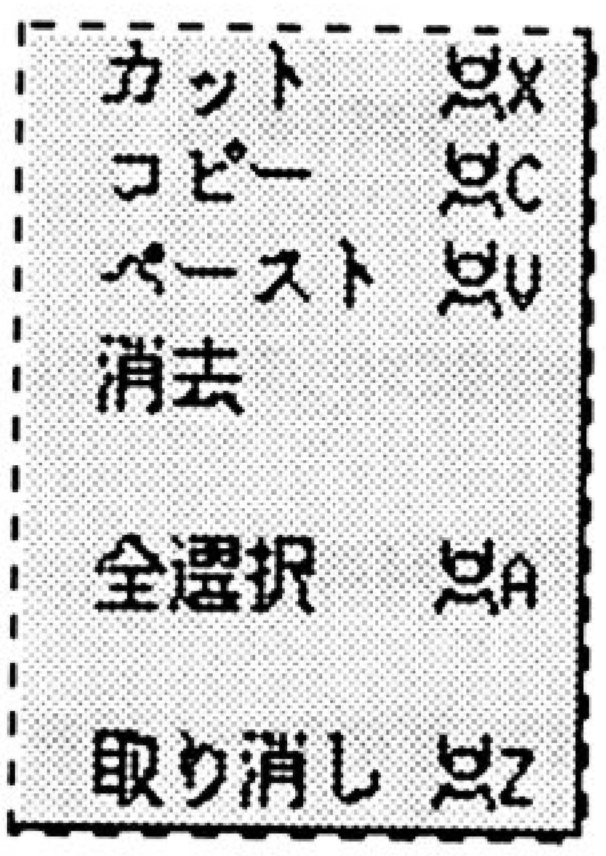
最後の行だけ取り消されます。

テキスト編集領域のポップアップメニュー

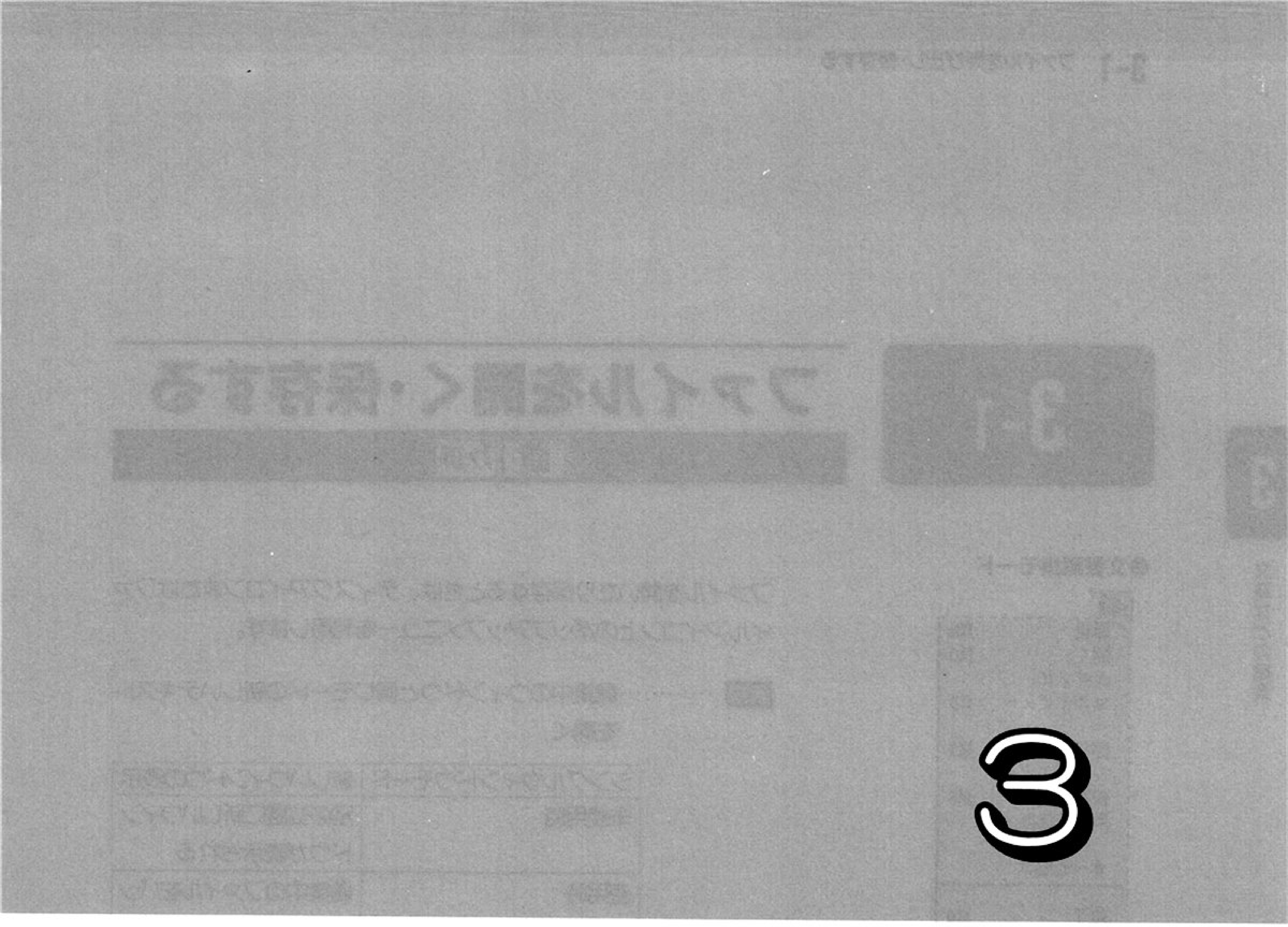
●文書編集モード



●エディタモード



- **カット**……………………選択した文字列を削除し、クリップボードに格納する
- **コピー**……………………選択した文字列を削除しないで、クリップボードに格納する
- **ペースト**…………………クリップボードに格納されている文字列をカーソル位置に挿入する
- **消去**………………………選択した文字列を消去する（クリップボードには格納しない）
- **矩形ペースト**……………クリップボードの文字列を矩形に挿入する（文字属性は無視される）
- **イメージコピー**…………イメージデータを他のアプリケーションで利用できる形式でクリップボードに格納する
- **イメージペースト**………クリップボードに格納されているイメージデータをカーソル位置に挿入する
- **全選択**……………………編集中のテキスト全体を選択する
- **取り消し**…………………直前に実行した編集作業を取り消す

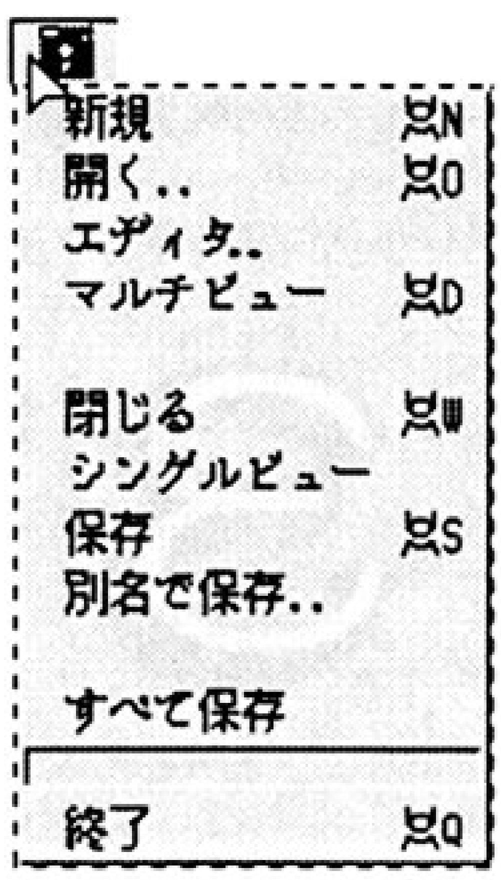


3

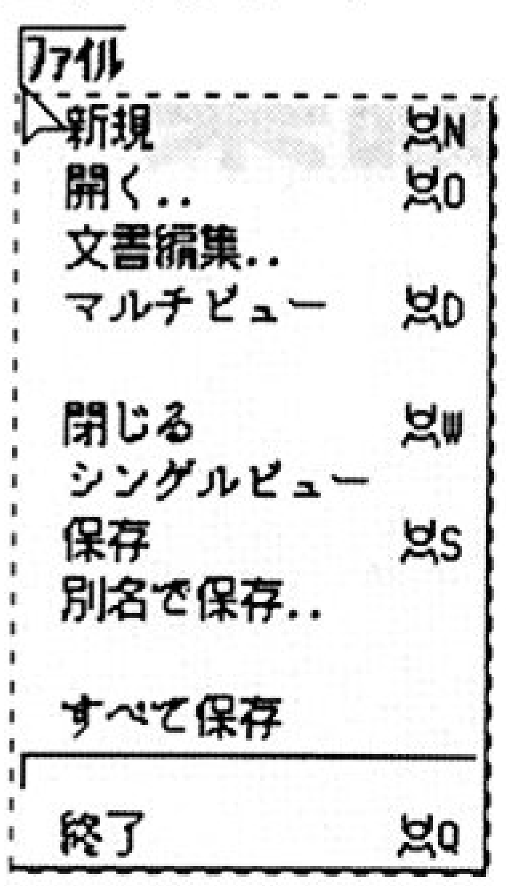
文章などの編集

3-1 ファイルを開く・保存する

●文書編集モード



●エディタモード



ファイルを開く
（ファイルの呼び出し）
参照
「2-1・編集するファイルの呼び出し

シングルウィンドウモード
ひとつのシャーペンウィンドウに、複数のテキストファイルを開くモード
参照
「4-1・シングルウィンドウモード（マルチバッファ機能）

ファイルを開いたり保存するときは、ディスクアイコンまたはファイルアイコン上のポップアップメニューを利用します。

新規…………編集中のウィンドウと同じモードの新しいテキストを開く

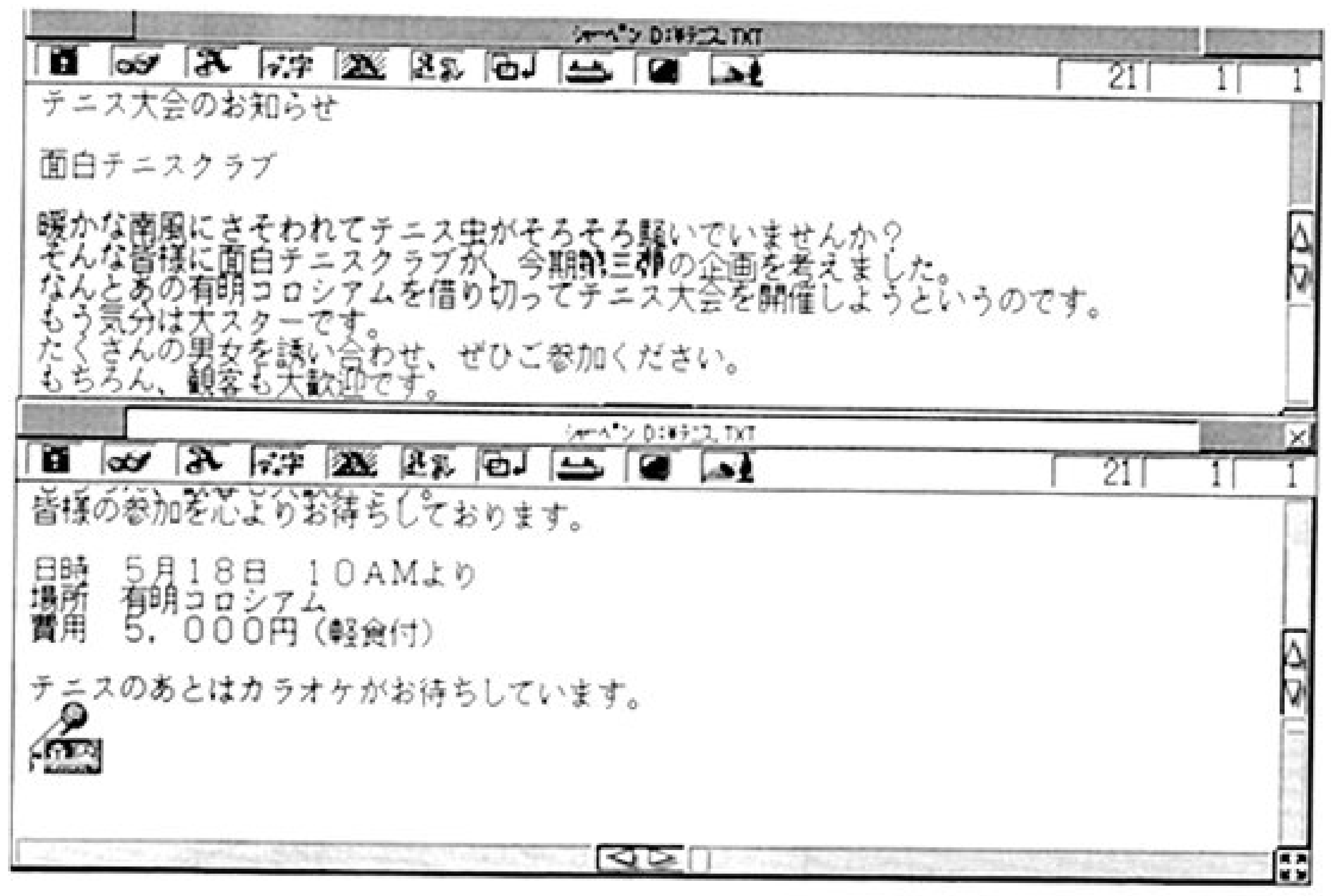
シングルウィンドウモード	新しいウィンドウの表示
未使用時	別の位置に新しいウィンドウが表示される
使用時	編集中のファイルをバッファに退避させて、同じウィンドウに新たにテキストを読み込む

開く..…………ファイル名を指定し、編集中のウィンドウと同じモードの新しいウィンドウを開く
シングルウィンドウモード未使用時/使用時のウィンドウの開き方は、**新規**と同じ

エディタ..……ファイル名を指定し、エディタモードで新しいウィンドウを開く

文書編集..……ファイル名を指定し、文書編集モードの新しいウィンドウを開く

マルチビュー ……編集中のファイルに対して編集作業を行えるウィンドウを２つ表示し、離れた箇所をリアルタイムで編集できる

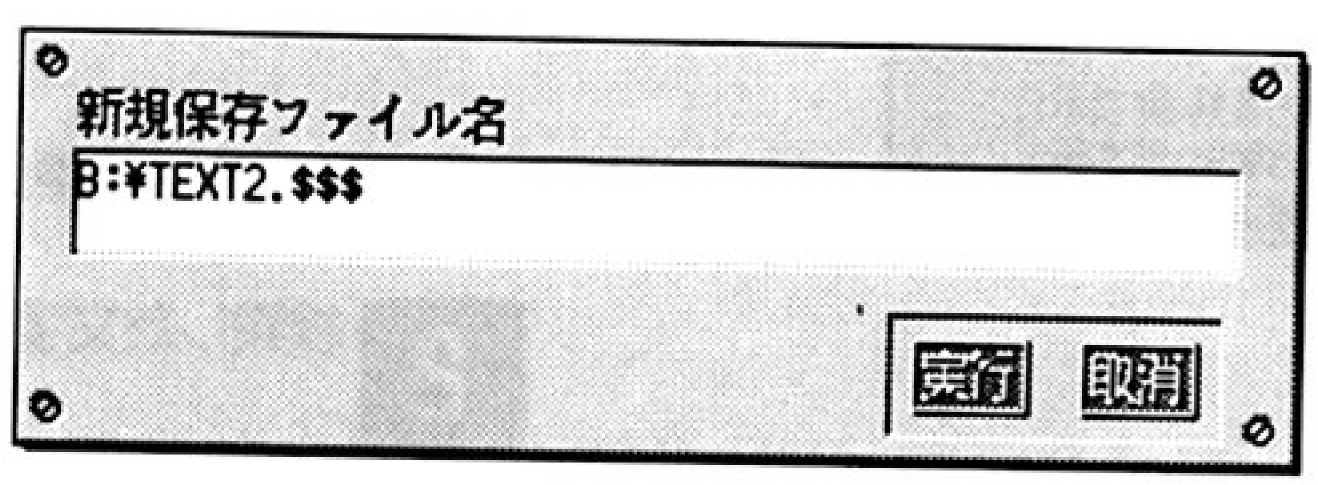


閉じる ……………編集中のウィンドウを閉じる
文字が変更されているときは、保存しないで閉じるかどうかを確認する

シングルビュー …マルチビューで分割した２つのウィンドウのうち、編集中でないウィンドウが閉じる

保存 ………………編集中のファイル名で保存する

別名で保存.. ……編集中のファイル名とは別の名前で保存する



すべて保存 ………開いているすべてのファイルを保存する

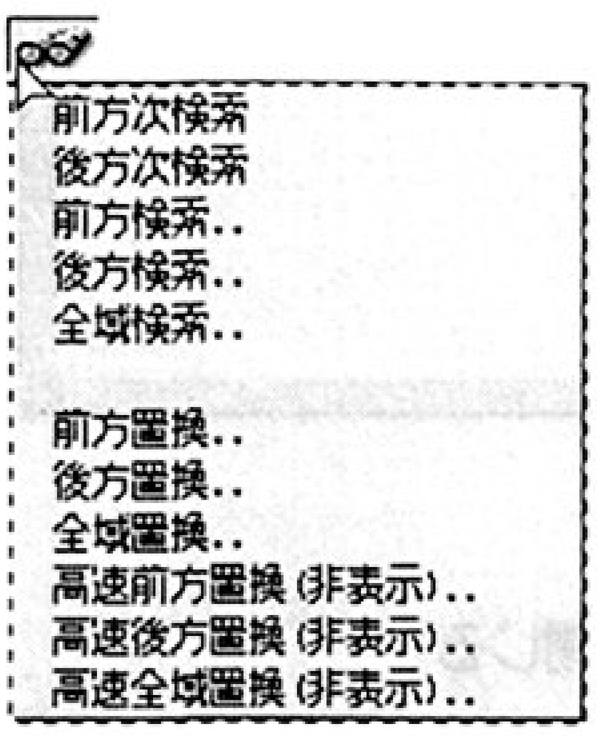
終了 ………………すべてのマルチフォントエディタウィンドウを閉じる
テキストが変更されていると、保存しないで終了するかどうかを確認する

3-2 指定した文字列を探す/置き換える

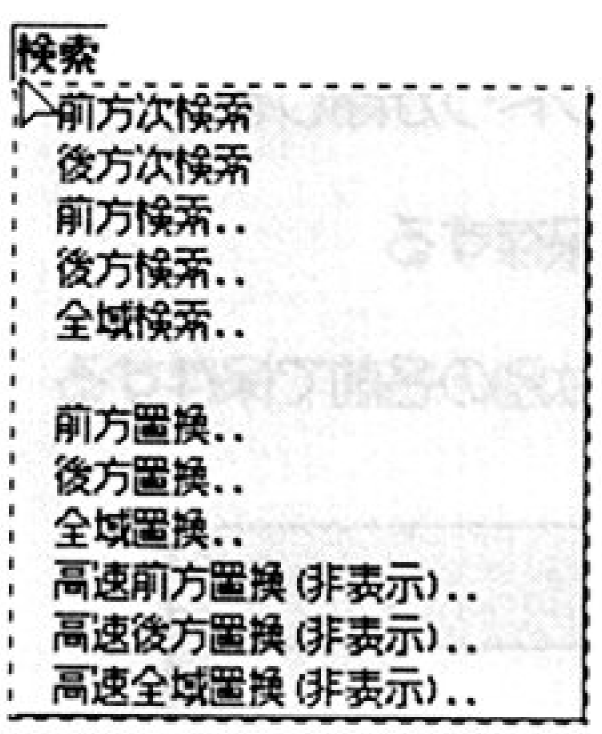
検索

文字列の検索

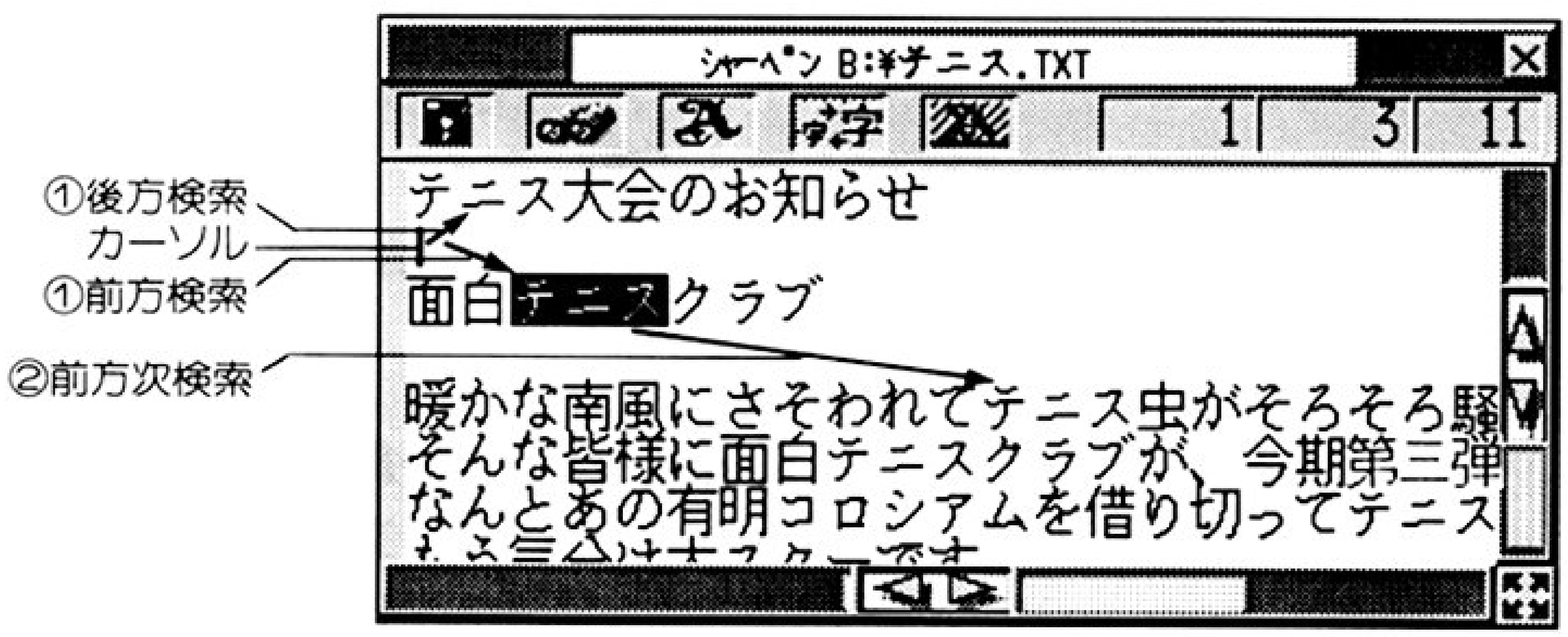
●文書編集モード



●エディタモード



検索の流れは、次のようになります。



1 探す文字列を指定して検索する

前方検索.. ………カーソル位置から文末へ検索

後方検索.. ………カーソル位置から文頭へ検索

全域検索.. ………カーソル位置に関係なく編集中のすべてのテキストを対象にして検索

↓

はじめに検索した文字列が表示される

↓

2 検索した文字列と同じ文字列で検索する

前方次検索 ………カーソル位置から文末へ

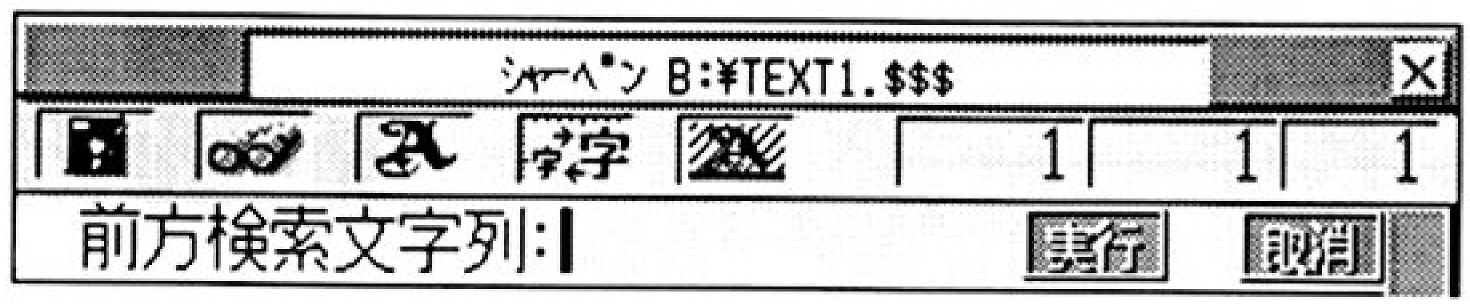
後方次検索 ………カーソル位置から文頭へ

↓

次に検索した文字列が表示される

例：カーソル位置から文末へ検索するとき

1 検索アイコンのポップアップメニューから、前方検索.. を選びます。



検索文字列の選択

検索する文字列を選択したあと、前方検索.. や 後方検索.. を選ぶと、選択した文字列が表示されます。

2 検索する文字列を入力し、実行 を左クリックするか、⏎ を押します。

検索がはじまり、該当する文字列を検索すると、その文字の色が変更されて表示されます。該当する文字列がないときは、「文字列が見つかりません」と表示されます。

3 同じ文字列で検索を続けるときは、検索アイコンのポップアップメニューから 前方次検索 を選びます。

次に検索した文字列が表示されます。

文字列の置換

文字列を置換するには　次の方法があります。

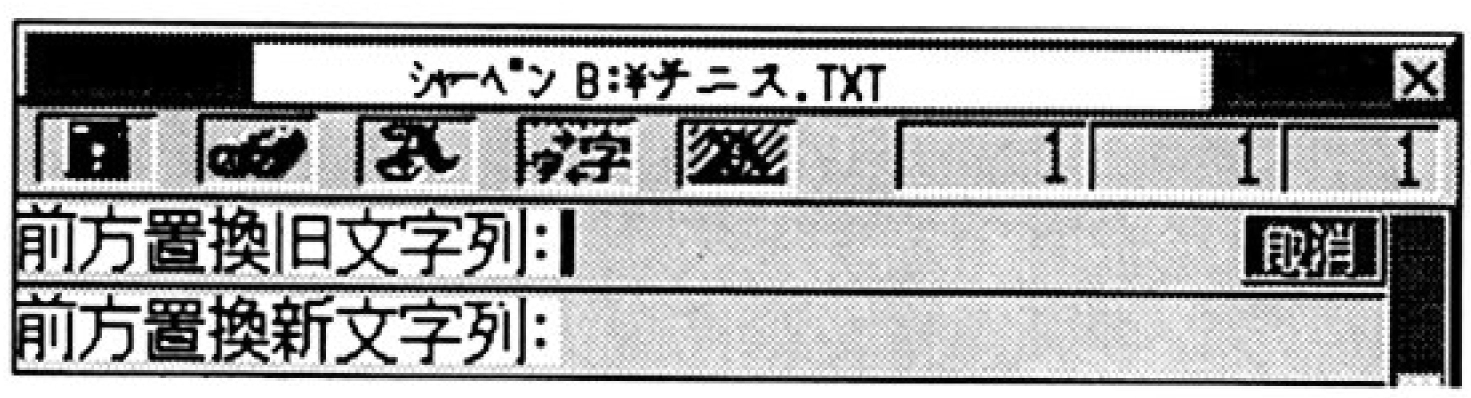
前方置換.. ……………………カーソル位置から文末へ置換
後方置換.. ……………………カーソル位置から文頭へ置換
全域置換.. ……………………編集中のすべてのテキストを対象にして置換
高速前方置換（非表示）.. ……カーソル位置から文末へ一括置換
高速後方置換（非表示）.. ……カーソル位置から文頭へ一括置換
高速全域置換（非表示）.. ……編集中のすべてのテキストを対象にして一括置換

非表示

置換を実行すると、いっきにすべての置換対象を置換します。

例：カーソル位置から文末へ確認しながら置換するとき

1 検索アイコンのポップアップメニューから、前方置換.. を選びます。

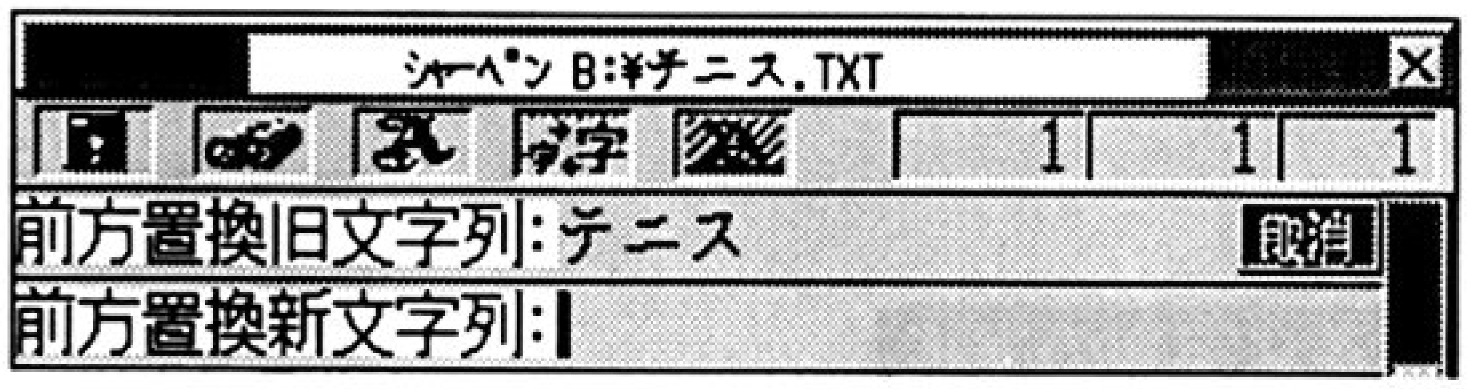


3
文章などの編集

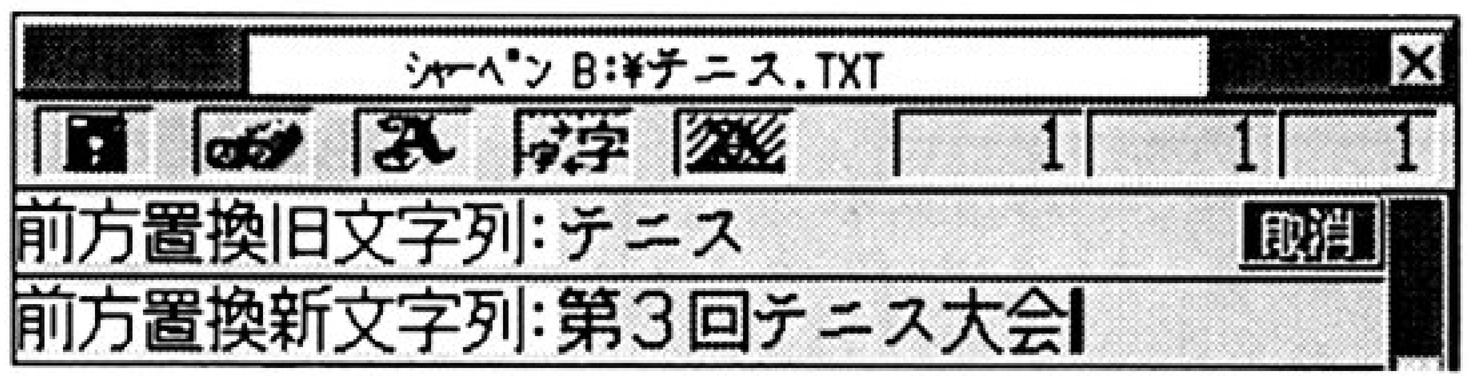
置換文字列の選択

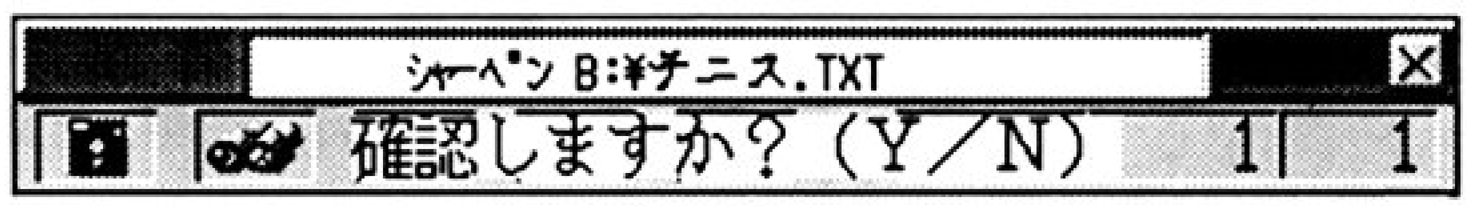
置換する文字列を選択したあと、前方置換.. や後方置換.. などを選ぶと、選択した文字列が表示されます。

2 置き換えられる文字列を入力し、⏎を押します。



3 置き換える文字列を入力し、⏎を押します。

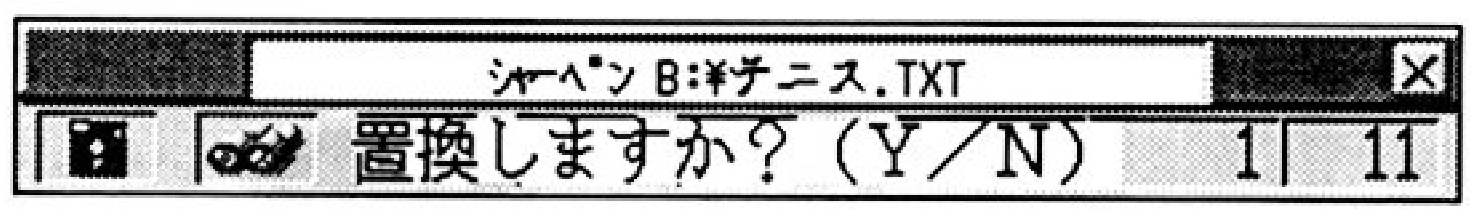




4 置換するかどうか確認するときは、Yを押します。
確認しないで連続して置換するときは、Nを押します。

置換の中止

ESCを押します。



5 置換するときはYを、置換しないときはNを押します。
該当する文字列がなくなるまで行います。

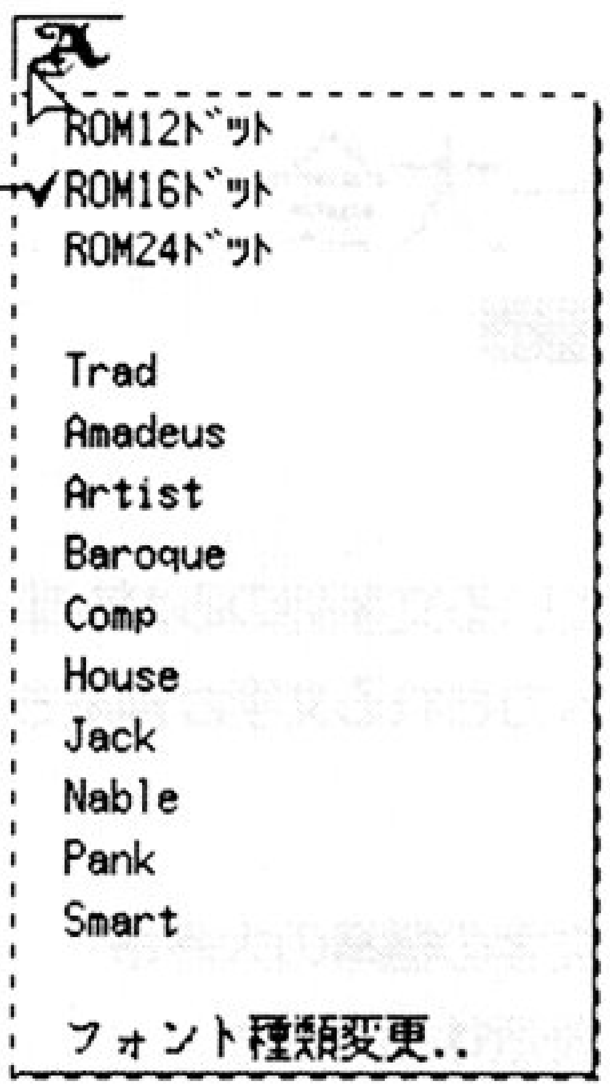
該当する文字列がないときは、「文字列が見つかりません」と表示されます。

> メモ　Yの代わりに⏎、Nの代わりにスペースを押して選択することもできます。

3-3 文字の種類を変える

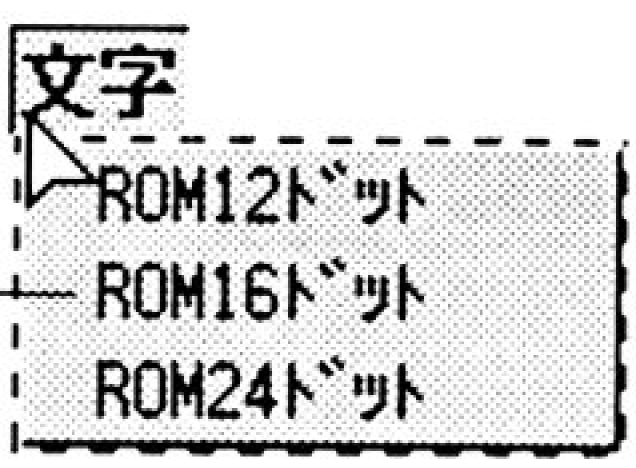
文字

●文書編集モード



設定された項目にはチェックが付きます。

●エディタモード



水平タブ文字数とフォントの大きさ

水平タブの文字数は、内部的にはドット数で管理されているため、フォントの大きさを変更したときは、水平タブ文字数も設定しなおしてください。

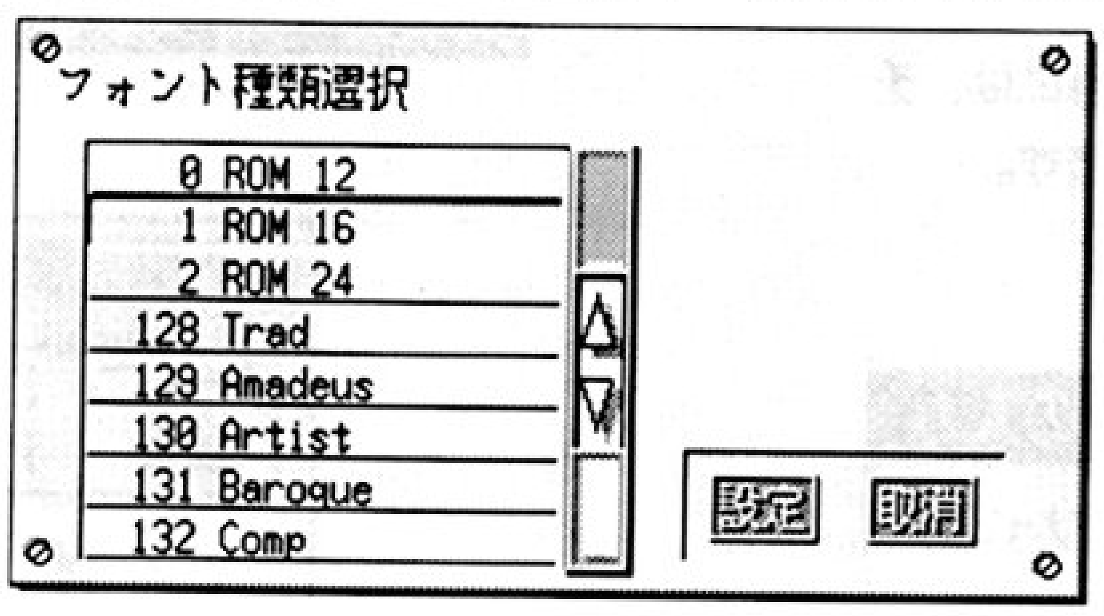
文字の種類は、次の中から選択できます。

X68030　　X68030

ROM16ドット　　Trad

文字が選択されているときは、選択されている文字列のみが対象となり、選択されていないときは、以後に入力される文字が指定された種類になります。

- ROM12ドット …………12×12ドットフォント
- ROM16ドット …………16×16ドットフォント
- ROM24ドット …………24×24ドットフォント
- Trad ～ Smart …各種アウトラインフォント
- フォント種類変更.. ……フォント一覧のダイアログから選択する



メモ　Trad などが選択できないときは、次のようにしてください。

- SX-WINDOW システムディスクの SHELL ディレクトリにあるフォントマネージャ IFM.X を実行します。
- IFM.X が実行されているときは、IFM.X で設定されている FONT ディレクトリのパス名があっているかどうか、または FONT ディレクトリ内にフォントファイルがあるかどうかを確認します。

詳しくは、『SX-WINDOW ユーザーズマニュアル』を参照してください。

3-4 文字の大きさを変える

●文書編集モード



設定された項目には、チェックが付きます。

文字の大きさは、文字単位で変えられます。

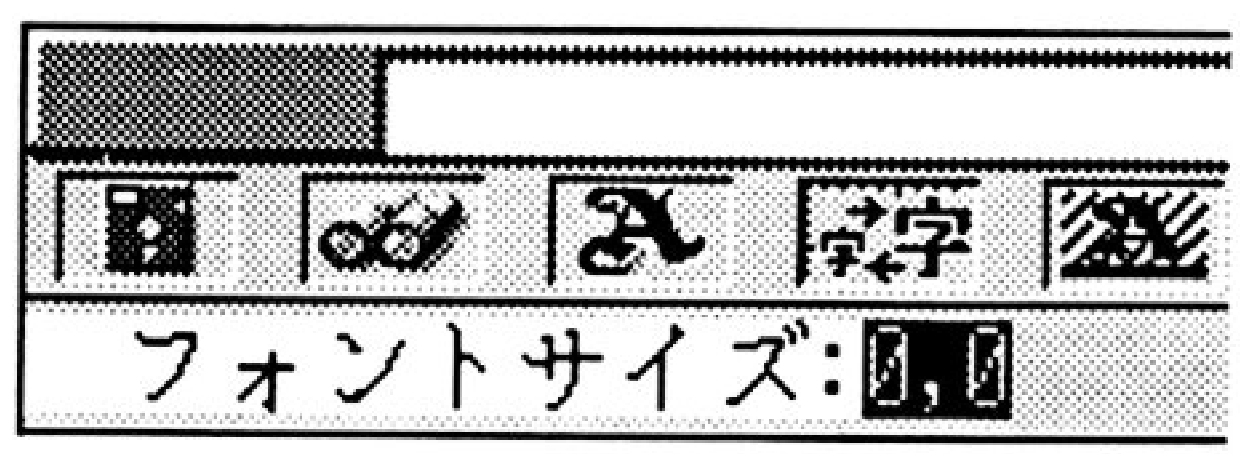
スキー大会　　スキー大会

標準サイズ　　24×24

ROM16ドットフォント

文字列が選択されているときは、選択されている文字列のみが対象となり、選択されていないときは、以後に入力される文字が指定された大きさになります。

標準サイズ ……………………………文字の標準の大きさ
12×12ドット ～ 128×128ドット ………表示する大きさ
フォントサイズ変更.. ……………………任意の大きさに変更する



フォントサイズの入力

「横サイズ，縦サイズ」で入力します。

水平タブ文字数と文字の大きさ

水平タブの文字数は、内部的にはドット数で管理されているため、文字の大きさを変更したときは、水平タブ文字数も設定しなおしてください。

3-5 網掛け、下線、ルビなどを設定する

●文書編集モード



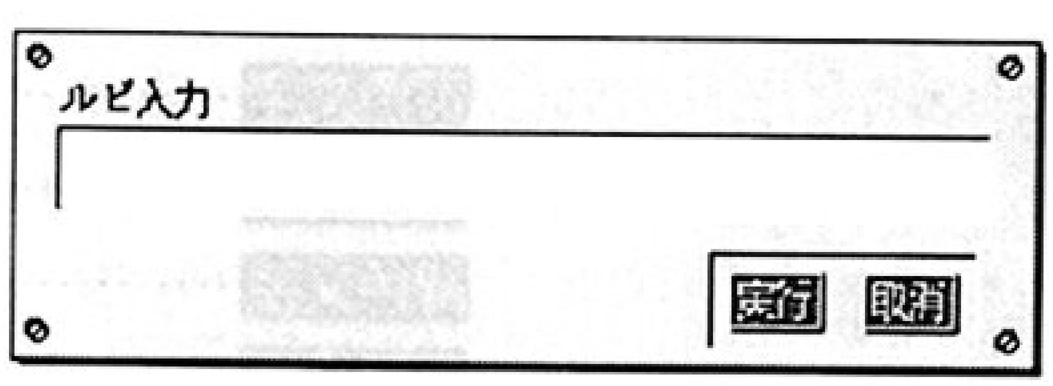
文字に設定できる網掛け・下線・中線・上線には、次のものがあります。

文字列が選択されているときは、選択されている文字列のみが対象となり、選択されていないときは、以後に入力される文字に指定された装飾が付きます。



〈ルビ入力〉..…………ルビの入力(自由に大きさを変えられる)

ルビを付けたい文字列を選択して、〈ルビ入力〉..を選ぶと、次のダイアログが表示されます。



ここでルビ文字を入力し、その文字のフォントなどを変更してから 実行 を左クリックします。

文字下ドット数..…下線を設定した文字と、下線を設定していない文字の高さを揃える

網掛解除………………選択した文字の網掛けを解除する

下線、中線解除………選択した文字の下線、中線を解除する

ルビ、上線解除………選択した文字のルビ、上線を解除する

網掛けなどすべての文字飾りの解除

解除する文字列を選択し、文字飾りアイコンのポップアップメニューから 文字属性すべてを解除 を選びます。

ルビの大きさ

入力する前に文字の種類や大きさを決めて入力するか、ルビ入力ダイアログに入力後範囲を選択し文字の種類や大きさを変えます。

ルビの修正

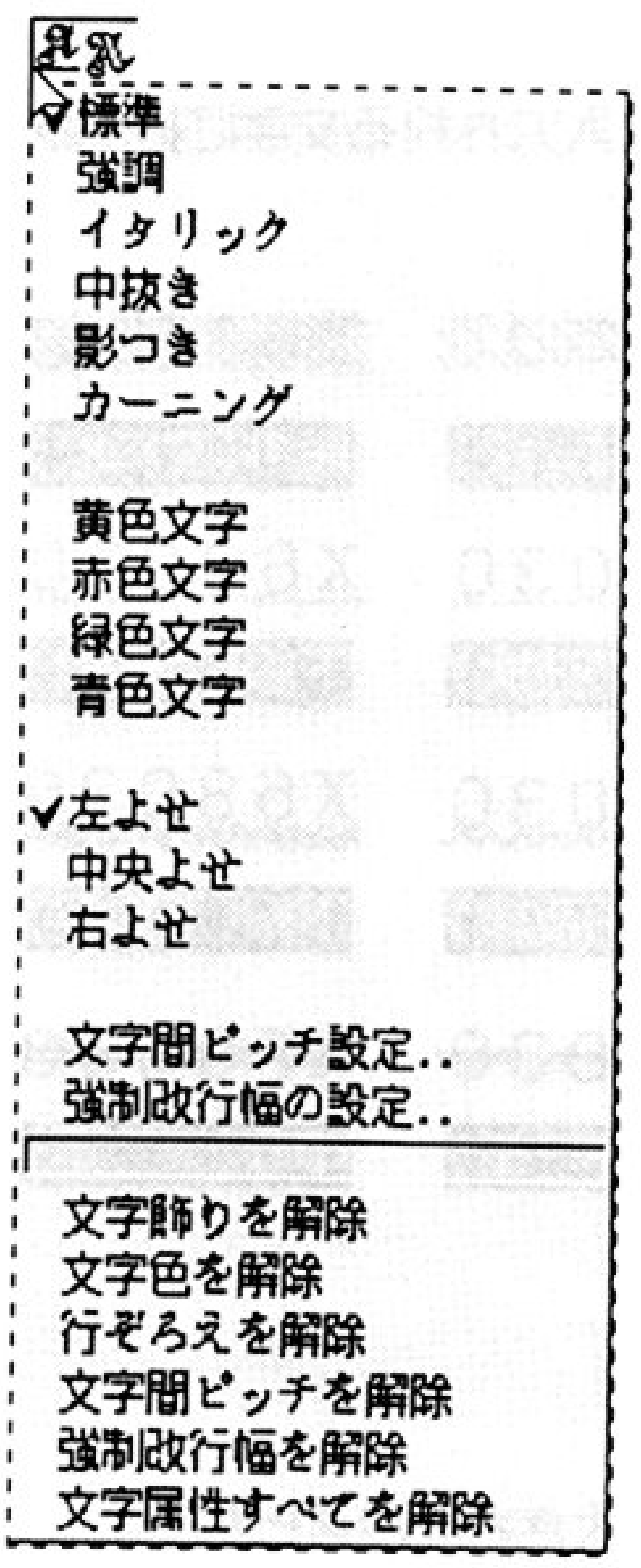
もう一度ルビ入力します。入力されているルビを修正をすることはできません。

3 文章などの編集

3 文章などの編集

3-6 文字を飾り付ける

●文書編集モード



文字の飾り付け・文字色などを変えるには、文字飾りアイコンを使います。

社内旅行のお知らせ　　**社内旅行のお知らせ**

イタリック　　影つき

文字列が選択されているときは、選択されている文字列のみが対象となり、選択されていないときは、以後に入力される文字に文字飾りが付きます。

標準……………………………文字飾りをしない
強調……………………………強調文字
イタリック……………………斜体文字
中抜き…………………………中抜き文字
影つき…………………………影つき文字（中抜き文字になります）
カーニング……………………アウトラインフォントの文字間の調整
例：ｉとｊを表示したとき

通常　カーニング
i j　*ij*

黄色文字………………………黄色の文字
赤色文字………………………赤色の文字
緑色文字………………………緑色の文字
青色文字………………………青色の文字

左よせ･中央よせ･右よせ

行の先頭文字に設定した情報があります。したがって、先頭の1文字を選択して実行しても左よせ・中央よせ・右よせが実行されます。

入力前の中央よせ・右よせの設定

文字を入力する前に中央よせや右よせを設定すると、入力した文字は指定したい位置に移動します。

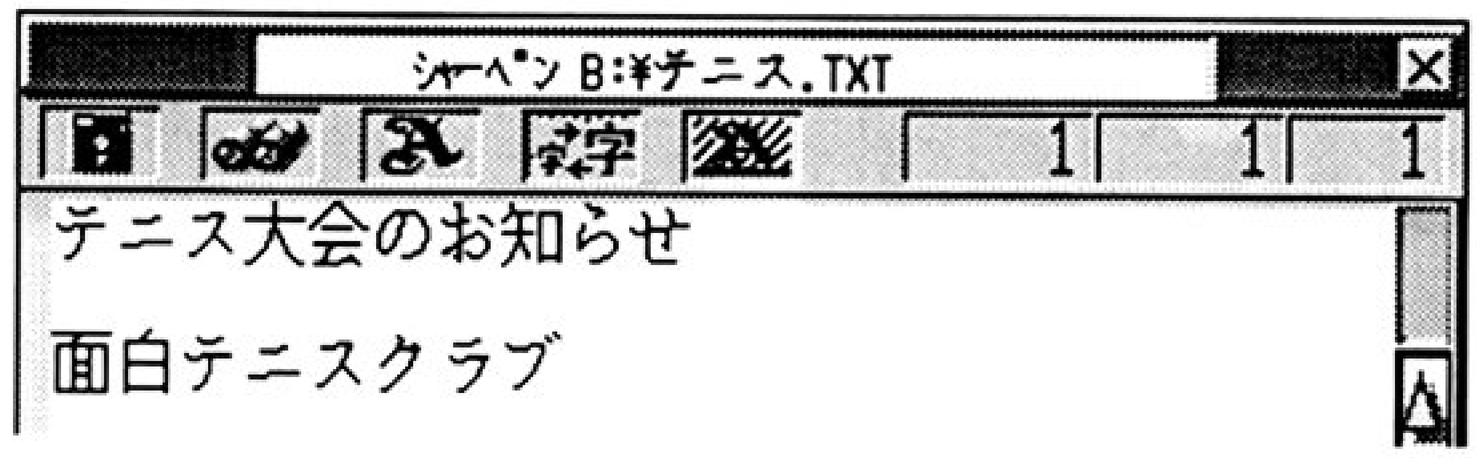
選択文字と文字間ピッチ

選択した文字と文字の間隔ではなく、選択した文字と次の文字の間隔を設定します。

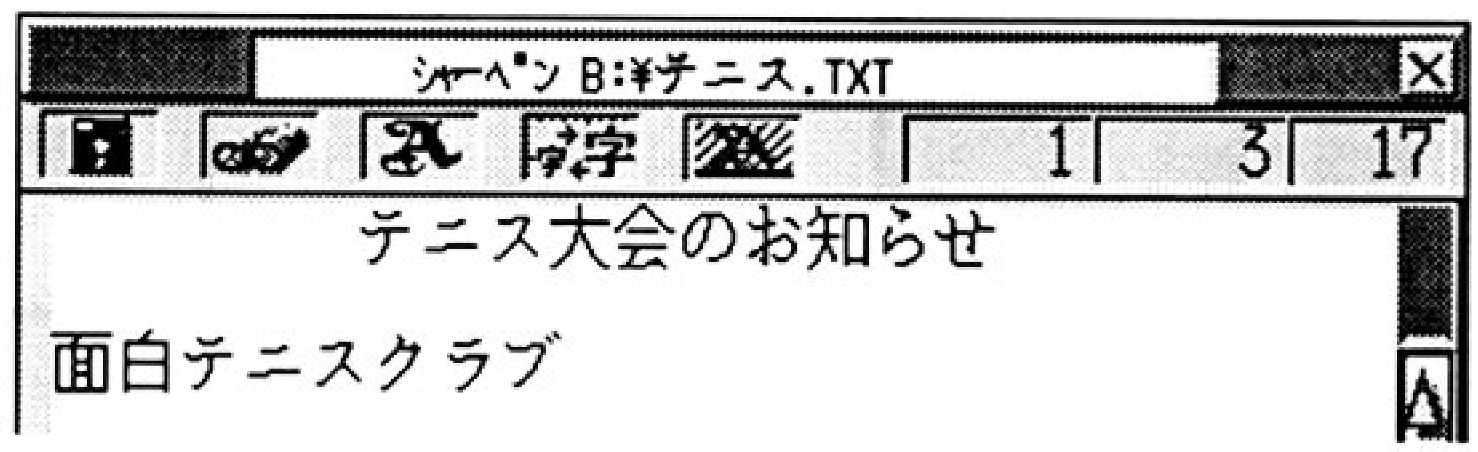
強制改行幅の設定

文字の縦サイズより改行幅を小さくし、次行と重ね合わせることができます。

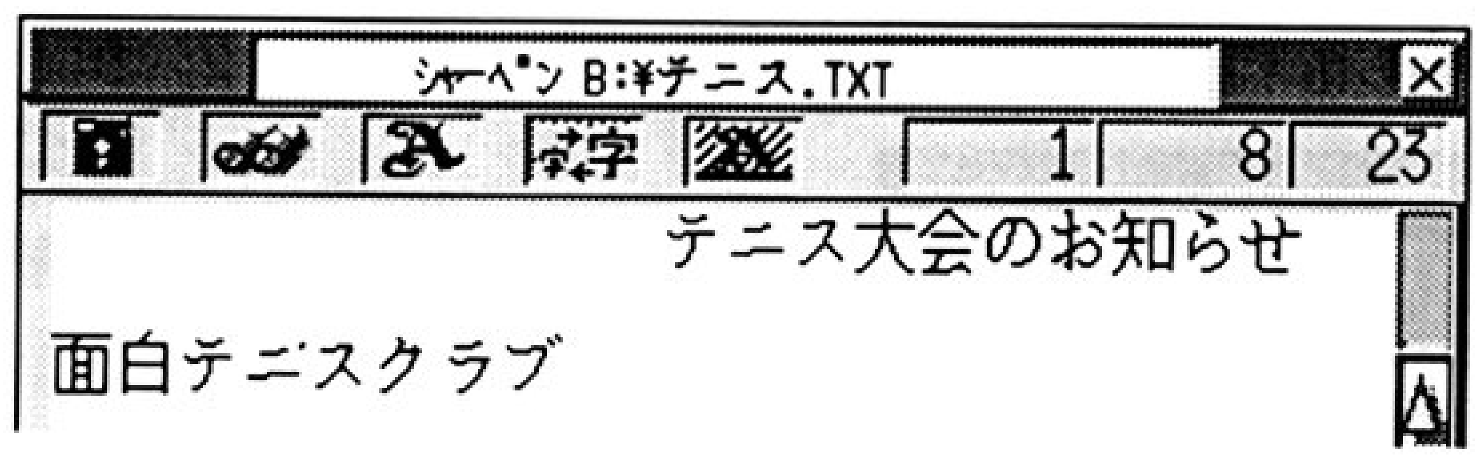
左よせ……選択した行の左よせ



中央よせ…………選択した行の中央よせ



右よせ………選択した行の右よせ



文字間ピッチ設定.. …文字と文字の間隔の変更(ドット数で指定)

日時	日 時
標準の文字間隔（文字間ピッチ 0）	文字間ピッチ 5

強制改行幅の設定.. …改行幅を狭めて次行と重ね合わせる

$$a \quad ^{2} +2ab+b \quad ^{2} = \quad \rightarrow \quad a^2 +2ab+b^2 =$$

文字飾りを解除…………設定した文字飾りを解除

文字色を解除…………設定した文字色を解除(標準色に戻す)

行ぞろえを解除…………設定した行ぞろえを解除(左よせに設定)

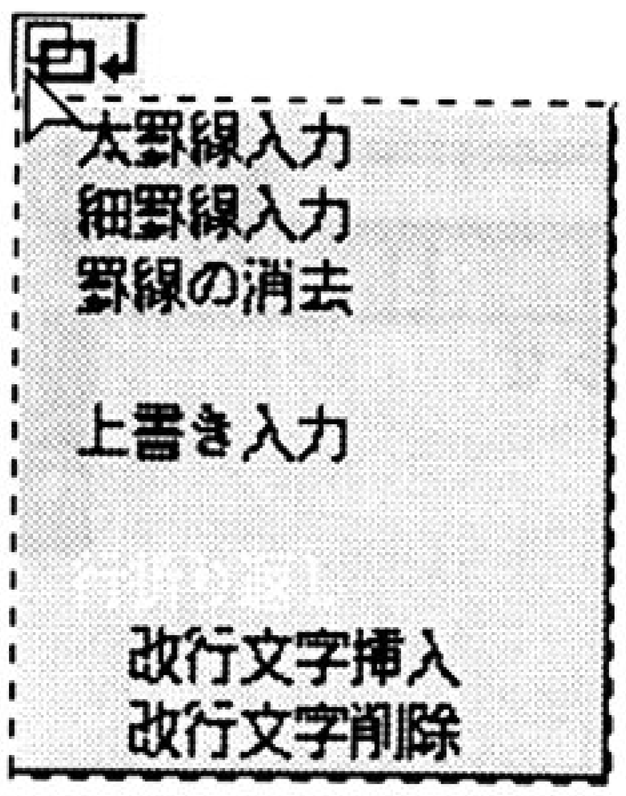
文字間ピッチを解除……設定した文字間ピッチを解除(ピッチ 0 にする)

強制改行幅を解除………設定した強制改行幅の解除(最小改行幅にする)

文字属性すべてを解除…設定した文字属性すべてを解除

3-7 罫線文字を入力する

●文書編集モード



罫線文字をカーソルで入力できるモードにします。

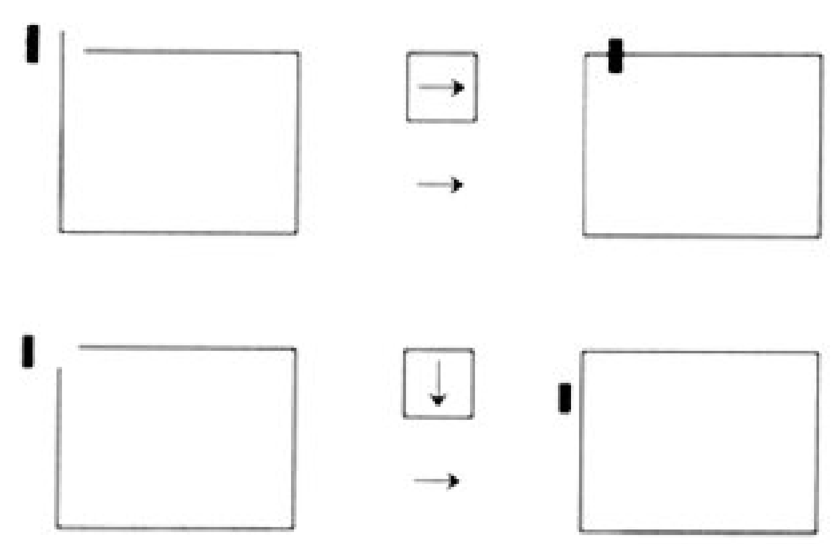


太罫線入力……全角の太罫線文字の入力

細罫線入力……全角の細罫線文字の入力

アイコンバーに「罫線入力中」と表示され、[↑][↓][←][→]を使って入力する

四角形の最後の角は、次のようにする



罫線文字入力の終了

[ESC]を押します。

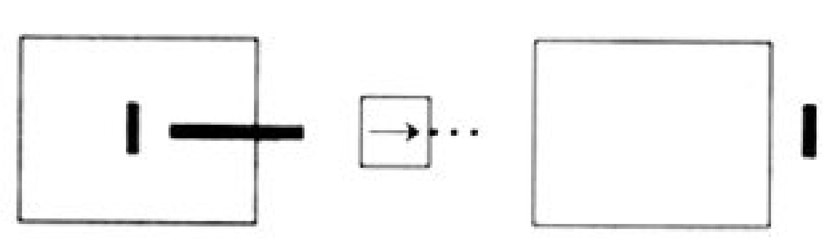
罫線文字の編集

通常の文字と同じように削除などの編集ができます。

罫線の消去……罫線文字の消去

アイコンバーに「罫線入力中(空白)」と表示され、[↑][↓][←][→]を使って消去する

例：罫線文字の消去で消去すると、縦の罫線文字は保護されます



罫線文字消去の終了

[ESC]を押します。

上書きモードの終了

[ESC]を押します。

上書き入力……上書きモードでの入力(罫線文字で囲まれた文字の修正に使う)

アイコンバーに「上書き入力中」と表示され、上書きモードになる

改行文字の挿入

パソコン通信でファイルを送るときなどに、行末に改行文字があると、文字がずれないで読みやすくなります。

改行文字の表示

表示アイコンの**改行文字表示**をチェックします。

●行の折り返し

改行文字挿入……１ライン文字数によって折り返されている行の行末に改行文字(↓)を挿入する

```
暖かな南風にさそわれてテニス虫がそろそろ騒いでいません
か?↓
```

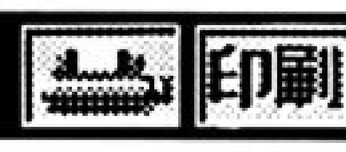
↓ 改行文字の挿入

```
暖かな南風にさそわれてテニス虫がそろそろ騒いでいません↓
か?↓
```

改行文字削除……行末に挿入した改行文字(↓)の削除

> **メモ** 長い文字列や文章のとき、マルチフォントエディタでは改行文字がなくても設定されている１ライン文字数、１ラインドット数で折り返して表示されます。
> この折り返されているところに改行文字を挿入すると、１ライン文字数が大きい数字に変更されたときでも同じ形で表示されます。
> 文字列が選択されているときは、選択されている文字列のみが対象となり、選択されていないときは、カーソル位置から文末までが対象となります。

3-8 印刷する/拡大縮小を表示する



●文書編集モード



設定した項目には、
チェックが付きます。

●エディタモード



編集中のファイルを印刷するときはプリンタアイコンまたは印刷アイコンを、拡大縮小してレイアウト表示をするときはプリンタアイコンを使います。

イメージ印刷……………………文字飾りや文字の種類など編集した状態での印刷

コード印刷……………………文字コードだけをプリンタのフォントで印刷(すべて同じフォントで印刷される)

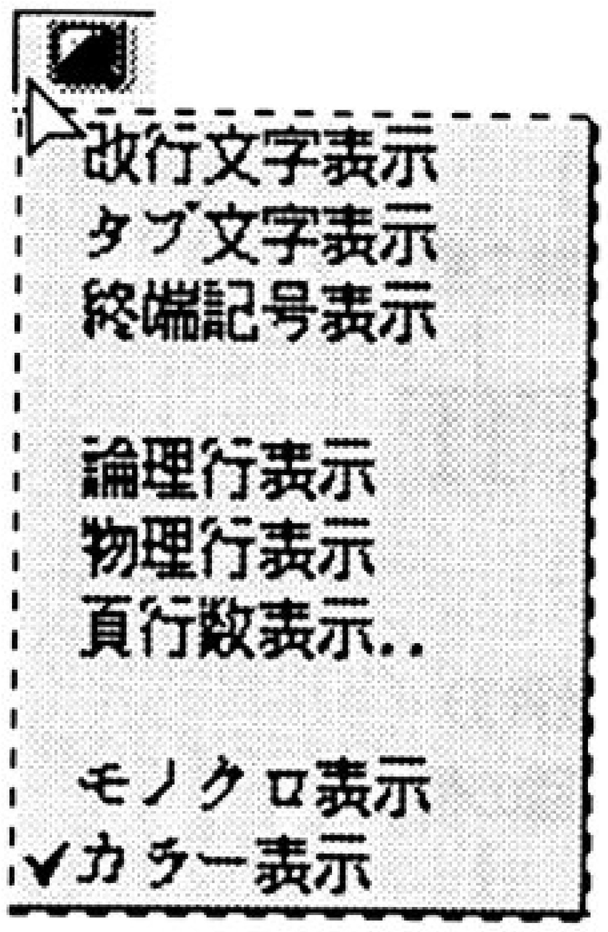
25%表示〜**500%表示**……選択した倍率で表示

画面サイズで印刷…………ほぼ画面で見えている大きさでイメージ印刷する設定

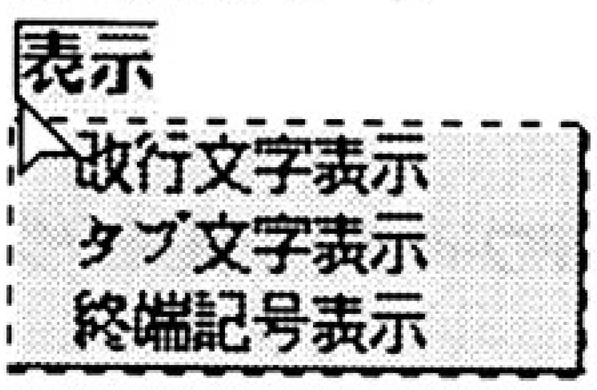
3-9 表示を変える

表示

●文書編集モード



●エディタモード



論理行

改行までを1行とします。

物理行

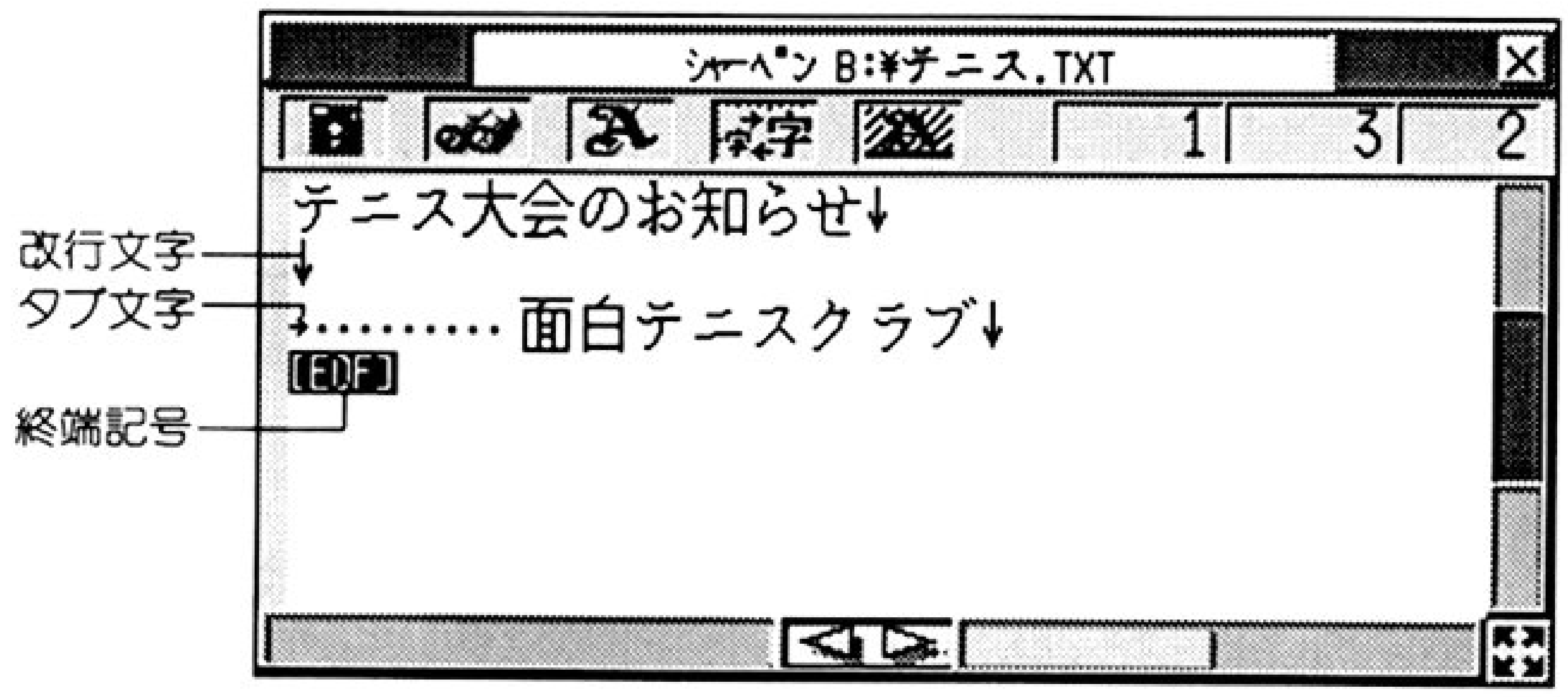
折り返された行は、次の行として数えます。

頁行数表示

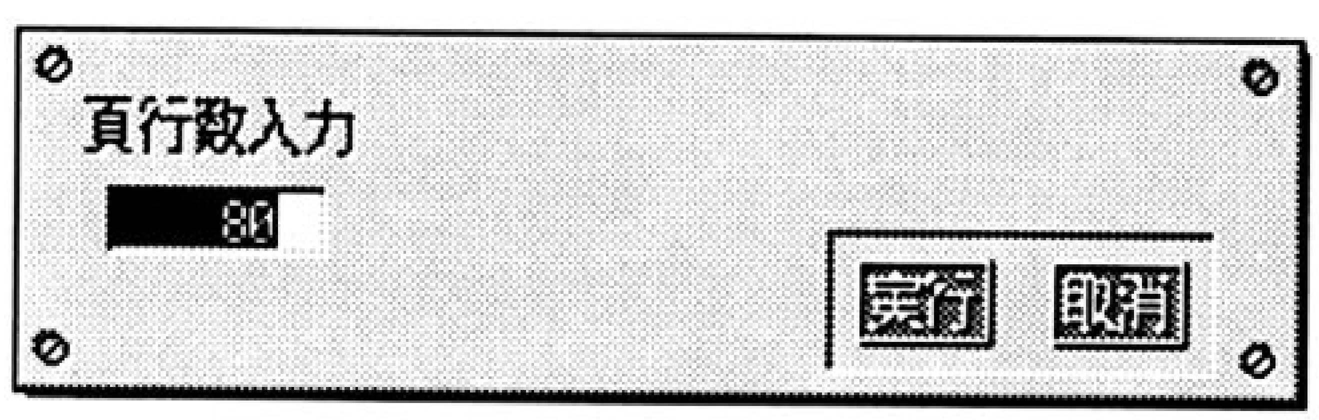
1ライン文字数で設定された行を1行として1ページ行数を設定します。
ここではページ数と行数、文字数の表示のみで、1ページに印刷できる行数ではありません。

改行文字(↓)・タブ文字(→・・・・)・終端記号([EOF])を表示したり、行数を確認するには、次の方法があります。

改行文字表示……改行文字(↓)の表示
タブ文字表示……タブ文字(→・・・・)の表示
終端記号表示……終端記号([EOF])の表示

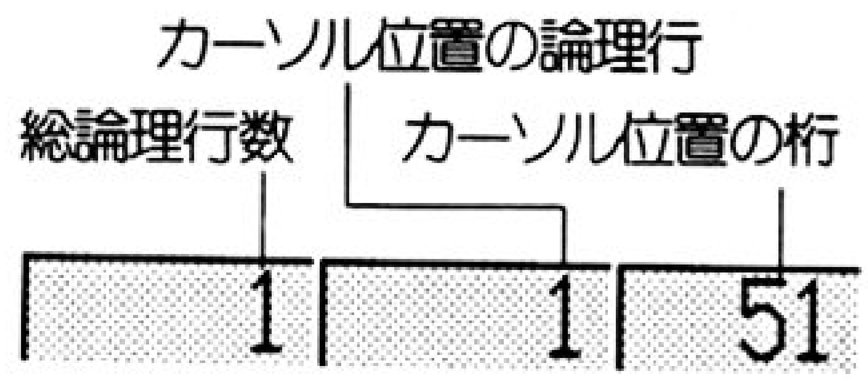


論理行表示………論理行で表示
物理行表示………物理行で表示
頁行数表示..……ページ単位での行数表示(1ページの行数の設定)

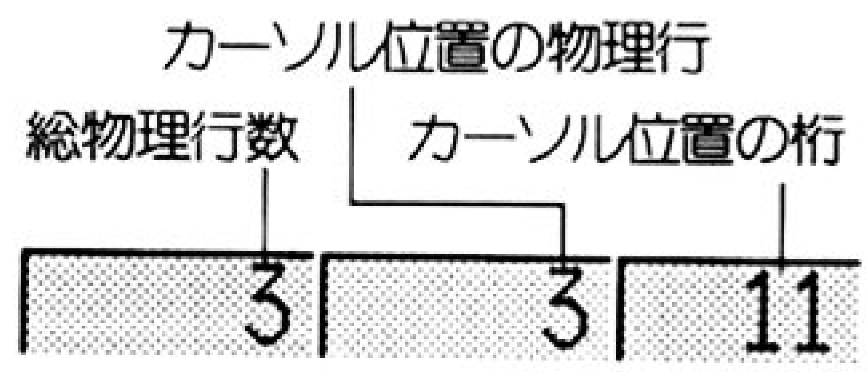


●改行しないで半角50文字を入力したとき（1ライン文字数＝20）

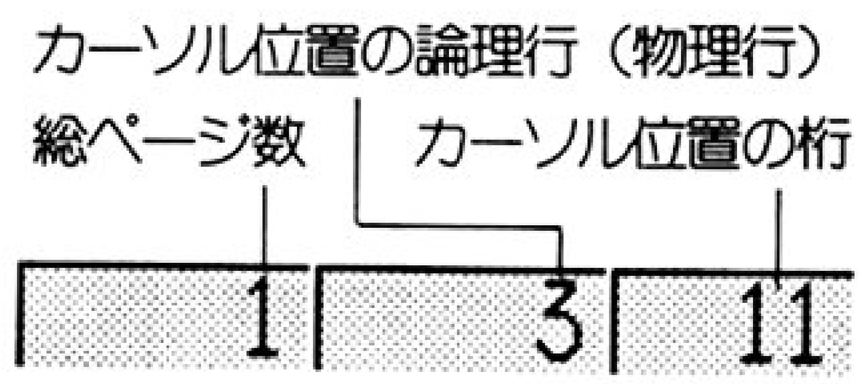
論理行表示



物理行表示



頁行数表示..
（n行/ページ）



モノクロ表示………マルチフォントエディタウィンドウ内をモノクロで表示

カラー表示…………マルチフォントエディタウィンドウ内をカラーで表示

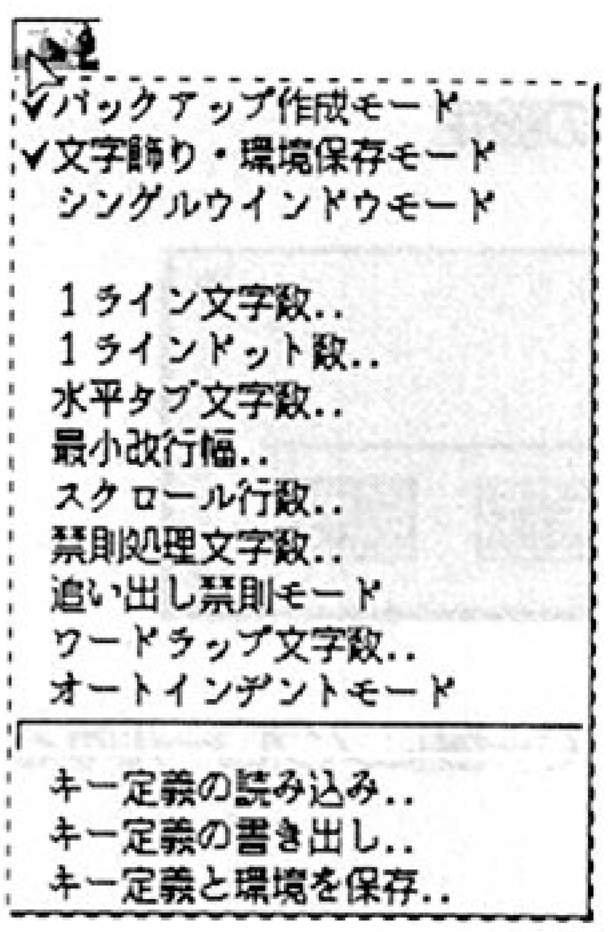
3-10 編集環境を変える

環境

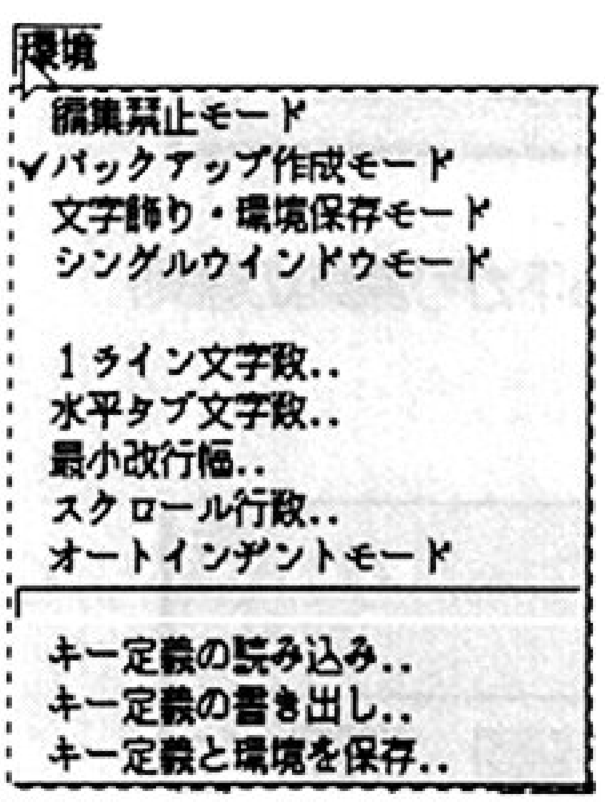
3

文章などの編集

●文書編集モード



●エディタモード



マルチバッファ機能

参照

「4-1・シングルウィンドウモード(マルチバッファ機能)」

編集環境は、環境アイコンで変更します。

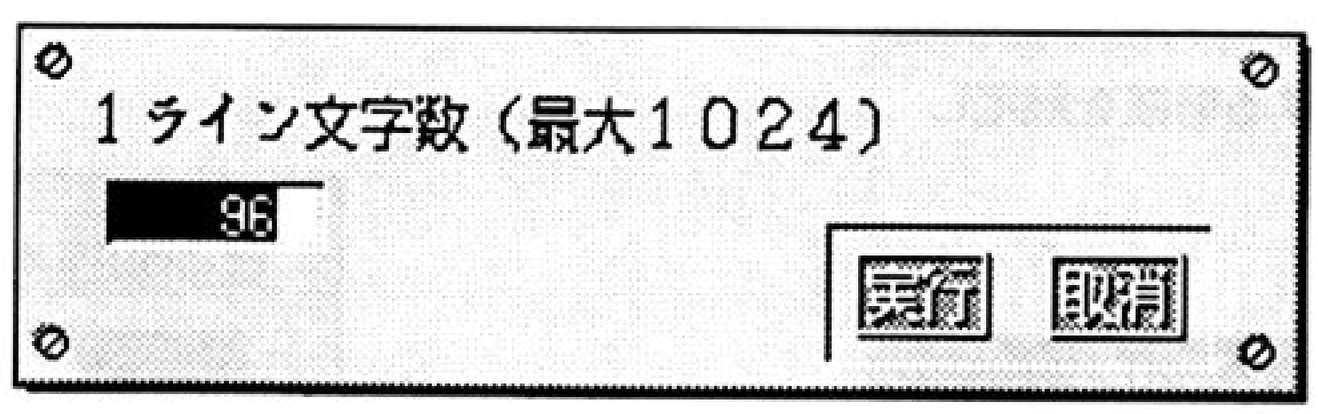
バックアップ作成モード…設定するとバックアップファイル(拡張子「.BAK」)を作成する
1文字も書き換えられないときは、作成されない

文字飾り・環境保存モード…設定すると、文字飾りと編集環境を一緒に保存する1文字も変更がないときは、保存されない

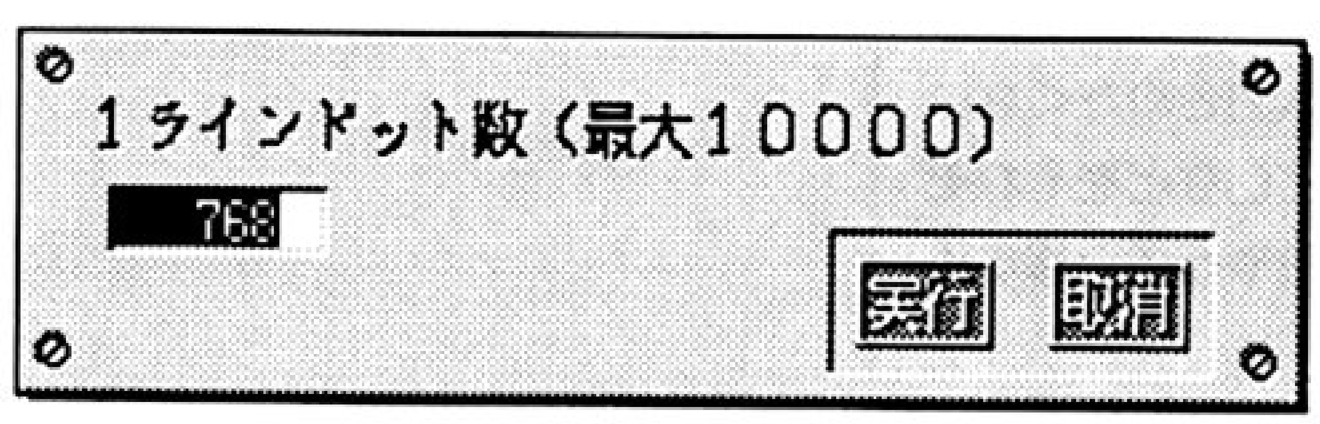
シングルウィンドウモード…設定すると、**開く..** や **新規** を実行したときに新たにウィンドウを開かず、現在のウィンドウに読み込まれる(マルチバッファ機能)

編集禁止モード……………編集できないように設定

1ライン文字数..……………1行(物理行)の文字数の設定
半角文字数で入力する

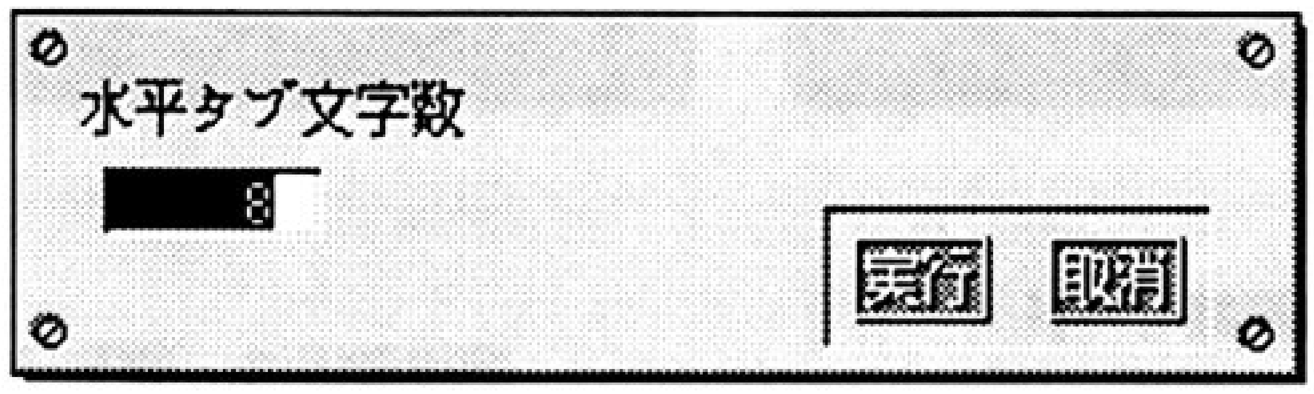


1ラインドット数..…………1行のドット数の設定(ドット単位)

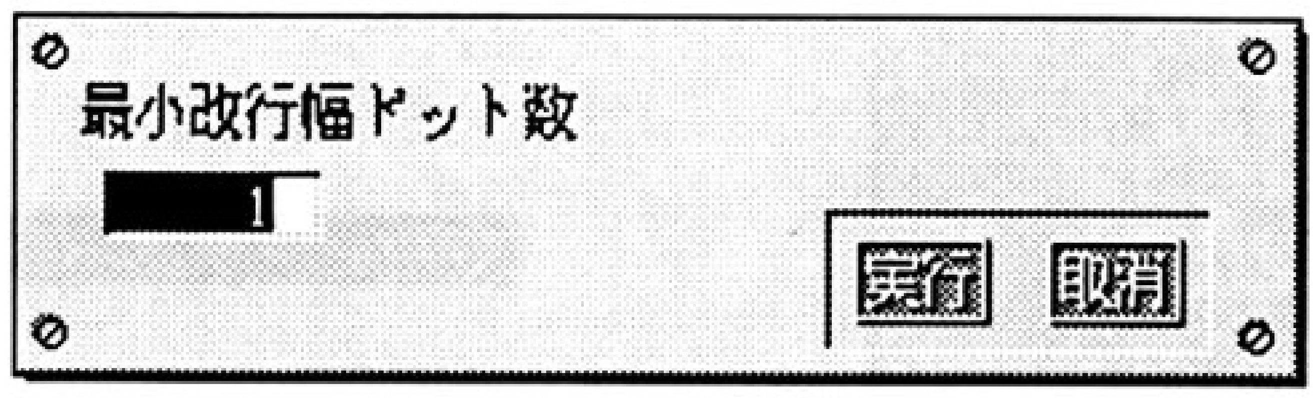


メモ　イメージ印刷をするときは、コントロールパネルの用紙設定で設定されている用紙印字幅(ドット)以下に設定してください。

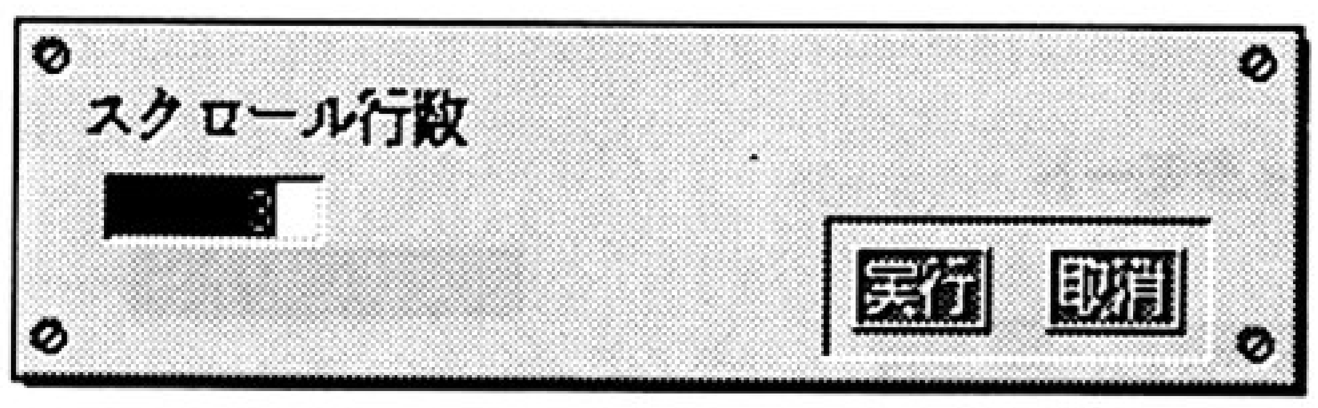
水平タブ文字数..……タブ位置の文字数の設定
半角文字数で入力する



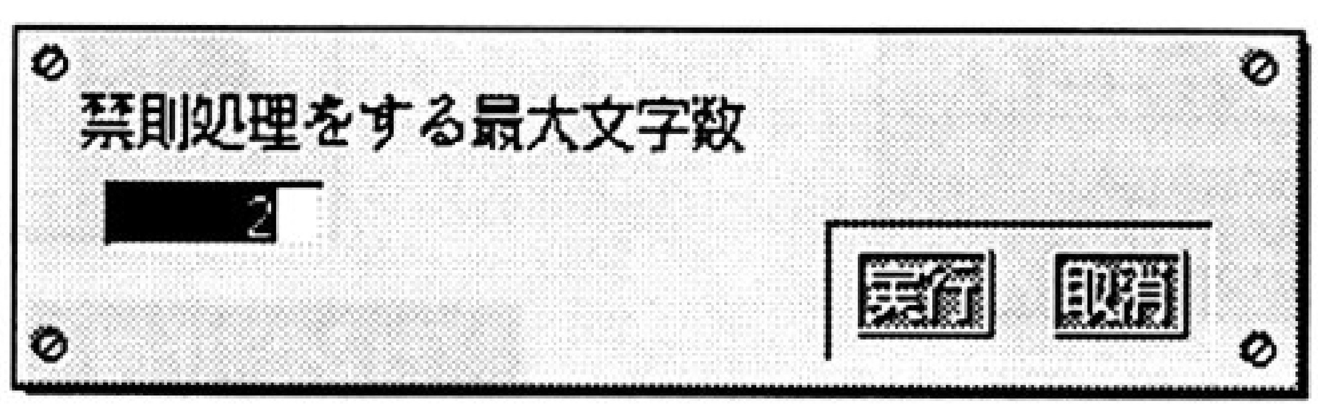
最小改行幅..……………改行幅のドット数の設定



スクロール行数..………カーソル移動などで一度にスクロールする
行数の設定



禁則処理文字数..………追い出し禁則/ぶら下がり禁則の禁則
文字数の設定



最小改行幅の設定

文字の縦サイズ(ドット数)以上を設定します。文字の縦サイズよりも小さいドット数を設定すると、文字の縦サイズで改行します。
行と行と重ね合わせるときは、強制改行幅の設定..で指定します。

参照
「3-6・強制改行幅の設定」

禁則処理文字数の設定

禁則する桁数を設定します。

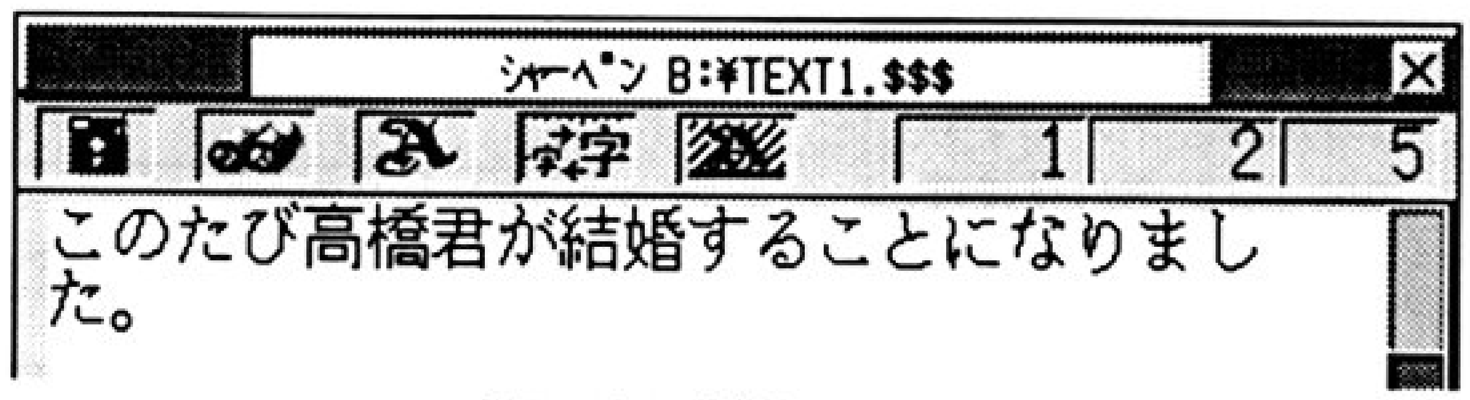
禁則

行頭に入力されたくない「。」「、」などや、行末に入力されたくない「(」「〔」などをそれぞれ行末や行頭に移す処理。

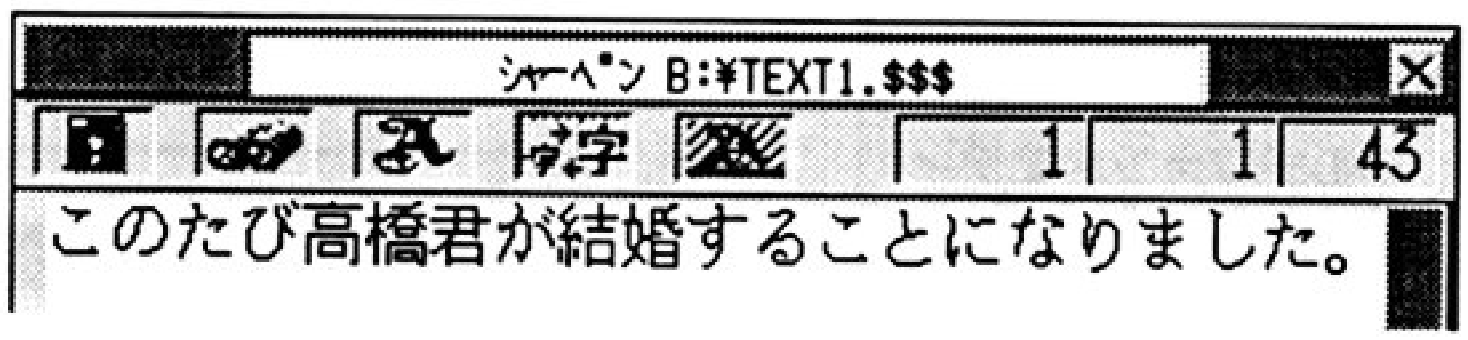
禁則の設定

禁則文字数を設定すると、禁則処理を行います。

追い出し禁則モード……追い出し禁則/ぶら下がり禁則の切り替え



追い出し禁則
（禁則文字数＝２）

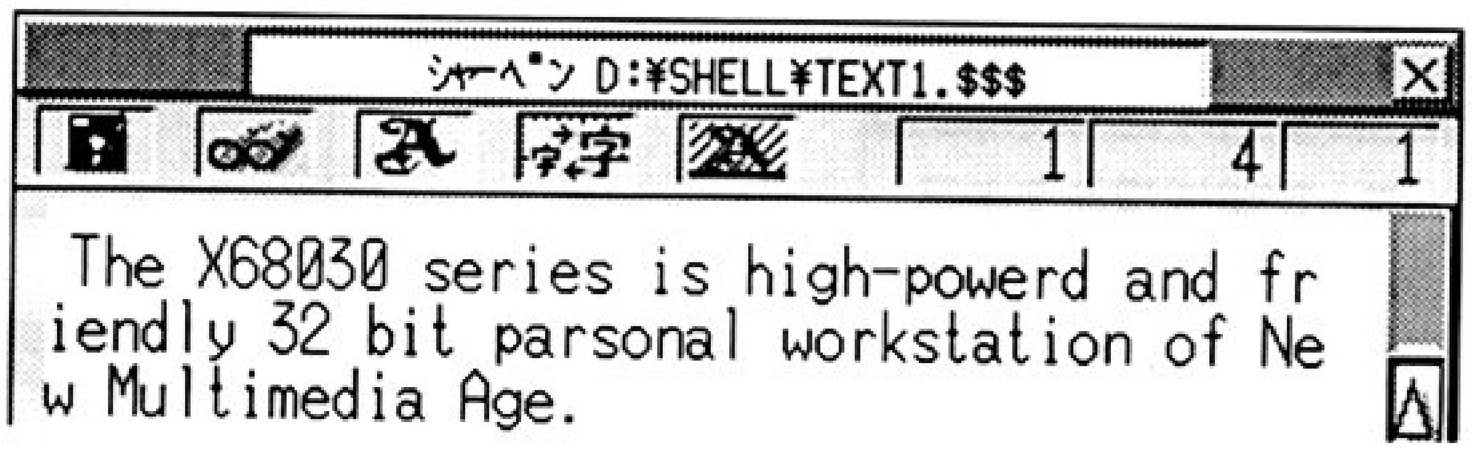


ぶら下がり禁則
（禁則文字数＝２）

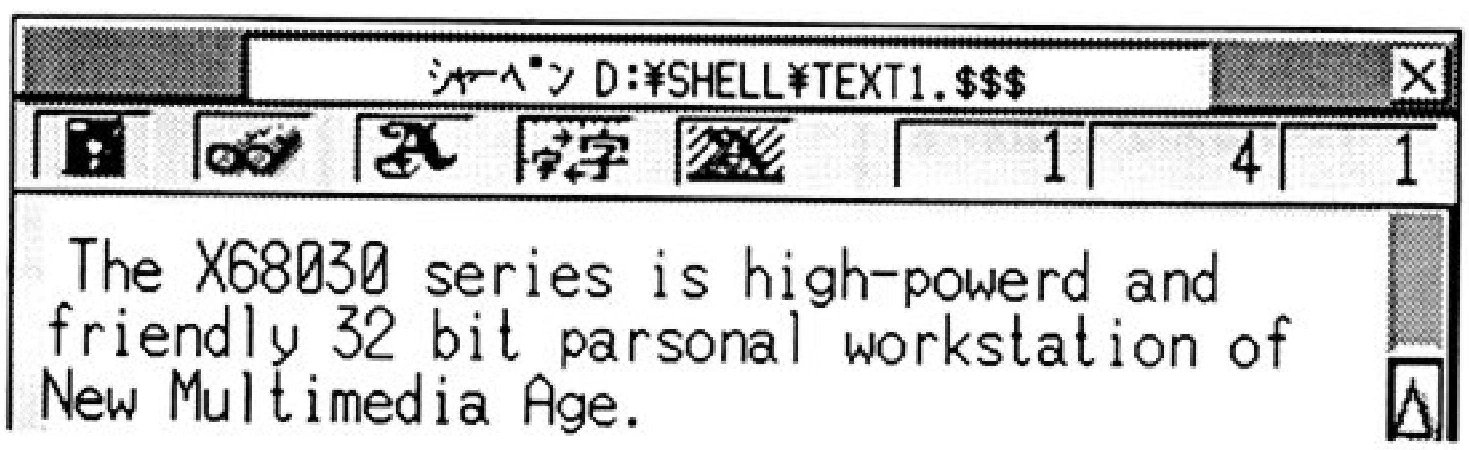
ワードラップ

半角英単語が次行とまたがらないようにします。ワードラップ文字数で指定した文字数以下の単語が２行にまたがりそうなとき、次行に送られます。

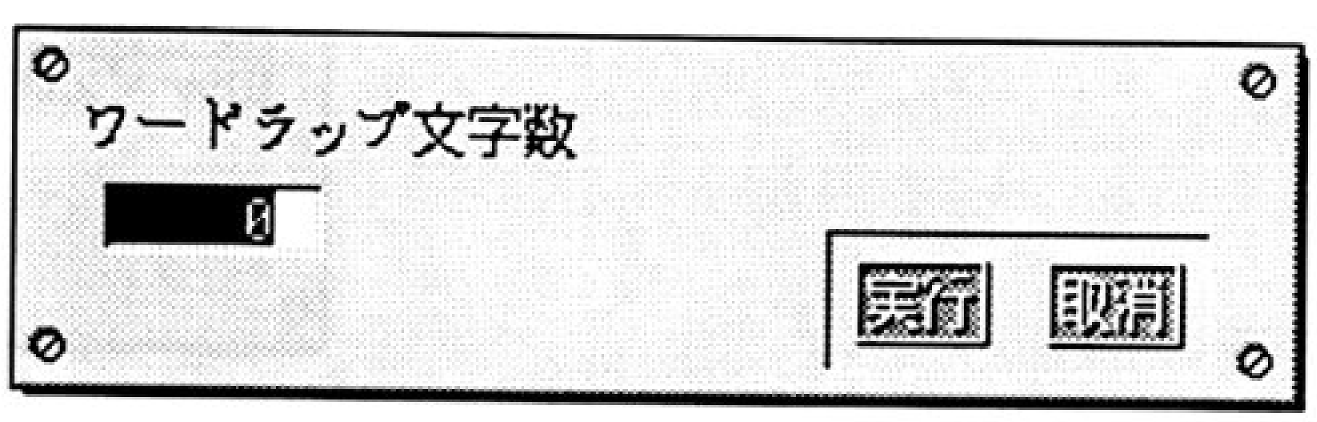
ワードラップ文字数..…ワードラップする最大文字数の設定



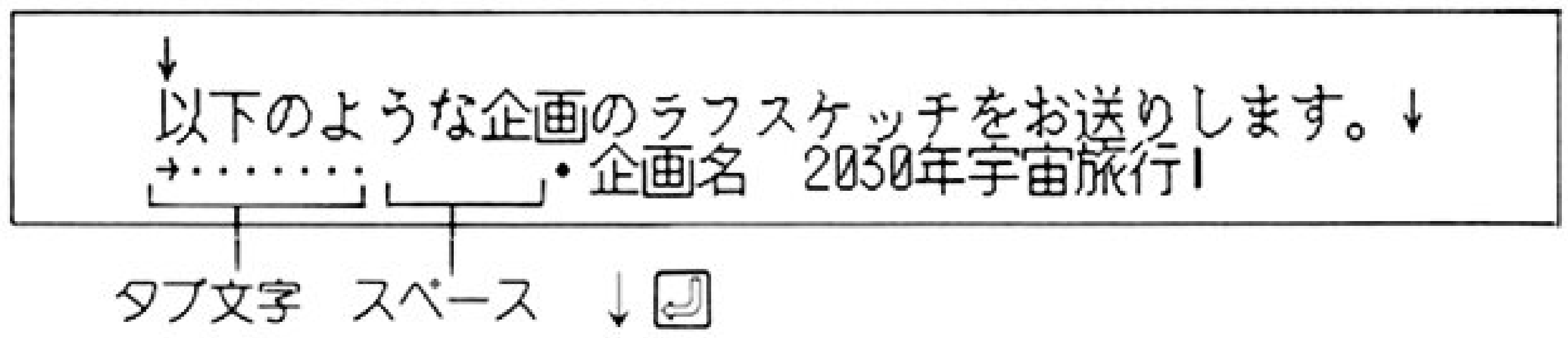
ワードラップ文字数＝０

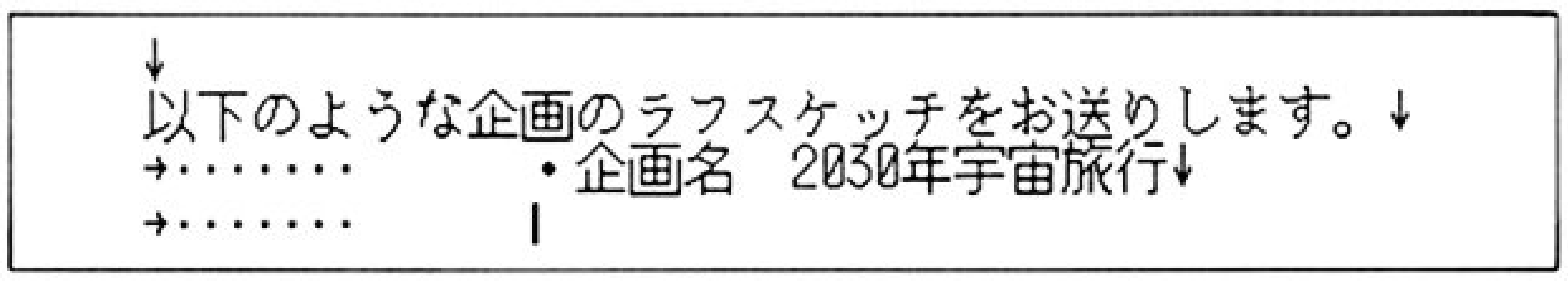


ワードラップ文字数＝５

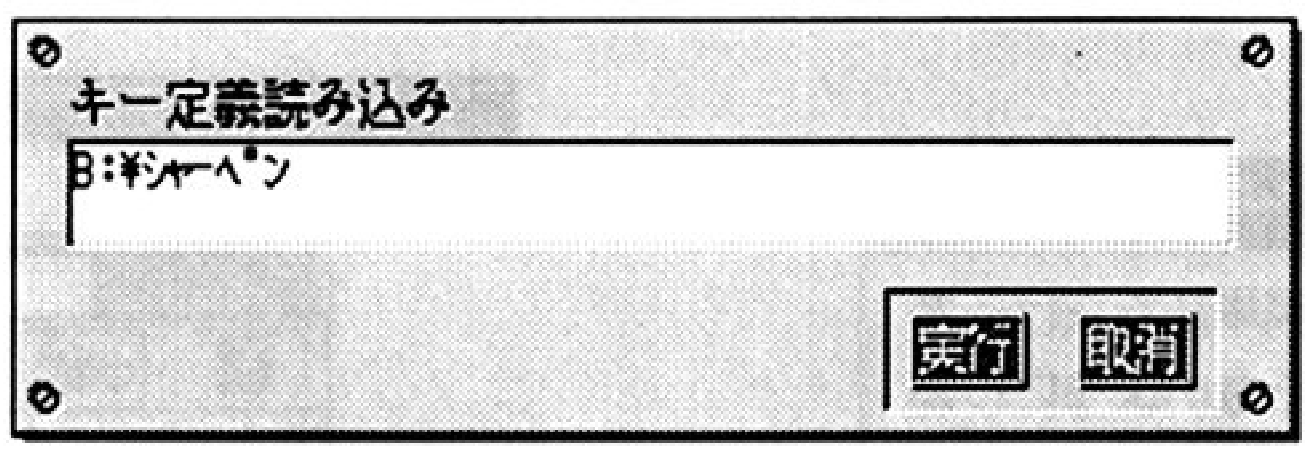


オートインデントモード……オートインデントの設定・解除
改行文字を入力すると、前の行の行頭の空白(タブ、スペース)と同じだけ自動的に段下げする

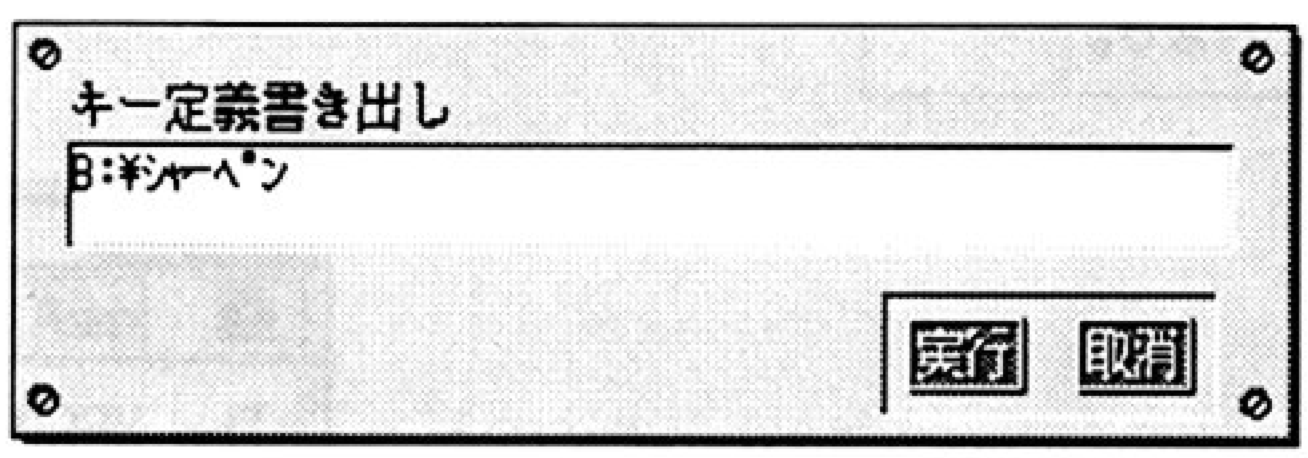




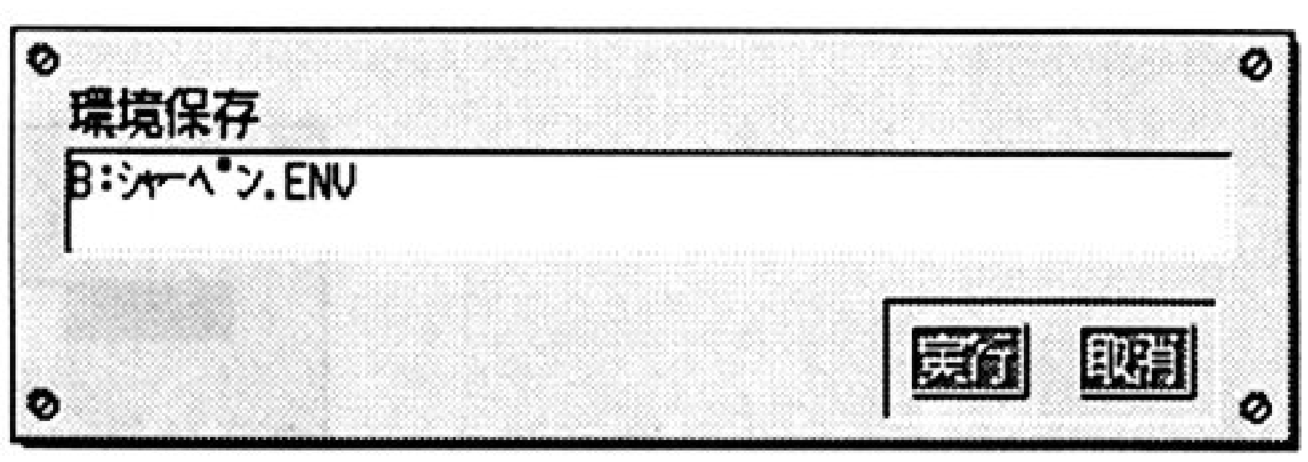
キー定義の読み込み..………キー定義ファイル(テキストファイル)を読み込み、キー定義やメニューを設定する



キー定義の書き出し..……編集中のウィンドウのキー定義やメニューを、ファイルに書き出す



キー定義と環境を保存..…編集中のウィンドウのキー定義などの環境をファイルに保存する



インデント位置

行の先頭のタブ文字やスペースに合わせます。行の途中で入力したタブ文字やスペースは、インデント位置とはみなされません。

キー定義ファイル

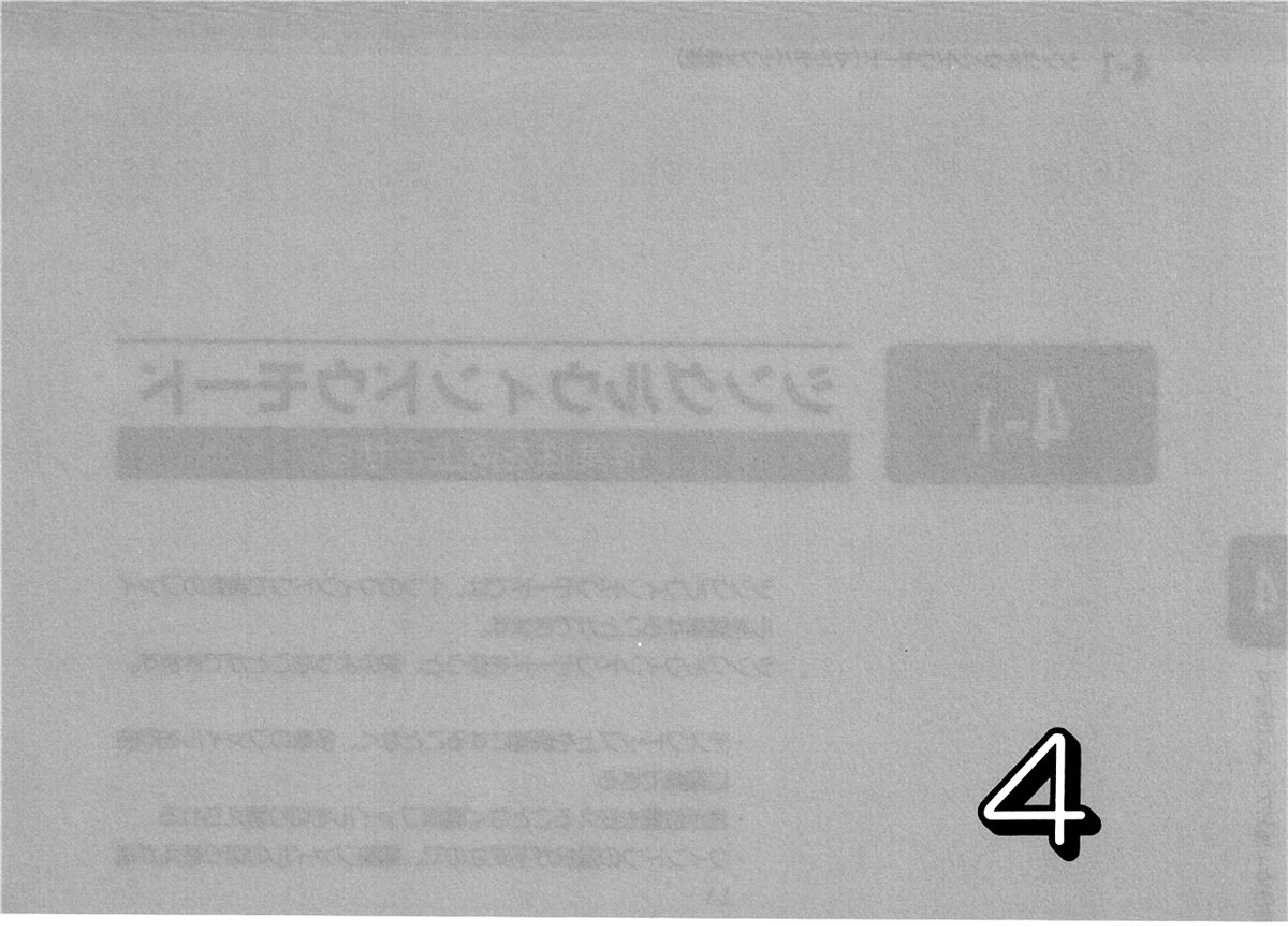
マルチフォントエディタウィンドウのキー定義やメニュー設定するためのテキストファイル。独自に作成できます。ファイル名は自由です。

キー定義書き出し

キー定義情報をテキストファイルにして編集できるようになります。

環境ファイル

キー定義やメニュー定義などの他に、各種モードや環境の初期状態の情報を収めたファイルです。
文書編集モードはシャーペン.ENV、エディタモードはエディタ.ENV。



4

マルチフォントエディタの応用

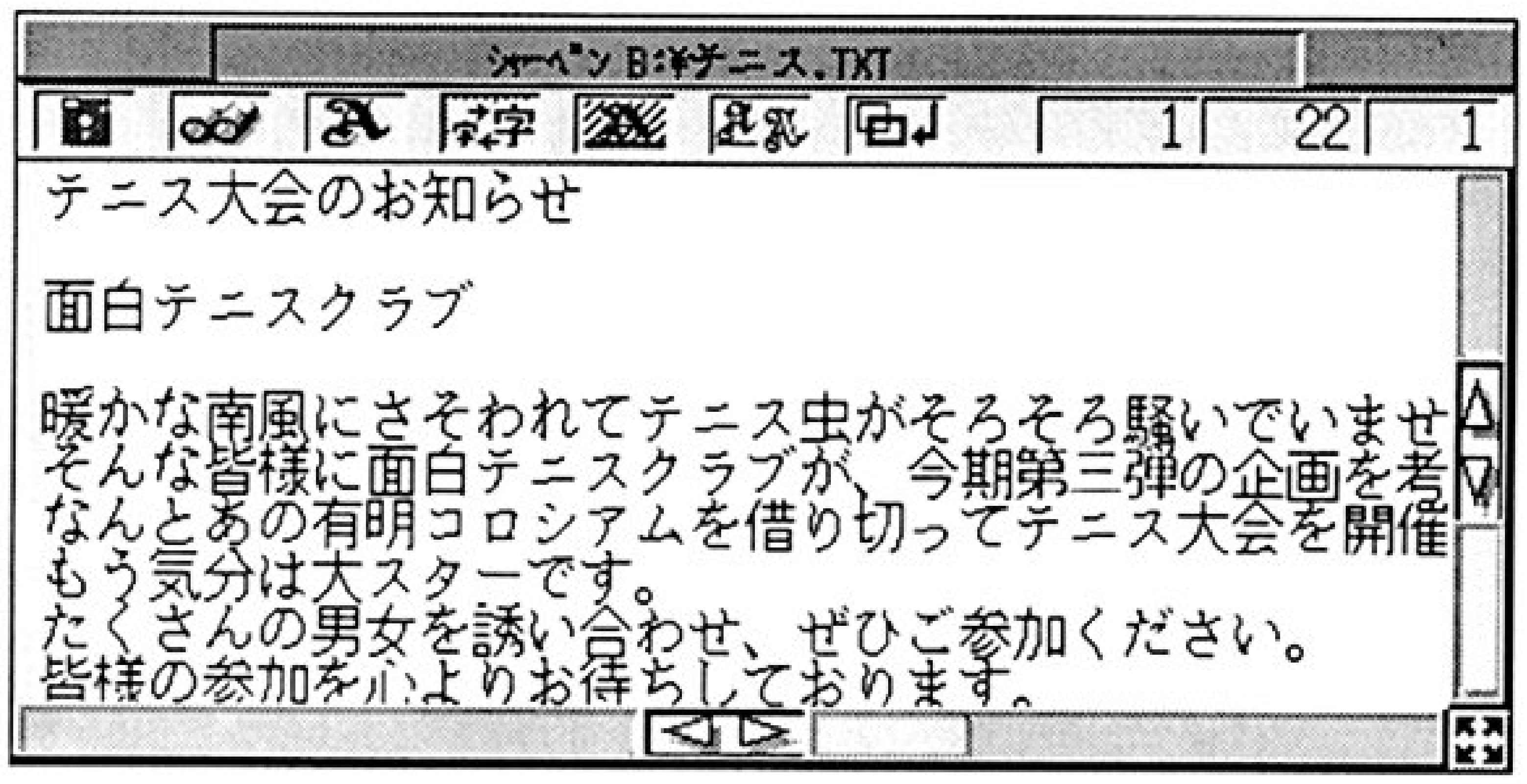
4-1 シングルウィンドウモード

作業性を向上させる

シングルウィンドウモードでは、１つのウィンドウで複数のファイルを編集することができます。
シングルウィンドウモードを使うと、次のようなことができます。

・デスクトップ上を煩雑にすることなく、多数のファイルを同時に編集できる
・表示位置を変えることなく編集ファイルを切り替えられる
・ウィンドウの選択が不要なので、編集ファイルの切り替えが速い

たとえば、４つのファイルを編集するとき、画面上には２つのウィンドウだけを表示させ、ウィンドウをできるだけ大きくすることができます。



このウィンドウでは３つのファイルを管理し、表示されていない残り２つのファイルはバッファに退避している

参照
「3-10・シングルウィンドウモード」

シングルウィンドウモードを設定し、新規や開く..を選ぶと、編集中のファイルをバッファに退避させ、編集中のウィンドウに新しいファイルを開きます。

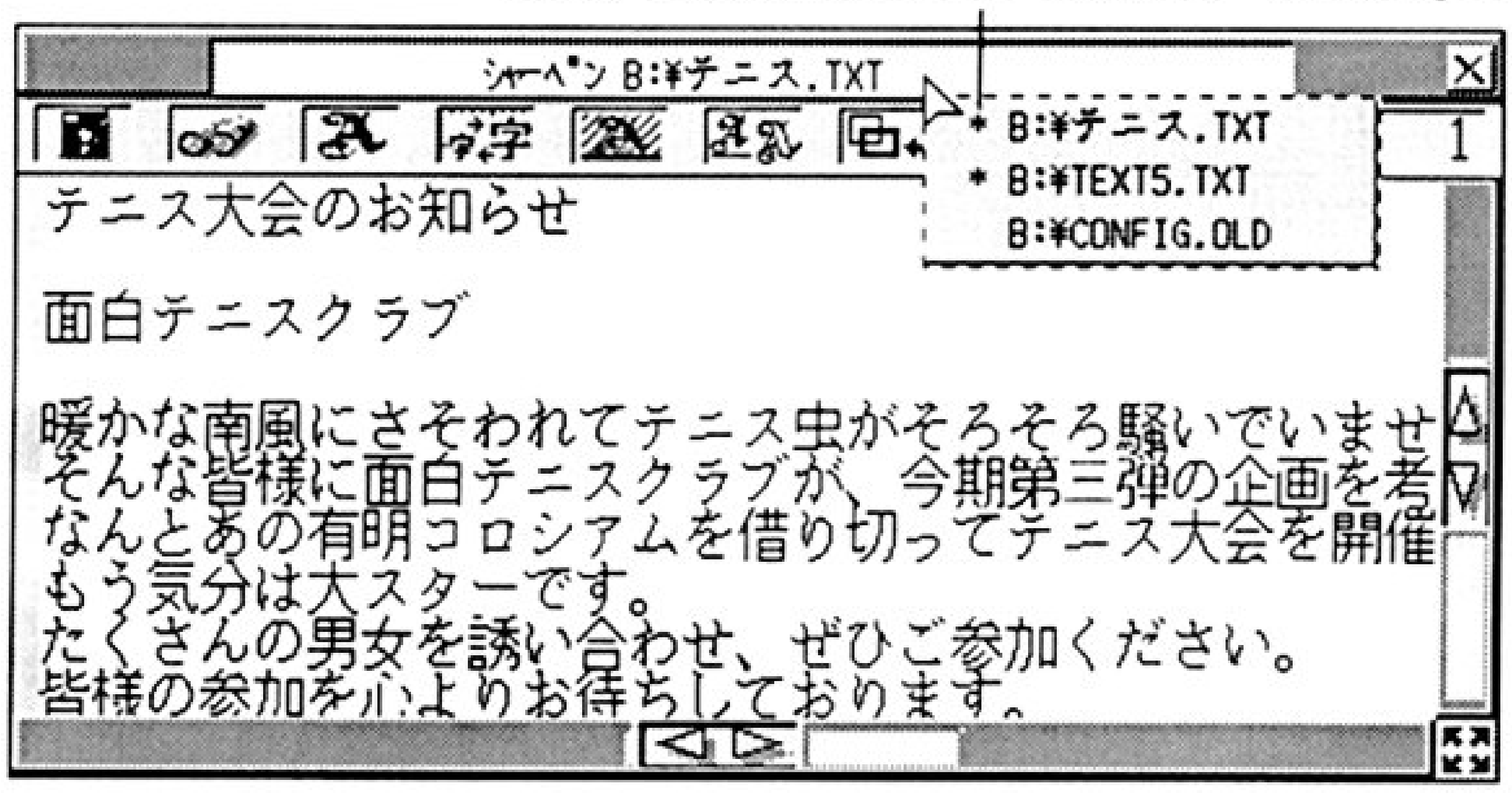
シングルウィンドウモードでも、編集ファイルごとに個別の環境を変えることができます。

●編集対象ファイル

シングルウィンドウモードを使っているとき、編集対象のファイルを切り替えるときは、次のようにします。

- ・HOME または CLR を押す
- ・タイトルバーのポップアップメニューから、編集するファイル名を選ぶ

1文字でも編集したファイル名に「＊」が付く



4-2 キーボードマクロ機能

操作手順を登録する

同じ一連の操作を繰り返して行うときに、キーボードマクロ機能を使います。

操作手順登録の流れ

①CTRL+O ……………登録できる状態にする

②登録する操作の実行 ………キーボードから登録する操作を行う

③CTRL+O ……………登録する操作を終わる

④登録するキーの設定 ………操作手順を登録するキーを設定する

［保存が必要なとき
⑤キー定義と環境を保存.. …環境ファイルに保存する］

操作手順の登録

例：3行分改行し、全角10文字分のスペースと「第　章」と入力する、キーボードマクロを OPT.1 + 2 に登録するとき

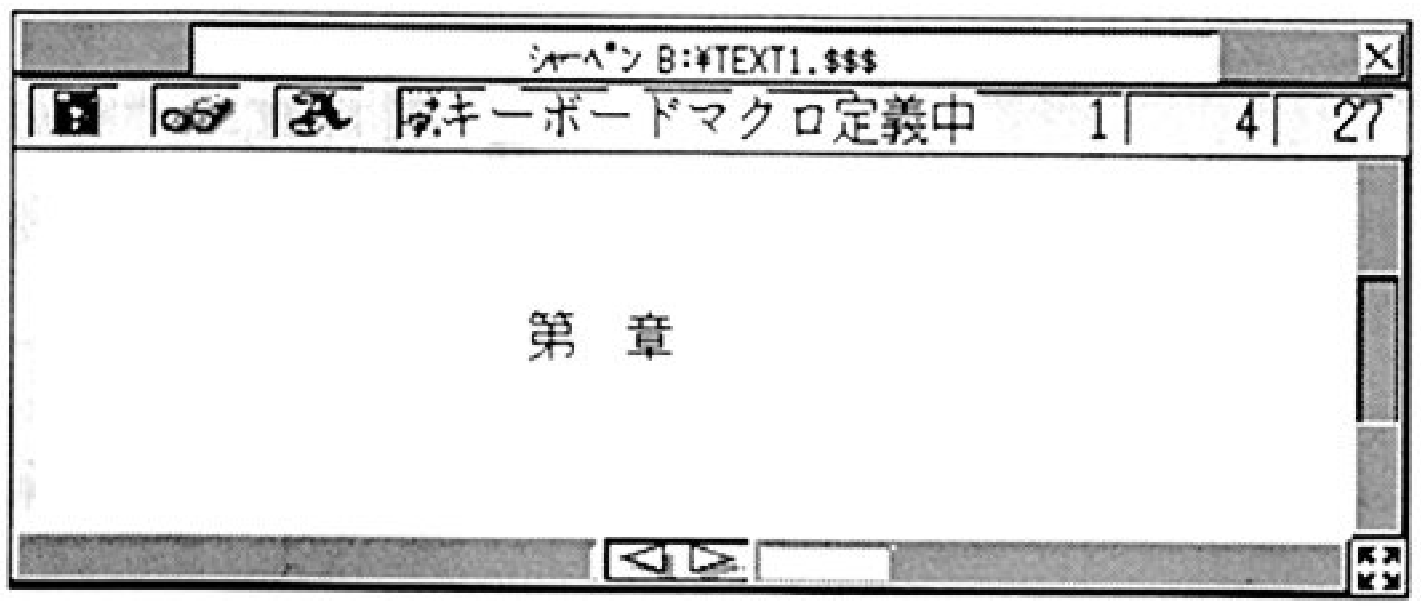
1 CTRL + O を押します。



キーバインド

キーバインドしないと UNDO キーに割り当てられます。

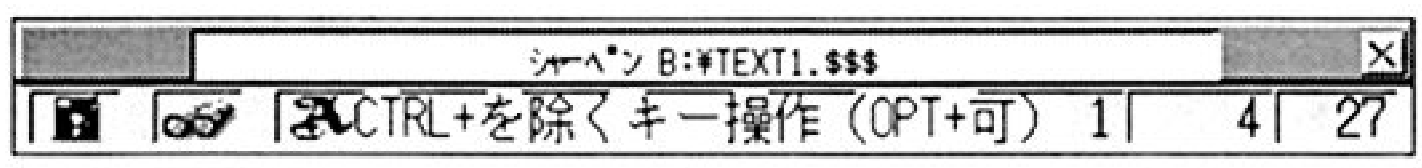
2 ↵を３回と全角スペース10文字分、そして「第　章」という文字を入力します。



3 CTRL ＋ O を押します。



4 Y を押します。 すると操作手順を登録するメッセージが表示されます。



5 操作手順を登録するキーを押し、メモリに登録します。
ここでは、 OPT.1 ＋ 2 を押します。

これで、操作手順が登録されました。
このあと、登録したキー（OPT.1 ＋ 2）を押すと、3行分の改行と全角10文字分のスペースを開けた位置に「第　章」と入力します。

キーボードマクロを設定できるキー

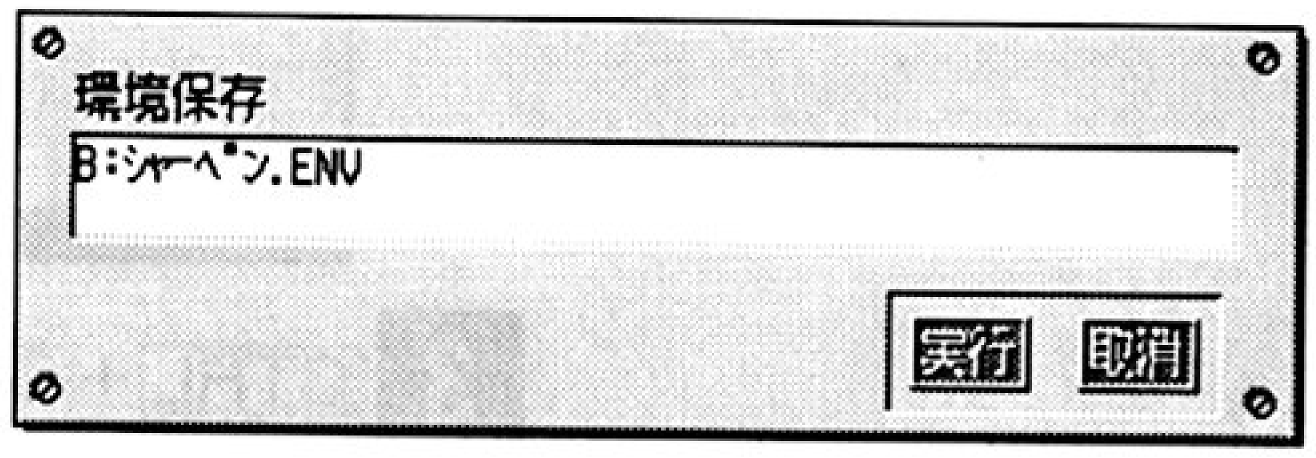
CTRL ＋キーを除く、 OPT.1 ＋キーや、 ESC プレフィックス、ファンクションキーなどに設定できます。

環境ファイル

文書編集モードはシャーペン.ENV、
エディタモードはエディタ.ENV。

キーバインドで、キーに割り当てたキーボードマクロは、キー定義と環境を保存..で保存することができます。
保存が必要なときは、次のようにします。

6 環境アイコンのポップアップメニューからキー定義と環境を保存..を選びます。



7 環境ファイルを確認して、実行を左クリックして、環境ファイルに保存します。
キーを登録していないときは、環境ファイルにキーボードマクロが保存されません。

4-3 カスタマイズ

操作環境を変更する

マルチフォントエディタウィンドウの各モードの操作環境を独自に作成できます。

独自の環境ファイル編集の流れ

キー定義ファイル
マルチフォントエディタウィンドウの環境を設定するためのテキストファイル。

①キー定義の書き出し………現在の環境のキー定義情報を、キー定義ファイルに書き出す

②キー定義ファイルの編集…書き出したキー定義ファイルをマルチフォントエディタで編集する

③キー定義ファイルの保存…編集した内容を保存する

④キー定義の読み込み………変更したキー定義ファイルを、現在の編集環境に読み込んで定義する

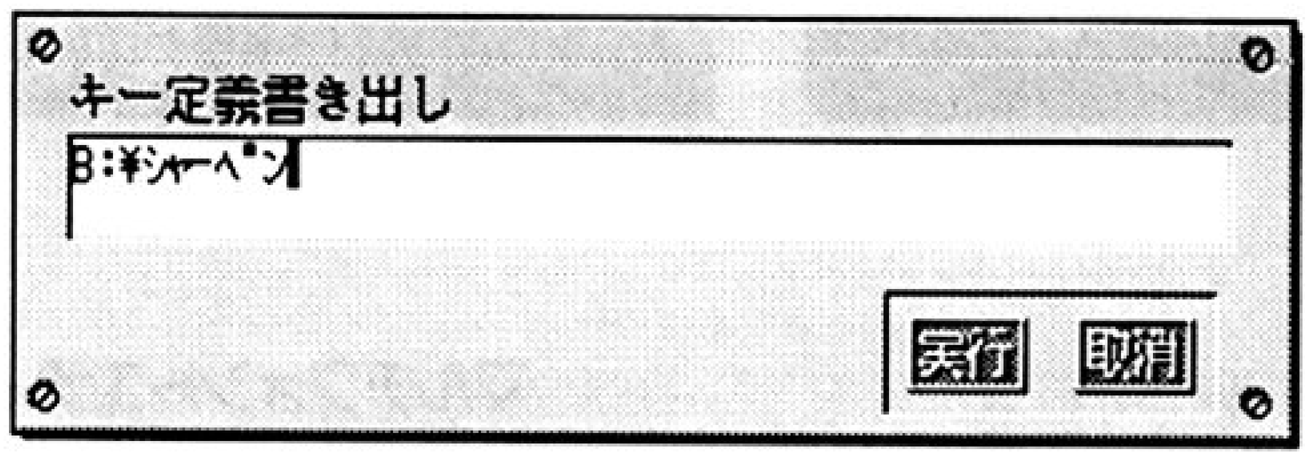
環境ファイル
文書編集モードはシャーペン.ENV、エディタモードはエディタ.ENV。

以上で、新しい編集環境を使用できます。

保存が必要なとき
⑤キー定義と環境を保存……現在の編集環境を環境ファイルに保存する

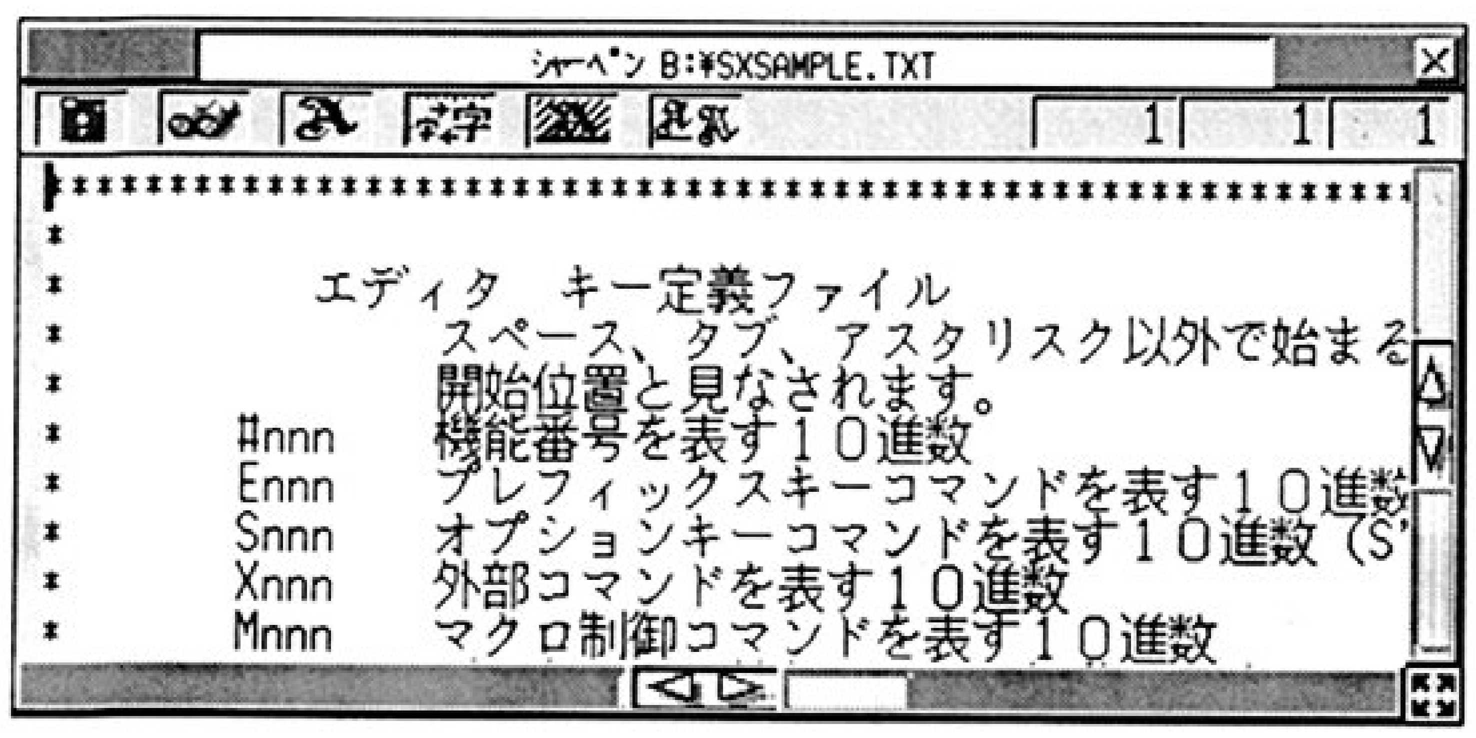
例：「4-2　キーボードマクロ」で OPT.1 + 2 に登録した操作手順に、1行分の改行と「リード文」を追加します。

1 環境アイコンのポップアップメニューから**キー定義の書き出し**を選びます。



2 キー定義ファイル名を入力し、[実行]を左クリックします。
ここでは、キー定義ファイル名を「SXSAMPLE.TXT」とします。
メモリにあるキー定義情報が、SXSAMPLE.TXTというファイル名で書き出されます。

3 SXSAMPLE.TXTのアイコンをマルチフォントエディタウィンドウにドロップして、キー定義ファイルを読み込んでください。



4 「OPT.1 ＋ 2」を検索し、[OPT.1]＋[2]に登録したキーボードマクロを表示します。

```
#175            ▪ OPT.1 + -
未定義          ▪ OPT.1 + .
未定義          ▪ OPT.1 + /
M1,'cont',$0D        ▪ OPT.1 + 0
#221            ▪ OPT.1 + 1
#13,#13,#13,'         第　章',#13,'-第1項-'            ▪ OPT.1 + 2
未定義          ▪ OPT.1 + 3
```
(* ― #13,#13,#13,' の行)

' '

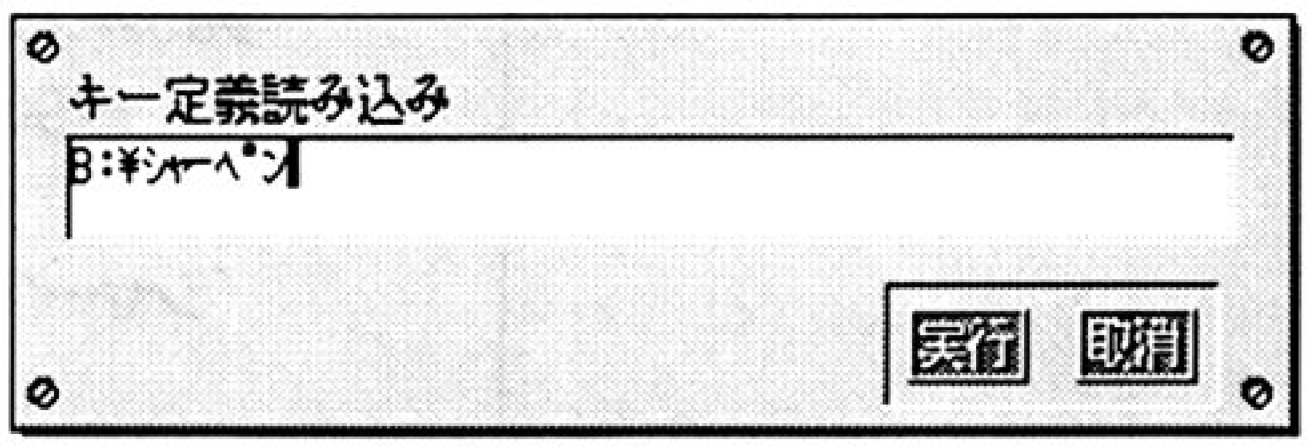
' 'で囲まれた文字を入力します。

5 「'ー第１項ー'」のあとに、「,#13,'リード文'」を入力します。

```
#175            ▪ OPT.1 + -
未定義          ▪ OPT.1 + .
未定義          ▪ OPT.1 + /
M1,'cont',$0D           ▪ OPT.1 + 0
#221            ▪ OPT.1 + 1
#13,#13,#13,'                 第  章',#13,'ー第1項ー',$0D,'リード文'
未定義          ▪ OPT.1 + 3
```

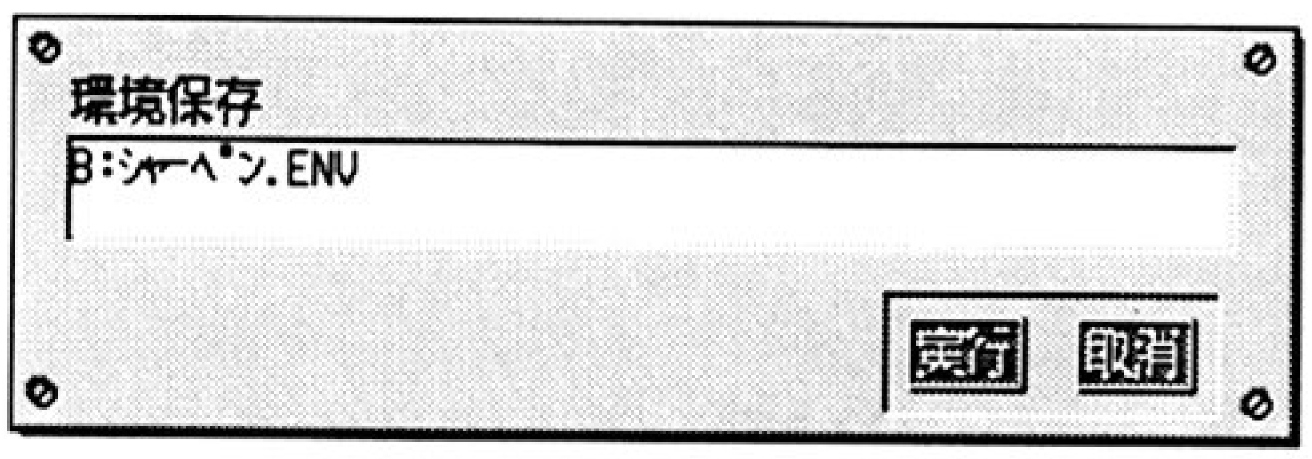
6 ディスクアイコンのポップアップメニューから保存を選び、キー定義ファイルを保存します。

7 環境アイコンのポップアップメニューからキー定義の読み込み..を選びます。



8 OPT.1 を押しながら A を押し、B：¥シャーペンの文字を選択状態にしてからSXSAMPLE.TXTのアイコンをドロップします。実行 を左クリックし、キー定義ファイルのキー定義情報を読み込みます。

9 環境アイコンのポップアップメニューからキー定義と環境を保存..を選びます。



4

マルチフォントエディタの応用

10 表示された環境ファイルを確認し[実行]を左クリックして、読み込んだキー定義情報を環境ファイルに保存します。

これで、登録したキーボードマクロの編集が終了しました。
このあと、[OPT.1]＋[2]を押すと、設定した内容が実行されます。

> **メモ** デスクアクセサリアイコンやファイルアイコンのポップアップメニューなどからのマルチフォントエディタの起動時に任意の環境ファイルを読み込むときは、メニューメンテで次のように設定して下さい。
>
> 実行ファイル
> 　　シャーペン.X
> 実行オプション
> 　　－G(環境ファイル名)　％
>
> 「シャーペン.X」を実行 → シャーペン.ENVの環境で起動
> 「シャーペン.X　－Gエディタ.ENV」を実行 → エディタ.ENVの環境で起動

キー定義ファイルの編集

キー定義ファイルの概要

キー定義ファイルでは、次の環境を定義できます。

- ESC プレフィックスの設定 ……………… PREFIX=
- ファンクションキーの設定 …………………… FUNC=
- OPT.1 シーケンスの設定 ……………… OPT1=
- SHIFT ＋ファンクションキーの設定 ‥ SFUNC=
- CTRL シーケンスの設定 ………………… CTRL=
- SHIFT ＋ CTRL シーケンスの設定‥ SCTRL=
- 外部コマンド実行パス名の指定……………… EXPATH=
- 禁則文字の指定……………………………… TKINZEN=
TKINHAN=
BKINZEN=
BKINHAN=
- 文字属性の指定……………………………… ATTRHAN=
ATTRZEN=
- メニューの設定……………………………… MENUEDIT=
MENUn=

これらのキー定義情報は、機能番号や外部コマンド、キーボードマクロを使って定義します。

4

マルチフォントエディタの応用

S'X'

OPT.1 + X の意味。

キー定義情報の定義方法

キー定義の開始 ……スペース、タブ、アスタリスク(＊)以外で始まる行が、キー定義の開始位置となります。

キー定義の範囲 ……改行コードまでが定義される範囲です。

nnn ………………機能番号を表す10進数です。

Ennn ………………ESC プレフィックスコマンドを表す10進数です。

Snnn ………………ファンクションキーコマンドなどを表す10進数です(S'X'でもよい)。

Xnnn ………………外部コマンドを表す10進数です。

M1 ………………外部コマンドを起動するコマンドです。

$xx ………………1バイトの16進数を表します。

$xxxx ………………2バイトの16進数を表します。

'Ab' ………………' 'に囲まれた文字そのものを表します。文字「 ' 」は、$27と表記します。

連続する場合 ………「 , 」で区切ります。
例：#70,'a:¥config.sys',$0D
新しいウィンドウを開き、A:¥CONFIG.SYS を読み込む

● **ESC プレフィックス……定義の開始：PREFIX =**

・「＊」(脚注)以下で指定されたキーに対して脚注の前に機能番号、外部コマンド、キーボードマクロで定義します。

・外部コマンドの書式… M1,'(外部コマンド スイッチ)',$0D

・「ESC ＋ A」は ESC ・ A、「ESC ＋^A」は ESC ・ CTRL ＋ A の意味です。

・ESC プレフィックス以外のキー定義で、ESC プレフィックスで設定したキー定義を使うときは、E 0～E127を指定します
(E 0は最初のファイルの読み込み時に自動的に実行されます)。

```
未定義          * ESC +^@     ……  E 0
#167            * ESC +^A     ……  E 1
                ・                  ・
                ・                  ・
                ・                  ・
#65             * ESC + A     ……  E65
                ・                  ・
                ・                  ・
                ・                  ・
未定義          * ESC +       ……  E127
```

●ファンクションキー……定義の開始：FUNC=

・「*」(脚注)以下で指定されたキーに対して脚注の前に機能番号、外部コマンド、キーボードマクロで定義します。

・外部コマンドの書式…　M1,'(外部コマンド　スイッチ)',$0D

・ファンクションキー以外のキー定義で、ファンクションキーで設定したキー定義を使うときは、S 0～S31を指定します(S 0は編集テキストを開いたときに自動的に実行されます)。

```
未定義          * 予約        ……  S 0
#7              * DEL         ……  S 1
                ・                  ・
                ・                  ・
                ・                  ・
未定義          * 予約        ……  S31
```

●[OPT.1]シーケンス……定義の開始：OPT1=

・「*」(脚注)以下で指定されたキーに対して脚注の前に機能番号、外部コマンド、キーボードマクロで定義します。

・外部コマンドの書式…　M1,'(外部コマンド　スイッチ)',$0D

・[OPT.1]シーケンス以外のキー定義で、[OPT.1]シーケンスで設定したキー定義を使うときは、S32～S95(またはS' '～S'_')を指定します。

```
未定義    * OPT.1 +     ……  S32(S' ')
未定義    * OPT.1 + !   ……  S33(S'!')
            ・                  ・
            ・                  ・
            ・                  ・
未定義    * OPT.1 + _   ……  S95(S'_')
```

4 マルチフォントエディタの応用

●SHIFT +ファンクションキー……定義の開始：SFUNC=

・「＊」(脚注)以下で指定されたキーに対して脚注の前に機能番号、外部コマンド、キーボードマクロで定義します。
・外部コマンドの書式… M1,'(外部コマンド スイッチ)',$0D
・SHIFT +ファンクションキー以外のキー定義で、SHIFT +ファンクションキーで設定したキー定義を使うときは、S96〜S127を指定します。

未定義	＊	予約	……	S96
#7	＊	DEL	……	S97
	⋮			⋮
未定義	＊	予約	……	S127

●CTRL シーケンス……定義の開始：CTRL =

・「＊」(脚注)以下で指定されたキーに対して脚注の前に機能番号、外部コマンド、キーボードマクロで定義します。
・外部コマンドの書式… M1,'(外部コマンド スイッチ)',$0D
・「^@」はCTRL＋@を意味します。

●SHIFT ＋ CTRL シーケンス……定義の開始：SCTRL =

・「＊」(脚注)以下で指定されたキーに対して脚注の前に機能番号、外部コマンド、キーボードマクロで定義します。
・外部コマンドの書式… M1,'(外部コマンド スイッチ)',$0D
・「SHIFT ＋^@」はSHIFT＋CTRL＋@を意味します。

●外部コマンド実行パス……定義の開始：EXPATH =

・指定されていないときは、シャーペン.Xのあるディレクトリが設定されます。

●行頭禁則文字(全角)……定義の開始:TKINZEN=

・' 'の中に行頭禁則する全角文字(「。」「、」など)を指定します。

●行頭禁則文字(半角)……定義の開始:TKINHAN=

・' 'の中に行頭禁則する半角文字(「。」「、」など)を指定します。

●行末禁則文字(全角)……定義の開始:BKINZEN=

・' 'の中に行末禁則する全角文字(「(」「く」など)を指定します。

●行末禁則文字(半角)……定義の開始:BKINHAN=

・' 'の中に行末禁則する半角文字(「(」「く」など)を指定します。

●半角文字属性……定義の開始:ATTRHAN=

・256バイトのテーブルで指定します。

・タブとスペースは同じ属性にします。

・文字属性の指定

ビット番号	説　明
0	ONでワードラッピング対象文字
1	予約
2	ONで同じ文字コード以外は連続しない
3	ONで文字の後ろに接続する (通常はタブ、スペース)
4~7	文字の種類(同じ番号をワードとみなす)

●全角文字属性……定義の開始:ATTRZEN=

・全角文字の属性を範囲を指定して定義します。

・1ワード目から2ワード目の範囲の文字が3ワード目の属性に定義されます。

・指定されていない範囲は$40になります。

・全角文字はワードラッピングの対象にはなりません。

・文字属性の指定は、半角文字属性と同じです。

●**テキスト編集領域のメニュー……定義の開始：MENUEDIT=**

- 書式……　'(メニュー名)',(機能)
- (メニュー名)をスペースとすると、空行になります。
- 「未定義」のみにすると、枠付きの空行になります。
- (機能)には、機能番号、外部コマンド、オプションキーコマンド、キーボードマクロで設定します(OPT.1 シーケンス単独の記述のときのみ、ショートカットキーが表示されます)。

●**アイコンとメニュー定義……定義の開始：MENUn=**

- 書式……　MENUn=
  (アイコンパターン)
  '(メニュー名)',(機能)
- (アイコンパターン)は、パターンエディタ.Xで作成します。(サイズは32ドット×20ドット固定、モノクロ4階調のみ)
- (メニュー名)をスペースとすると、空行になります。
- 「未定義」のみにすると、枠付きの空行になります。
- (機能)には、機能番号、外部コマンド、オプションキーコマンド、キーボードマクロで設定します(OPT.1 シーケンス単独の記述のときのみ、ショートカットキーが表示されます)。
- 外部コマンドの書式…　M1,'(外部コマンド　スイッチ)',$0D
- MENU1～MENUnnまで連続した番号で並べて定義します。
- メニュー項目は、1つのメニューにつき最大31項目まで定義できます。

アイコンパターンの作成

アイコンバーに表示されるアイコンパターンを新しく作成するには、次のようにします。

1 パターンエディタを起動し、アイコンサイズを「よこ」=32ドット、「たて」=20ドットに設定し、アイコンパターンを作成します。

2 パターン編集窓のポップアップメニューから 全選択 を選び、続いて コピー を選び、クリップボードにアイコンパターンを格納します。

パターンエディタ
参照
『SX-WINDOWユーザーズマニュアル』

3 キー定義ファイルが読み込まれたマルチフォントエディタウィンドウに切り替えます。

4 アイコンパターンを入力する位置にカーソルを移動し、テキスト編集領域のポップアップメニューから**イメージペースト**を選び、アイコンパターンを入力します。

付　録

付-1 機能一覧

●文書編集モード(シャーペン.ENV)、エディタモード(エディタ.ENV)共通

ESC プレフィックス(PREFIX =)

キー定義情報	キー	内　容
未定義	* ESC +^@	最初のファイル読み込み時に実行
#167	* ESC +^A	編集ウィンドウの切り替え(昇順)
M1,'sea -C -G',$0D	* ESC +^B	カレントワードで全域検索
#221	* ESC +^C	名前で外部コマンド起動
#168	* ESC +^D	編集ウィンドウの切り替え(降順)
未定義	* ESC +^E	
#102	* ESC +^F	新規ウィンドウのオープン
未定義	* ESC +^G	
#206	* ESC +^H	キー定義情報と環境の保存
M1,'sea -G -L',$0D	* ESC +^I	前回検索した文字で全域検索
M1,'rep -L',$0D	* ESC +^J	前回置換した文字で前方置換
未定義	* ESC +^K	
M1,'rep -L -B',$0D	* ESC +^L	前回置換した文字で後方置換
#109	* ESC +^M	改行文字(↓)の表示/非表示
M1,'sea -L',$0D	* ESC +^N	前回検索した文字で前方検索
未定義	* ESC +^O	
未定義	* ESC +^P	
未定義	* ESC +^Q	
M1,'rep -L -Q',$0D	* ESC +^R	前回置換した文字で前方置換(確認なし)
M1,'sea -L -B',$0D	* ESC +^S	前回検索した文字で後方検索
未定義	* ESC +^T	
M1,'rep -L -Q -B',$0D	* ESC +^U	前回置換した文字で後方置換(確認なし)
未定義	* ESC +^V	
未定義	* ESC +^W	
未定義	* ESC +^X	
未定義	* ESC +^Y	
未定義	* ESC +^Z	
未定義	* ESC +^[	
未定義	* ESC +^¥	
未定義	* ESC +^]	
M1,'rep -L -H',$0D	* ESC +^^	前回置換した文字で前方置換(表示なし)

付録

キー定義情報	キー	内　容
M1,'rep -L -H -B',$0D	* ESC +^ _	前回置換した文字で後方置換(表示なし)
#97	* ESC +	すべて保存(編集継続)
#181	* ESC + !	1ライン文字数入力
#182	* ESC + "	水平タブ文字数入力
#35	* ESC + #	改行幅入力
#36	* ESC + $	スクロール行数入力
未定義	* ESC + %	
未定義	* ESC + &	
#39	* ESC + '	終端記号([EOF])の表示/非表示
#44	* ESC + (	タブ文字(→・・・・)の表示/非表示
#41	* ESC +)	カット
#42	* ESC + *	コピー
#60	* ESC + +	指定行数前方にジャンプ
#215	* ESC + ,	表示オフ
#62	* ESC + -	指定行数後方にジャンプ
未定義	* ESC + .	
#47	* ESC + /	カーソルをホーム位置(文頭)に移動
#48,'0'	* ESC + 0	数値付きコマンドに「0」を入力
#48,'1'	* ESC + 1	数値付きコマンドに「1」を入力
#48,'2'	* ESC + 2	数値付きコマンドに「2」を入力
#48,'3'	* ESC + 3	数値付きコマンドに「3」を入力
#48,'4'	* ESC + 4	数値付きコマンドに「4」を入力
#48,'5'	* ESC + 5	数値付きコマンドに「5」を入力
#48,'6'	* ESC + 6	数値付きコマンドに「6」を入力
#48,'7'	* ESC + 7	数値付きコマンドに「7」を入力
#48,'8'	* ESC + 8	数値付きコマンドに「8」を入力
#48,'9'	* ESC + 9	数値付きコマンドに「9」を入力
#58	* ESC + :	キーボードマクロの編集
#59	* ESC + n :	キーボードマクロのn回実行
#116,#107,'96,16,556,162',$0D	* ESC + <	編集ウィンドウの縮小と移動
#61	* ESC + =	編集ウィンドウ表示/非表示の切り替え
#116,#107,'86,22,680,490',$0D	* ESC + >	編集ウィンドウの拡大と移動
#63	* ESC + ?	別名で保存
M1,'rep -G',$0D	* ESC + @	全域置換
#65	* ESC + A	編集テキストの切り替え(昇順)
#66	* ESC + B	カーソルをファイルの先頭に移動
#67	* ESC + C	コマンドの実行
#68	* ESC + D	編集テキストの切り替え(降順)
#69	* ESC + E	全ファイルの保存・終了

キー定義情報	キー	内　容
#70	* ESC + F	新しいファイルの編集(開く)
#71	* ESC + nG	n回ペースト
#72	* ESC + H	編集ファイルの保存(編集継続)
M1,'sea -G',$0D	* ESC + I	全域検索
M1,'rep',$0D	* ESC + J	前方置換
#75	* ESC + K	編集ファイルの編集終了(保存しない)
M1,'rep -B',$0D	* ESC + L	後方置換
#77	* ESC + M	マークジャンプ位置へジャンプ
M1,'sea',$0D	* ESC + N	前方検索
#79	* ESC + O	編集を最初からやり直す
#80	* ESC + P	選択した行単位のカット
#81	* ESC + Q	全ファイルの編集終了(保存しない)
M1,'rep -L -Q',$0D	* ESC + R	前回置換した文字で前方置換(確認なし)
M1,'sea -B',$0D	* ESC + S	後方検索
#84	* ESC + T	編集ファイルのファイル名変更
M1,'rep -Q -B',$0D	* ESC + U	後方置換(確認なし)
#86	* ESC + V	タグジャンプ(機能番号#86、参照)
#87	* ESC + W	選択範囲のファイルへの書き出し
#88	* ESC + X	編集ファイルの保存・終了
#89	* ESC + Y	カーソル位置へのファイルの挿入
#90	* ESC + Z	カーソルをファイルの最終行に移動
M1,'rep -C',$0D	* ESC + [	カレントワードで前方置換
M1,'rep -C -B',$0D	* ESC + ¥	カレントワードで後方置換
M1,'case -M-1',$0D	* ESC +]	現在の大文字/小文字モードを逆に設定
M1,'rep -H',$0D	* ESC + ^	前方置換(表示なし)
M1,'rep -H -B',$0D	* ESC + _	後方置換(表示なし)
未定義	* ESC + `	
#65	* ESC + a	編集テキストの切り替え(昇順)
#66	* ESC + b	カーソルをファイルの先頭に移動
#67	* ESC + c	コマンドの実行
#68	* ESC + d	編集テキストの切り替え(降順)
#69	* ESC + e	全ファイルの保存・終了
#70	* ESC + f	新しいファイルの編集(開く)
#71	* ESC + ng	n回ペースト
#72	* ESC + h	編集ファイルの保存(編集継続)
M1,'sea -G',$0D	* ESC + i	全域検索
M1,'rep',$0D	* ESC + j	前方置換
#75	* ESC + k	編集ファイルの編集終了(保存しない)
M1,'rep -B',$0D	* ESC + l	後方置換

キー定義情報	キー	内　　容
#77	* ESC + m	マークジャンプ位置へジャンプ
M1,'sea',$0D	* ESC + n	前方検索
#79	* ESC + o	編集を最初からやり直す
#80	* ESC + p	選択した行単位のカット
#81	* ESC + q	全ファイルの編集終了(保存しない)
M1,'rep -L -Q',$0D	* ESC + r	前回置換した文字で前方置換(確認なし)
M1,'sea -B',$0D	* ESC + s	後方検索
#84	* ESC + t	編集ファイルのファイル名変更
M1,'rep -Q -B',$0D	* ESC + u	後方置換(確認なし)
#86	* ESC + v	タグジャンプ(機能番号#86、参照)
#87	* ESC + w	選択範囲のファイルへの書き出し
#88	* ESC + x	編集ファイルの保存・終了
#89	* ESC + y	カーソル位置へのファイルの挿入
#90	* ESC + z	カーソルをファイルの最終行に移動
未定義	* ESC + {	
未定義	* ESC +		
M1,'pos -P-1',$0D	* ESC + }	論理行表示/物理行表示の交互切り替え
未定義	* ESC + ‾	
未定義	* ESC +	

ファンクションキー(FUNC=)

キー定義情報	キー	内　　容
未定義	* 予約	ファイル読み込み時実行
#7	* DEL	1文字削除
#4	* →	カーソルを1文字右に移動
#19	* ←	カーソルを1文字左に移動
#5	* ↑	カーソルを1文字上に移動
#24	* ↓	カーソルを1文字下に移動
#66	* F1	カーソルをファイルの先頭に移動
#90	* F2	カーソルをファイルの最終行に移動
E74	* F3	前方置換
E78	* F4	前方検索
M1,'sea -N',$0D	* F5	前方次検索
#40	* F6	範囲選択の開始と取り消し
#41	* F7	カット
#42	* F8	コピー
#71	* F9	ペースト

キー定義情報	キー	内　　容
#43	* F10	行の二重化
#215,#70,'-R -W',M1,'adrect -W50,50,606,430',$0D,' ',M1,'getpath -P0 -E -X1',$0D,'HLP',#216,$0D	* HELP	ヘルプウィンドウの表示
#59	* UNDO	キーボードマクロの実行
#68	* CLR	編集テキストの切り替え(降順)
#65	* HOME	編集テキストの切り替え(昇順)
#32	* INS	何もしない
#3	* ROLL UP	画面のロールアップ
#18	* ROLL DOWN	画面のロールダウン

OPT.1 シーケンス(OPT1=)

キー定義情報	キー	内　　容
未定義	* OPT.1 +	
未定義	* OPT.1 + !	
未定義	* OPT.1 + ”	
未定義	* OPT.1 + #	
未定義	* OPT.1 + $	
未定義	* OPT.1 + %	
未定義	* OPT.1 + &	
未定義	* OPT.1 + ’	
未定義	* OPT.1 + (	
未定義	* OPT.1 +)	
未定義	* OPT.1 + *	
未定義	* OPT.1 + +	
未定義	* OPT.1 + ,	
#175	* OPT.1 + -	キーボードマクロの中断(確認あり)
未定義	* OPT.1 + .	
未定義	* OPT.1 + /	
M1,'cont',$0D	* OPT.1 + 0	最新の編集位置へのジャンプ
#221	* OPT.1 + 1	名前による外部コマンドの起動
未定義	* OPT.1 + 2	
未定義	* OPT.1 + 3	
未定義	* OPT.1 + 4	
未定義	* OPT.1 + 5	
未定義	* OPT.1 + 6	
未定義	* OPT.1 + 7	
未定義	* OPT.1 + 8	
未定義	* OPT.1 + 9	

キー定義情報	キー	内　容
未定義	* OPT.1 + :	
未定義	* OPT.1 + ;	
未定義	* OPT.1 + <	
未定義	* OPT.1 + =	
未定義	* OPT.1 + >	
未定義	* OPT.1 + ?	
未定義	* OPT.1 + @	
#107	* OPT.1 + A	全選択
#160	* OPT.1 + B	矩形ペースト
#42	* OPT.1 + C	コピー
#116,'64,18,696,240',$0D,#215,#70,M1,'getpath -P0 -X0',$0D,' -Y -N-I -W',M1,' adrect -W64,265,760,510',$0D,#216,$0D	* OPT.1 + D	マルチビュー
未定義	* OPT.1 + E	
未定義	* OPT.1 + F	
未定義	* OPT.1 + G	
未定義	* OPT.1 + H	
未定義	* OPT.1 + I	
未定義	* OPT.1 + J	
未定義	* OPT.1 + K	
未定義	* OPT.1 + L	
未定義	* OPT.1 + M	
#102	* OPT.1 + N	新規ウィンドウのオープン
#70	* OPT.1 + O	新しいファイルの編集（開く）
未定義	* OPT.1 + P	
#81	* OPT.1 + Q	全ファイルの編集終了（保存なし）
未定義	* OPT.1 + R	
#72	* OPT.1 + S	編集ファイルの保存（編集継続）
未定義	* OPT.1 + T	
未定義	* OPT.1 + U	
#45	* OPT.1 + V	ペースト
#75	* OPT.1 + W	編集ファイルの編集終了（保存なし）
#41	* OPT.1 + X	カット
未定義	* OPT.1 + Y	
#37	* OPT.1 + Z	直前操作の取り消し
未定義	* OPT.1 + [	
未定義	* OPT.1 + ¥	
未定義	* OPT.1 +]	
未定義	* OPT.1 + ^	
未定義	* OPT.1 + _	

付録

SHIFT +ファンクションキー(SFUNC=)

キー定義情報	キー	内　　容
未定義	* 予約	
#7	* DEL	1文字削除
#32	* →	何もしない
#32	* ←	何もしない
#32	* ↑	何もしない
#32	* ↓	何もしない
#70	* F1	新しいファイルの編集
#79	* F2	編集を最初からやり直す
E76	* F3	後方置換
E83	* F4	後方検索
M1,'sea -N -B',$0D	* F5	後方次検索
#65	* F6	編集テキストの切り替え(昇順)
#68	* F7	編集テキストの切り替え(降順)
#89	* F8	カーソル位置へのファイルの挿入
#87	* F9	選択範囲のファイルへの書き出し
#67	* F10	コマンドの実行
#217	* HELP	キー定義の初期化
#59	* UNDO	キーボードマクロの実行
#32	* CLR	何もしない
#47	* HOME	カーソルのホーム位置(文頭)移動
#32	* INS	何もしない
#163	* ROLL UP	現在の選択位置を1画面下に移動
#178	* ROLL DOWN	現在の選択位置を1画面上に移動

CTRL シーケンス(CTRL=)

キー定義情報	キー	内　　容
#32	*^@	何もしない
#1	*^A	カーソルを1ワード左に移動
#2	*^B	カーソルを左端(または右端)に移動
#3	*^C	画面のロールアップ
#4	*^D	カーソルを1文字右に移動
#5	*^E	カーソルを1文字上に移動
#6	*^F	カーソルを1ワード右に移動
#7	*^G	1文字削除
#8	*^H	バックスペース(後退)

キー定義情報	キー	内　容
#9	*^I	水平タブ
#10	*^J	マークジャンプ位置の登録
#11	*^K	カーソル位置から行末までのカット
#12	*^L	ペースト
#13	*^M	改行と行分割
#14	*^N	カーソルの上に１行挿入
#113	*^O	キーボードマクロの定義開始/定義終了
#16	*^P	カーソルを右端に移動
#17	*^Q	カーソルを左端に移動
#18	*^R	画面のロールダウン
#19	*^S	カーソルを１文字左に移動
#20	*^T	１ワード削除
#21	*^U	行頭からカーソル位置までのカット
#22	*^V	コントロールコードの入力
#23	*^W	設定した行数分スクロールダウン
#24	*^X	カーソルを１文字下に移動
#25	*^Y	カーソル位置の１行をカット
#26	*^Z	設定した行数分スクロールアップ
#27	*^[	ESCコマンド
M1,'sea -C -B',$0D	*^¥	カレントワードで後方検索
M1,'case',$0D	*^]	大文字/小文字変換
M1,'sea -C',$0D	*^^	カレントワードで前方検索
#175	*^_	キーボードマクロの中断(確認あり)

SHIFT + CTRL シーケンス(SCTRL=)

キー定義情報	キー	内　容
#32	* SHIFT +^@	何もしない
#161	* SHIFT +^A	現在の選択位置を１ワード左に移動
#162	* SHIFT +^B	現在の選択位置を左端(右端)に移動
#163	* SHIFT +^C	現在の選択位置を１画面下に移動
#164	* SHIFT +^D	現在の選択位置を１文字右に移動
#165	* SHIFT +^E	現在の選択位置を１文字上に移動
#166	* SHIFT +^F	現在の選択位置を１ワード右に移動
#7	* SHIFT +^G	１文字削除
#8	* SHIFT +^H	バックスペース(後退)
#9	* SHIFT +^I	水平タブ
#170	* SHIFT +^J	ヘルプウィンドウの表示

付録

キー定義情報	キー	内　　容
#11	* SHIFT +^K	カーソル位置から行末までのカット
#12	* SHIFT +^L	ペースト
#13	* SHIFT +^M	改行と行分割
#14	* SHIFT +^N	カーソルの上に１行挿入
#15	* SHIFT +^O	キーボードマクロの定義開始/定義終了
#176	* SHIFT +^P	現在の選択位置を右端に移動
#177	* SHIFT +^Q	現在の選択位置を左端に移動
#178	* SHIFT +^R	現在の選択位置を１画面上に移動
#179	* SHIFT +^S	現在の選択位置を１文字左に移動
#20	* SHIFT +^T	１ワード削除
#21	* SHIFT +^U	行頭からカーソル位置までのカット
#22	* SHIFT +^V	コントロールコードの入力
#183	* SHIFT +^W	設定したスクロール行数分ロールダウンし、選択位置の変更
#184	* SHIFT +^X	現在の選択位置を１文字下に移動
#25	* SHIFT +^Y	カーソル位置の１行をカット
#186	* SHIFT +^Z	設定したスクロール行数分ロールアップし、選択位置の変更
#27	* SHIFT +^[	ESCコマンド
M1,'sea -C -B',$0D	* SHIFT +^¥	カレントワードで後方検索
M1,'case -S-1',$0D	* SHIFT +^]	大文字/小文字変換を現在のモードの逆に変換
M1,'sea -C',$0D	* SHIFT +^^	カレントワードで前方検索
#175	* SHIFT +^_	キーボードマクロの中断（確認あり）

外部コマンド実行パス（EXPATH =）

指定されていない場合は、シャーペン.Xの存在するディレクトリになります。

行頭禁則文字（全角）（TKINZEN =）

’、。，．ヽヾゝゞ〃」）｝〕］〉》』】！？” ’

行頭禁則文字（半角）（TKINHAN =）

’､ ｡ ,.｣)} >] !?” -’,＄27

付録

行末禁則文字(全角)(BKINZEN=)

’ (([{ 〈 《 「 『 “’

行末禁則文字(半角)(BKINHAN=)

’([{｢ <’

半角文字属性(ATTRHAN=)

$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$08,$04,$04,$04,$04,$04,$04	^@～^O
$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04	^P～^_
$08,$04,$04,$04,$00,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04,$04	' '～'/'
$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$04,$04,$04,$04,$04,$04	'0'～'?'
$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11	'@'～'O'
$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$04,$04,$04,$04,$10	'P'～'_'
$04,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11	'\'～'o'
$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$11,$00,$00,$00,$00,$00	'p'～DEL
$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00	2バイトコードの
$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00	第1バイト
$08,$04,$04,$04,$04,$04,$00,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20	' '～'ｯ'
$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20	'_'～'ｿ'
$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20	'ﾀ'～'ﾏ'
$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20,$20	'ﾐ'～'ﾟ'
$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00	2バイトコードの
$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00,$00	第1バイト

全角文字属性(ATTRZEN=)

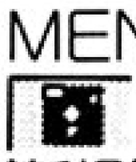
$8020,$8020,$0008	半角スペース
$8140,$8140,$0008	全角スペース
$815B,$815B,$0060	ー
$8141,$818F,$0004	、～￥
$824F,$82F1,$0050	０～ん
$8340,$83D6,$0060	ァ～ω
$8440,$889E,$0070	А～□
$0000	

●文書編集モード(シャーペン.ENV)

テキスト編集領域のメニュー(MENUEDIT=)

'カット',S'X'	カット(ショートカットキー=[OPT.1]+[X])
'コピー',S'C'	コピー(ショートカットキー=[OPT.1]+[C])
'ペースト',S'V'	ペースト(ショートカットキー=[OPT.1]+[V])
'消去',#38	消去(機能番号#38)
' ',未定義	空行挿入
'矩形ペースト',S'B'	矩形ペースト(ショートカットキー=[OPT.1]+[B])
' ',未定義	空行挿入
'イメージコピー',M1,'image -C',$0D	イメージコピー
'イメージペースト',M1,'image -V',$0D	イメージペースト
' ',未定義	空行挿入
'全選択',S'A'	全選択(ショートカットキー=[OPT.1]+[A])
' ',未定義	空行挿入
'取り消し',S'Z'	取り消し(ショートカットキー=[OPT.1]+[Z])

アイコンとメニュー(MENUn=)

MENU1=	左から1番目のアイコンの定義
	アイコンパターン
'新規',S'N'	新規(ショートカットキー=[OPT.1]+[N])
'開く..',S'O'	開く(ショートカットキー=[OPT.1]+[O])
'エディタ..',#70,'/G',M1,'get path -X1 -P1',$0D,'エディタ.ENV -N-1 '	エディタモードでファイルをオープン(環境ファイル、エディタ.ENVを読み込んでオープン)
'マルチビュー',S'D'	分割(ショートカットキー=[OPT.1]+[D])
' ',未定義	空行挿入
'閉じる',S'W'	閉じる(ショートカットキー=[OPT.1]+[W])
'シングルビュー',#171	分割を閉じる(機能番号#171)
'保存',S'S'	保存(ショートカットキー=[OPT.1]+[S])
'別名で保存..',#63	別名で新規に保存(機能番号#63)
' ',未定義	空行挿入
'すべて保存',#97	すべて保存(機能番号#97)
未定義	空行挿入
'終了',S'Q'	終了(ショートカットキー=[OPT.1]+[Q])

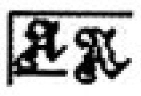
MENU 2 =	左から 2 番目のアイコンの定義
	アイコンパターン
'前方次検索',M1,'sea -N',$0D	前方次検索(外部コマンドsea)
'後方次検索',M1,'sea -N -B',$0D	後方次検索(外部コマンドsea)
'前方検索..',M1,'sea -L -C',$0D	前方検索(外部コマンドsea)
'後方検索..',M1,'sea -L -C -B',$0D	後方検索(外部コマンドsea)
'全域検索..',M1,'sea -G -L -C',$0D	全域検索(外部コマンドsea)
' ',未定義	空行挿入
'前方置換..',M1,'rep -L -C',$0D	前方置換(外部コマンドrep)
'後方置換..',M1,'rep -B -L -C',$0D	後方置換(外部コマンドrep)
'全域置換..',M1,'rep -G -L -C',$0D	全域置換(外部コマンドrep)
'高速前方置換(非表示)..',M1,'rep -L -C -H -Q',$0D	高速前方置換(非表示) (外部コマンドrep)
'高速後方置換(非表示)..',M1,'rep -B -L -C -H -Q',$0D	高速後方置換(非表示) (外部コマンドrep)
'高速全域置換(非表示)..',M1,'rep -G -L -C -H -Q',$0D	高速全域置換(非表示) (外部コマンドrep)

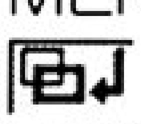
MENU 3 =	左から 3 番目のアイコンの定義
	アイコンパターン
'ROM 12 ドット',M1,'setkind -F 0',$0D	文字属性(外部コマンドsetkind)
'ROM 16 ドット',M1,'setkind -F 1',$0D	〃
'ROM 24 ドット',M1,'setkind -F 2',$0D	〃
' ',未定義	空行挿入
'Trad',M1,'setkind -F 128',$0D	文字属性(外部コマンドsetkind)
'Amadeus',M1,'setkind -F 129',$0D	〃
'Artist',M1,'setkind -F 130',$0D	〃
'Baroque',M1,'setkind -F 131',$0D	〃
'Comp',M1,'setkind -F 132',$0D	〃
'House',M1,'setkind -F 133',$0D	〃
'Jack',M1,'setkind -F 134',$0D	〃
'Nable',M1,'setkind -F 135',$0D	〃
'Pank',M1,'setkind -F 136',$0D	〃
'Smart',M1,'setkind -F 137',$0D	〃
' ',未定義	空行挿入
'フォント種類変更..',M1,'selfont',$0D,#32	フォント種類変更 (外部コマンドselfont)

付録

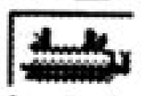
MENU4=	左から4番目のアイコンの定義
	アイコンパターン
'標準サイズ',M1,'setkind -F,0,0',$0D	文字属性(外部コマンド setkind)
'　8×　8ドット',M1,'setkind -F,8,8',$0D	〃
' 12× 12ドット',M1,'setkind -F,12,12',$0D	〃
' 16× 16ドット',M1,'setkind -F,16,16',$0D	〃
' 24× 24ドット',M1,'setkind -F,24,24',$0D	〃
' 48× 48ドット',M1,'setkind -F,48,48',$0D	〃
' 64× 64ドット',M1,'setkind -F,64,64',$0D	〃
' 80× 80ドット',M1,'setkind -F,80,80',$0D	〃
'128×128ドット',M1,'setkind -F,128,128',$0D	〃
' ',未定義	空行挿入
'フォントサイズ変更..',M1,'setsize',$0D,#32	フォントサイズ変更 (外部コマンド setsize)

MENU5=	左から5番目のアイコンの定義
	アイコンパターン
'<網掛>千　鳥',M1,'pat -P1 -J0',$0D	文字飾り(外部コマンド pat)
'　　　濃千鳥',M1,'pat -P2 -J0',$0D	〃
'　　　斜　線',M1,'pat -P4 -J0',$0D	〃
'　　　濃斜線',M1,'pat -P5 -J0',$0D	〃
'<下線>細実線',M1,'pat -P6 -J1',$0D	〃
'　　　太実線',M1,'pat -P7 -J1',$0D	〃
'　　　細破線',M1,'pat -P8 -J1',$0D	〃
'　　　太破線',M1,'pat -P9 -J1',$0D	〃
'　　　細二重',M1,'pat -P10 -J1',$0D	〃
'　　　太二重',M1,'pat -P11 -J1',$0D	〃
'　　　細波線',M1,'pat -P12 -J1',$0D	〃
'　　　二重波',M1,'pat -P13 -J1',$0D	〃
'<中線>細実線',M1,'pat -P6 -J3',$0D	〃
'　　　太実線',M1,'pat -P7 -J3',$0D	〃
'　　　細二重',M1,'pat -P10 -J3',$0D	〃
'　　　太二重',M1,'pat -P11 -J3',$0D	〃
'<上線>細実線',M1,'pat -P6 -J2',$0D	〃
'　　　太実線',M1,'pat -P7 -J2',$0D	〃
'<ルビ入力>..',M1,'sym',$0D	ルビ入力(外部コマンド sym)
'文字下ドット数..',M1,'float',$0D	下線を設定した文字と高さを揃える (外部コマンド float)
' ',未定義	空行挿入
'網掛解除',M1,'setkind -R0,512',$0D	文字属性(外部コマンド setkind)
'下線、中線解除',M1,'setkind -R0,1024',$0D	〃
'ルビ、上線解除',M1,'setkind -R0,2048',$0D	〃

MENU6=	左から6番目のアイコンの定義
	アイコンパターン
'標準',M1,'setkind -K0,0',$0D	文字属性(外部コマンド setkind)
'強調',M1,'setkind -K1,3',$0D	〃
'イタリック',M1,'setkind -K2,3',$0D	〃
'中抜き',M1,'setkind -K8,3',$0D	〃
'影つき',M1,'setkind -K16,3',$0D	〃
'カーニング',M1,'setkind -K32,3',$0D	〃
' ',未定義	空行挿入
'黄色文字',M1,'color -F4 -M16',$0D	文字色設定(外部コマンド color)
'赤色文字',M1,'color -F5 -M16',$0D	〃
'緑色文字',M1,'color -F6 -M16',$0D	〃
'青色文字',M1,'color -F7 -M16',$0D	〃
' ',未定義	空行挿入
'左よせ',M1,'setkind -J0',$0D	行そろえ(外部コマンド setkind)
'中央よせ',M1,'setkind -J1',$0D	〃
'右よせ',M1,'setkind -J-1',$0D	〃
' ',未定義	空行挿入
'文字間ピッチ設定..',M1,'track',$0D	文字間ピッチ設定(外部コマンド track)
'強制改行幅の設定..',M1,'height',$0D	強制改行幅の設定(外部コマンド height)
未定義	空行挿入
'文字飾りを解除',M1,'setkind -R2,0',$0D	文字属性(外部コマンド setkind)
'文字色を解除',M1,'setkind -R0,2',$0D	〃
'行ぞろえを解除',M1,'setkind -R0,1',$0D	〃
'文字間ピッチを解除',M1,'setkind -R0,16',$0D	〃
'強制改行幅を解除',M1,'setkind -R0,32',$0D	〃
'文字属性すべてを解除',M1,'setkind -R',$0D	〃

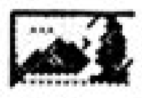
MENU7=	左から7番目のアイコンの定義
	アイコンパターン
'太罫線入力',M1,'kei -K0',$0D	罫線入力(太)(外部コマンド kei)
'細罫線入力',M1,'kei -K1',$0D	罫線入力(細)(外部コマンド kei)
'罫線の消去',M1,'kei -K2',$0D	罫線消去(外部コマンド kei)
' ',未定義	空行挿入
'上書き入力',M1,'ow -1',$0D	上書き入力(外部コマンド ow)
' ',未定義	空行挿入
'行折り返し',未定義	空行挿入
' 改行文字挿入',M1,'crins',$0D	改行文字挿入(外部コマンド crins)
' 改行文字削除',M1,'crdel',$0D	改行文字削除(外部コマンド crdel)

付録

MENU8=	左から8番目のアイコンの定義
	アイコンパターン
'イメージ印刷',M1,'print -V',$0D,#32	イメージ印刷(外部コマンド print)
'コード印刷',M1,'print -C',$0D,#32	コード印刷(外部コマンド print)
' ',未定義	空行挿入
'拡大縮小表示',未定義	空行挿入
' 25 % 表示',M1,'scale -S256,256',$0D	倍率設定(外部コマンド scale)
' 50 % 表示',M1,'scale -S512,512',$0D	〃
' 100 % 表示',M1,'scale -S1024,1024',$0D	〃
' 200 % 表示',M1,'scale -S2048,2048',$0D	〃
' 300 % 表示',M1,'scale -S3072,3072',$0D	〃
' 400 % 表示',M1,'scale -S4096,4096',$0D	〃
' 500 % 表示',M1,'scale -S5120,5120',$0D	〃
' ',未定義	空行挿入
'画面サイズで印刷',#218	画面サイズで印刷(機能番号#218)

MENU9=	左から9番目のアイコンの定義
	アイコンパターン
'改行文字表示',#109	改行文字(↓)表示(機能番号#109)
'タブ文字表示',#44	タブ文字(→‥‥)表示(機能番号#44)
'終端記号表示',#39	終端記号([EOF])表示(機能番号#39)
' ',未定義	空行挿入
'論理行表示',M1,'pos -P0',$0D	行数表示の切り替え(外部コマンド pos)
'物理行表示',M1,'pos -P1',$0D	〃
'頁行数表示..',M1,'pos -P70',$0D	〃
' ',未定義	空行挿入
'モノクロ表示',M1,'apage -A2 -B1 -F3 -M16 -H2 -S1',$0D	画面表示切り替え(外部コマンド apage)
'カラー表示',M1,'apage -A7 -B0 -F3 -M16 -H3 -S4',$0D	画面表示切り替え(外部コマンド apage)

付録

MENU10=	左から10番目のアイコンの定義
	アイコンパターン
'バックアップ作成モード',#204	バックアップファイル作成(機能番号#204)
'文字飾り・環境保存モード',#205	文字飾りを保存する(機能番号#205)
'シングルウインドウモード',#172	シングルウィンドウモード(機能番号#172)
' ',未定義	空行挿入
'1ライン文字数..',#181	1ライン文字数(機能番号#181)
'1ラインドット数..',#33	1ラインドット数(機能番号#33)
'水平タブ文字数..',#182	水平タブ文字数(機能番号#182)
'最小改行幅..',#35	改行幅(機能番号#35)
'スクロール行数..',#36	スクロール行数(機能番号#36)
'禁則処理文字数..',#103	禁則文字数(機能番号#103)
'追い出し禁則モード',#76	追い出し禁則/ぶら下がり禁則の切り替え(機能番号#76)
'ワードラップ文字数..',#104	ワードラップ文字数(機能番号#104)
'オートインデントモード',#73	オートインデントモード(機能番号#73)
未定義	空行挿入
'キー定義の読み込み..',M1,'key -L',$0D,M1,'getpath -X1 -P1 -E',$0D	キー定義カスタマイズ(外部コマンド key)
'キー定義の書き出し..',M1,'key',$0D,M1,'getpath -X1 -P1 -E',$0D	キー定義カスタマイズ(外部コマンド key)
'キー定義と環境を保存..',#206	環境保存(機能番号#206)

付録

●エディタモード(エディタ.ENV)

テキスト編集領域のメニュー(MENUEDIT=)

'カット',S'X'	カット(ショートカットキー=[OPT.1]＋[X])
'コピー',S'C'	コピー(ショートカットキー=[OPT.1]＋[C])
'ペースト',S'V'	ペースト(ショートカットキー=[OPT.1]＋[V])
'消去',#38	消去(機能番号#38)
' ',未定義	空行挿入
'全選択',S'A'	全選択(ショートカットキー=[OPT.1]＋[A])
' ',未定義	空行挿入
'取り消し',S'Z'	取り消し(ショートカットキー=[OPT.1]＋[Z])

アイコンとメニュー(MENUn=)

MENU1=	左から1番目のアイコンの定義
ファイル	アイコンパターン
'新規',S'N'	新規(ショートカットキー=[OPT.1]＋[N])
'開く..',S'O'	開く(ショートカットキー=[OPT.1]＋[O])
'文書編集..',#70,/-G',M1,'getpath -P2 -E -X1',$0D,'.ENV -N-1 '	
	文書編集モードでファイルをオープン(環境ファイル、シャーペン.ENVを読み込んでオープン)
'マルチビュー',S'D'	分割(ショートカットキー=[OPT.1]＋[D])
' ',未定義	空行挿入
'閉じる',S'W'	閉じる(ショートカットキー=[OPT.1]＋[W])
'シングルビュー',#171	分割を閉じる(機能番号#171)
'保存',S'S'	保存(ショートカットキー=[OPT.1]＋[S])
'別名で保存..',#63	新規保存(機能番号#63)
' ',未定義	空行挿入
'すべて保存',#97	すべて保存(機能番号#97)
未定義	空行挿入
'終了',S'Q'	終了(ショートカットキー=[OPT.1]＋[Q])

MENU2=	左から2番目のアイコンの定義
検索	アイコンパターン
'前方次検索',M1,'sea -N',$0D	前方次検索(外部コマンド sea)
'後方次検索',M1,'sea -N -B',$0D	後方次検索　〃
'前方検索..',M1,'sea -L -C',$0D	前方検索　〃
'後方検索..',M1,'sea -L -C -B',$0D	後方検索　〃
'全域検索..',M1,'sea -G -L -C',$0D	全域検索　〃
' ',未定義	空行挿入
'前方置換..',M1,'rep -L -C',$0D	前方置換(外部コマンド rep)
'後方置換..',M1,'rep -B -L -C',$0D	後方置換　〃
'全域置換..',M1,'rep -G -L -C',$0D	全域置換　〃
'高速前方置換(非表示)..',M1,'rep -L -C -H -Q',$0D	高速前方置換(非表示)　〃
'高速後方置換(非表示)..',M1,'rep -B -L -C -H -Q',$0D	高速後方置換(非表示)　〃
'高速全域置換(非表示)..',M1,'rep -G -L -C -H -Q',$0D	高速全域置換(非表示)　〃

MENU3=	左から3番目のアイコンの定義
文字	アイコンパターン
'ROM12ドット',#215,#107M1,'setkind -F0',#108,M1,'setkind -F0',$0D,#216,#220,$0D	文字属性(外部コマンド setkind)
'ROM16ドット',#215,#107M1,'setkind -F1',#108,M1,'setkind -F1',$0D,#216,#220,$0D	〃
'ROM24ドット',#215,#107M1,'setkind -F2',#108,M1,'selkind -F2',$0D,#216,#220,$0D	〃

MENU4=	左から4番目のアイコンの定義
印刷	アイコンパターン
'コード印刷',M1,'print -C',$0D,#32	印刷(外部コマンド print)

MENU5=	左から5番目のアイコンの定義
表示	アイコンパターン
'改行文字表示',#109	改行文字表示(機能番号#109)
'タブ文字表示',#44	タブ文字表示(機能番号#44)
'終端記号表示',#39	終端記号表示(機能番号#39)

付録

MENU6=	左から6番目のアイコンの定義
環境	アイコンパターン
'編集禁止モード',#74	編集禁止モード(機能番号#74)
'バックアップ作成モード',#204	バックアップファイル作成(機能番号#204)
'文字飾り・環境保存モード',#205	文字飾りを保存する(機能番号#205)
'シングルウィンドウモード',#172	シングルウィンドウモード(機能番号#172)
' ',未定義	空行挿入
'1ライン文字数..',#181	1ライン文字数(機能番号#181)
'1ラインドット数..',#33	1ラインドット数(機能番号#33)
'水平タブ文字数..',#182	水平タブ文字数(機能番号#182)
'最小改行幅..',#35	最小改行幅(機能番号#35)
'スクロール行数..',#36	スクロール行数(機能番号#36)
'オートインデントモード',#73	オートインデントモード(機能番号#73)
未定義	空行挿入
'キー定義の読み込み..',M1,'key -L',$0D,M1,'getpath -X1 -P1 -E',$0D	キー定義カスタマイズ(外部コマンド key)
'キー定義の書き出し..',M1,'key',$0D,M1,'getpath -X1 -P1 -E',$0D	キー定義カスタマイズ(外部コマンド key)
'キー定義と環境を保存..',#206	環境保存(機能番号#206)

機能番号一覧

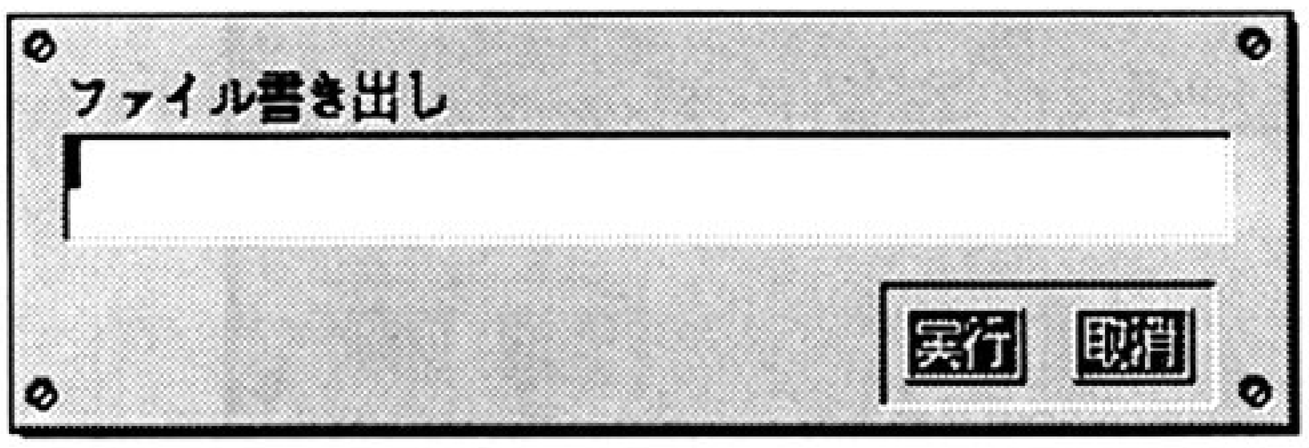
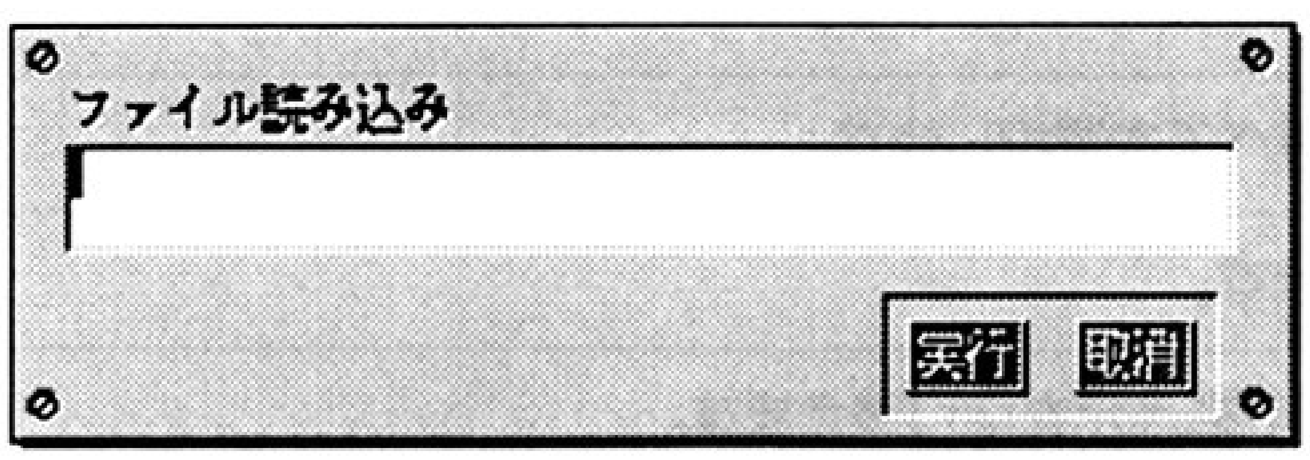
#1	カーソルを１ワード左に移動します。
#2	カーソルを左端(または右端)に移動します。
#3	画面を１画面分ロールアップします。
#4	カーソルを１文字右に移動します。
#5	カーソルを１文字上に移動します。
#6	カーソルを１ワード右に移動します。
#7	カーソルのすぐ右側の文字を１文字削除します。
#8	カーソルのすぐ左側の文字を１文字削除してカーソルを１文字分左に移動します。
#9	水平タブ文字を入力します。
#10	マークを登録します。登録できるマークは、１番から９番までの９ヶ所です。 ０番には、外部コマンドなどで設定された位置が自動的に登録されます。 マークした情報はタイトルバー上のポップアップメニューで確認できます。
#11	カーソル位置から行末までを削除します。 削除されたデータは削除バッファへ転送されます。
#12	削除バッファの内容をカーソル位置に複写します。
#13	カーソル位置に改行文字を挿入し行を分割します。
#14	カーソルの上に１行挿入します。
#15	キーボードマクロの定義開始、および、定義を終了します。
#16	カーソルを行の右端に移動します。
#17	カーソルを行の左端に移動します。
#18	画面を１画面分ロールダウンします。

#19	カーソルを1文字左に移動します。
#20	カーソル位置のすぐ右側1ワード分を削除します。
#21	行頭からカーソルの直前までを削除します。 削除されたデータは削除バッファへ転送されます。
#22	特殊文字(コントロールコード)を入力します。
#23	画面を設定したスクロール行分だけロールダウンします。
#24	カーソルを1文字下に移動します。
#25	カーソルのある行を1行削除します。 削除されたデータは削除バッファへ転送されます。
#26	画面を設定したスクロール行分だけロールアップします。
#27	ESCコマンドを入力します。
#32	何も実行しません。 ポップアップメニューに外部コマンドを呼び出す単一機能のみが定義されている場合に、その外部コマンドはメモリにロードされますので、圧縮されていない外部コマンドでチェックマークなどを指定しなくてもよい場合などにダミーの機能コードとして使用します。
#33	1ラインのドット数を入力します。
#34	水平タブのドット数を入力します。
#35	改行幅を入力します。文字サイズよりも小さい数字を入力すると文字サイズで改行されます。 設定された内容は文章全体に対して実行されます。
#36	スクロールする行数を入力します。
#37	直前に実行された作業を取り消します。 矩形ペーストについては、最後の行のみ取り消しができます。
#38	指定した範囲を削除します。

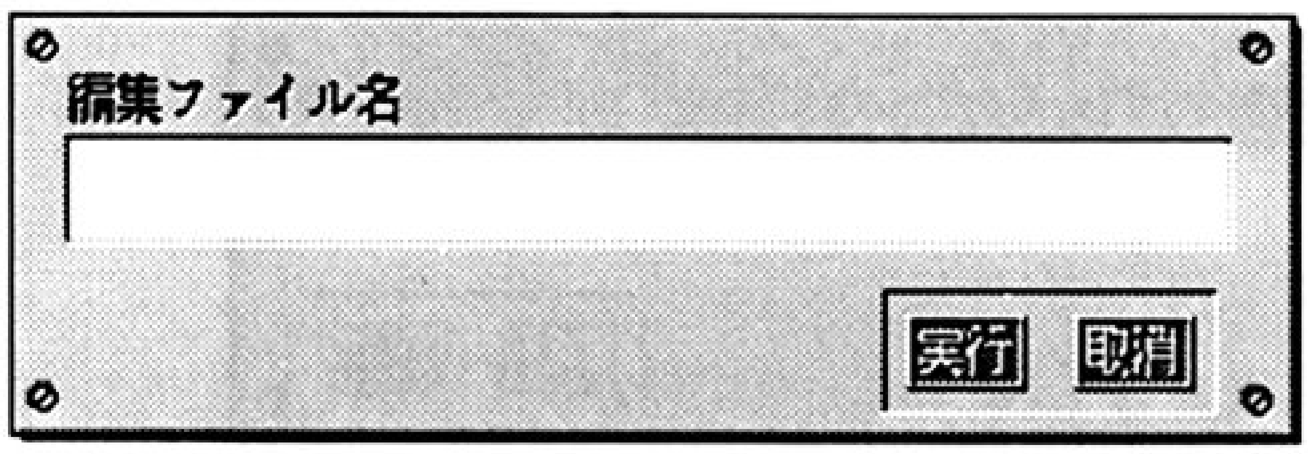
#39	テキスト終端記号([EOF])を表示します。
#40	範囲指定の開始、および取り消しを指定します。
#41	指定した範囲を削除します。 削除されたデータはクリップボードへ転送されます。
#42	指定した範囲を複写します。 複写されたデータはクリップボードへ転送されます。
#43	カーソルのある行と同じ内容の行を作成します。
#44	タブ文字(→・・・・)を表示します。
#45	クリップボードの内容をカーソル位置に挿入します。
#47	カーソルをホーム位置に移動します。
#48	数値付のコマンドを入力します。
#49	数値を取り込みます。
#58	キーボードマクロを編集します。
#59	キーボードマクロをn回実行します。
#60	指定した行数だけ前方へジャンプします。
#61	ウィンドウの表示を消します。また、元の表示に戻します。
#62	指定した行数だけ後方へジャンプします。
#63	編集中のファイルを、名前を変えて保存します。
#65	複数のテキストを編集中に、編集対象のテキストを切り替えます(昇順)。
#66	カーソルをファイルの先頭に移動します。
#67	コマンド(実行形式のファイル)を実行します。
#68	複数のテキストを編集中に、編集対象のテキストを切り替えます(降順)。

#69	すべてのテキストを保存して編集を終了します。
#70	新しいファイルを編集します。
#71	クリップボードの内容を、カーソル位置にn回ペーストします。
#72	編集中のテキストを保存します。編集は継続します。
#73	オートインデントのオン/オフを切り替えます。 オートインデント：改行時、前の行の先頭文字の位置にあわせて、前の行と同じスペース、タブを入力します。
#74	環境ファイルを読み込みます。同じ環境ファイルを読み込んで起動しているマルチフォントエディタの、すべてのウィンドウの環境が、読み込んだ環境に変更されます。
#75	編集中のテキストを保存せずに編集を終了します。
#76	ぶらさがり禁則と追い出し禁則を切り替えます。
#77	マーク位置へジャンプします。ジャンプ先は登録した1番から9番までの9ケ所と0番の計10ケ所です。0番は、外部コマンドなどが設定します。 ※マークした情報はタイトルバー上のポップアップメニューで確認できます。 また、ポップアップメニューから直接ジャンプ先を選択することができます。
#79	テキストの編集を最初からやり直します。
#80	カーソル位置からn行分だけ削除します。 削除したデータはクリップボードへ転送されます。
#81	すべてのテキストを保存せずに編集を終了します。
#84	編集中のテキストのファイル名を変更します。
#86	タグジャンプを行います。 編集中、他のファイルを参照したい場合に使います。 入力例…[ESC]・[V]に#86が登録されている場合 編集画面の任意行に、左端から以下のように入力します。 config.sys [TAB] 3 [ESC] [V] config.sys ファイルを読み込んでエディタが開かれ、3行目にカーソルが移動されます。 アセンブラなどのエラー出力から、ソースプログラムのエラー箇所へジャンプするときなどに使います。

付録

#87	指定した範囲をファイルに書き出します。 入力例…ESC・Wに#87が登録されている場合 編集中にESC・Wと入力すると、次のように表示されます。  ここで作成するファイルの名前を入力して⏎を押します。 文字が選択されていない状態で実行された場合は、現在行からファイルの最後までを、選択されている場合は選択範囲のみを、別のファイルに書き出します。
#88	現在編集中のテキストのみを保存して編集を終了します。 複数ファイルを編集中は、現在編集しているファイルのみを保存して終了し、それ以外のファイルは保存しないで編集を継続します。
#89	別ファイルを読み込みカーソル位置に挿入します。 入力例…ESC・Yに#89が登録されている場合 編集中にESC・Yと入力すると、次のように表示されます。  ここで読み込むファイルの名前を入力して⏎を押してください。 指定したファイルが読み込まれカーソル位置に挿入されます。
#90	カーソルをファイル最終行に移動します。
#97	すべてのテキストを保存します。編集は継続されます。

付録

<table>
<tr><td>#102</td><td>新規で編集ウィンドウをオープンします。
入力例…ESC・Fに#102が登録されている場合
編集中にESC・Fと入力すると、次のように表示されます。


ここで編集するファイルの名前を入力して⏎を押します。
指定したファイルが読み込まれた編集ウィンドウがオープンされます。
シングルウィンドウモードが設定されているときは、現在の編集ウィンドウに指定したファイルが読み込まれます。編集中のファイルはバッファに転送されます。

※シングルウィンドウのバッファ状況はタイトルバー上で表示されるポップアップメニューで確認できます。また、ポップアップメニューから直接編集対象ファイルを選択することもできます。</td></tr>
<tr><td>#103</td><td>禁則処理をする文字数を入力します。</td></tr>
<tr><td>#104</td><td>ワードラップする文字数を入力します。</td></tr>
<tr><td>#107</td><td>編集中のファイルすべてを選択します。</td></tr>
<tr><td>#108</td><td>選択状態を解除します。</td></tr>
<tr><td>#109</td><td>改行文字(↓)の表示/非表示を切り替えます。</td></tr>
<tr><td>#111</td><td>検索不成功時、マクロ実行の 中止/継続 を切り替えます。</td></tr>
<tr><td>#113</td><td>キーボードマクロの定義開始、および、定義終了を指定します。
マクロ定義終了後にキーバインドするかどうかを、YかNで入力します。</td></tr>
<tr><td>#116</td><td>ウィンドウの相対位置を指定します。</td></tr>
<tr><td>#118</td><td>ウィンドウの絶対位置を指定します。</td></tr>
</table>

#160	矩形でカット＆コピーしたデータをカーソル位置に矩形でペーストします。 CTRL を押しながらマウスで範囲指定すると、矩形で選択することができます。 矩形で選択したデータをカットまたはコピーしたあとに実行すると、カーソル位置にデータを矩形で挿入します。 ※矩形ペーストの取り消しは、最後の行のみ有効となります。
#161	現在のカーソル位置から１ワード分左側を選択します。 選択開始位置が現在のカーソル位置の右側にある場合は、１ワード分左側に選択範囲を広げます。 選択開始位置が現在のカーソル位置の左側にある場合は、１ワード分左側に選択範囲を縮めます。
#162	現在のカーソル位置から現在行の左端（右端）までを選択します。 また選択位置を左端までと右端までを切り替えます。
#163	現在のカーソル位置から１画面分下までを選択し、１画面分上にスクロールします。 選択開始位置が現在のカーソル位置の上側にある場合は、１画面分下側に選択範囲を広げます。 選択開始位置が現在のカーソル位置の下側にある場合は、１画面分下側に選択範囲を縮めます。
#164	現在のカーソル位置から１文字分右を選択します。 選択開始位置が現在のカーソル位置の左側にある場合は、１文字分右側に選択範囲を広げます。 選択開始位置が現在のカーソル位置の右側にある場合は、１文字分右側に選択範囲を縮めます。
#165	現在のカーソル位置から１行分上を選択します。 選択開始位置が現在のカーソル位置の下側にある場合は、１行分上側に選択範囲を広げます。 選択開始位置が現在のカーソル位置の上側にある場合は、１行分上側に選択範囲を縮めます。
#166	現在のカーソル位置から１ワード分右側を選択します。 選択開始位置が現在のカーソル位置の左側にある場合は、１ワード分右側に選択範囲を広げます。 選択開始位置が現在のカーソル位置の右側にある場合は、１ワード分右側に選択範囲を縮めます。

#170	ヘルプウィンドウを表示します。 マルチフォントエディタのヘルプファイルがある場合に、ヘルプファイルを読み込んで編集ウィンドウをオープンします。 シングルウィンドウモードが設定されているときは、現在の編集ウィンドウにヘルプファイルが読み込まれます。編集中のファイルはバッファに転送されます。 ※シングルウィンドウのバッファ状況はタイトルバー上で表示されるポップアップメニューで確認できます。
#171	1つのファイルを分割ウィンドウで編集しているとき、アクティブウィンドウを閉じます。
#172	シングルウィンドウモードを切り替えます。 複数のファイルを1つのウィンドウで編集することができます。シングルウィンドウモードにすると、新規でファイルを編集する場合、現在編集中のウィンドウに新規ファイルが読み込まれ、編集中のファイルはバッファに転送されます。 バッファに転送されたファイルを呼び出すときは、編集ウィンドウの切り替えで行うことができます。 また、タイトルバー上で表示されるポップアップメニューから、直接呼び出すこともできます。
#175	キーボードマクロを中断します(確認あり)。
#176	現在のカーソル位置から現在行の右端までを選択します。
#177	現在のカーソル位置から現在行の左端までを選択します。
#178	現在のカーソル位置から1画面分上までを選択し、1画面分下にスクロールします。 選択開始位置が現在のカーソル位置の下側にある場合は、1画面分上側に選択範囲を広げます。 選択開始位置が現在のカーソル位置の上側にある場合は、1画面分上側に選択範囲を縮めます。
#179	現在のカーソル位置から1文字分左を選択します。 選択開始位置が現在のカーソル位置の右側にある場合は、1文字分左側に選択範囲を広げます。 選択開始位置が現在のカーソル位置の左側にある場合は、1文字分左側に選択範囲を縮めます。
#181	1行の半角文字数を入力します。
#182	水平タブ文字の半角文字数を入力します。

付録

#183	画面を設定したスクロール行分ロールダウンし、選択範囲を変更します。 選択開始位置が現在のカーソル位置の下側にある場合は、スクロール行分上側に選択範囲を広げます。 選択開始位置が現在のカーソル位置の上側にある場合は、スクロール行分上側に選択範囲を縮めます。
#184	現在のカーソル位置から1行分下を選択します。 選択開始位置が現在のカーソル位置の上側にある場合は、1行分下側に選択範囲を広げます。 選択開始位置が現在のカーソル位置の下側にある場合は、1行分下側に選択範囲を縮めます。
#186	画面を設定したスクロール行分ロールアップし、選択範囲を変更します。 選択開始位置が現在のカーソル位置の上側にある場合は、スクロール行分下側に選択範囲を広げます 選択開始位置が現在のカーソル位置の下側にある場合は、スクロール行分下側に選択範囲を縮めます。
#203	環境および文字飾りの保存/非保存を切り替えます。
#204	バックアップファイルの作成/未作成を切り替えます。
#205	文字飾りの保存/非保存を切り替えます。
#206	キー定義と環境を保存します。
#215	表示オフ。
#216	表示オン。
#217	キー定義の初期化。
#218	イメージ印刷を画面解像度に合わせて拡大するかどうかを切り替えます。
#219	画面解像度(ドット/インチ)を指定します。
#220	再表示をします。文字の表示が乱れた場合などに実行します。
#221	コマンド名によって外部コマンドを起動します。 外部コマンドの実行方法については、次項を参照してください。

付-2 外部コマンド一覧

外部コマンド一覧

- 描画モード設定 : apage
- 大文字／小文字変換 : case
- 文字色設定 : color
- 最新の編集位置へのジャンプ : cont
- 文字属性のコピー&ペースト : copykind
- 改行コードの削除 : crdel
- 改行コードの挿入 : crins
- 改行コードの変更 : crset
- コピー&ペースト : cut
- 外部コマンド用アーカイバ : ear
- 下線幅の設定 : float
- 連続した数値列の発生 : getno
- 編集ファイル名の取得 : getpath
- 強制改行幅の設定 : height
- イメージデータのコピー&ペースト : image
- 罫線入力 : kei
- キー定義ファイルの読み込み/書き出し : key
- 上書き入力 : ow
- 行数表示の切り替え : pos
- 文字の網掛け : pat
- 印刷 : print
- 文字列置換 : rep
- 文字列検索 : sea
- 編集フラグのセットまたはリセット : setef
- 文字属性の設定 : setkind
- 文字サイズの指定 : setsize
- ルビ入力 : sym
- フォント選択 : selfont
- 倍率設定 : scale
- 文字間ピッチ設定 : track

外部コマンドの実行

外部コマンドはキー定義ファイル中に　M1,'sea -C -G',$0D
のように記述するか、または#221（デフォルトの設定では OPT.1 ＋
1 ）により実行します。

キー定義ファイルで外部コマンドを実行するマクロを作るときは、次の書式にしたがいます。

M1,'（外部コマンド　スイッチ）',$0D

$0D は⏎

オプションに含まれるスイッチとスイッチの間にはスペースを入れます。
ポップアップメニューに、外部コマンドを呼び出す単一機能が定義されている場合、メニューを表示するだけでその外部コマンドを検索してメモリにロードされてしまいますので、アーカイブされていない外部コマンドで、チェックマークなどを指定しなくてもよい場合は、下記のようにダミーの機能コードを定義してください。

例

M1,'key',$0D,#32　　　＊ #32は何もしない機能コード

また、 OPT.1 ＋ 1 または、 ESC ・ CTRL ＋ C を押す（#221を実行する）と、「外部コマンド起動」というメッセージが表示されます。



ここで、外部コマンドとスイッチを入力し、⏎を押すと外部コマンドを実行することができます。

付録

外部コマンド

●描画モード設定

書式 apage [スイッチ]

-An アクセスページの指定
0:表示なし
1:
2:モノクロ表示
3:
4:
5:
6:
7:カラー表示

-Fn 文字色の指定
(-A7のときの n の値)
0:白
1:ライトグレー
2:ダークグレー
3:黒
4:黄
5:赤
6:緑
7:青
表示色は、色コードとアクセスページの AND をとった値の色になります。

-Bn 背景色の指定
(-A7のときの n の値)

0:白	4:黄
1:ライトグレー	5:赤
2:ダークグレー	6:緑
3:黒	7:青

表示色は、色コードとアクセスページの AND をとった値の色になります。

-Mn 描画モードの指定

0: pset
1: and
2: or
3: xor
4: not pset
5: not and
6: not or
7: not xor
16:mask+pset
17:mask+and
18:mask+or
19:mask+xor
20:mask+not pset
21:mask+not and
22:mask+not or
23:mask+not xor

-Hn 選択時の色反転マスクの指定

(-A7 -B0 -F3 -M16を指定した場合)

0:白	4:黄
1:ライトグレー	5:赤
2:ダークグレー	6:緑
3:黒	7:青

-Sn 検索時カラーの指定

(-A7 -B0 -F3 -M16を指定した場合)

0:白	4:黄
1:ライトグレー	5:赤
2:ダークグレー	6:緑
3:黒	7:青

-Hと-Sの色は、背景色(-B)、文字色(-F)、の色反転マスクで指定されたビットを反転します(XOR)。

書式例 apage -A7 -F3 -B0 -M16 -H3 -S4

文字色 黒
背景色 白
選択色 黒地白抜き文字
検索文字色 黄色地青抜き文字

※白黒でイメージ印刷する場合、画面の表示色(コントロールパネルで設定)により印刷されるイメージが変わることがあります。

●大文字/小文字変換(選択された文字列、またはカーソルの右1文字を変換)

書式 case [スイッチ]
-Sn
0:小文字にする
1:大文字にする
-1:現在のモードの逆に変換する
-Mn モードの切り替え
0:小文字にする
1:大文字にする
-1:現在のモードの逆にする

オプションが省略されたときは、現在のモードで変換します。

書式例 case -S-1

選択された文字列、またはカーソルの右1文字が大文字のときは小文字に、小文字のときは大文字に変換します。

●文字色設定

書式 color [スイッチ]
-Fn 文字色を指定する

0:白	4:黄
1:ライトグレー	5:赤
2:ダークグレー	6:緑
3:黒	7:青

文字単位に色を設定するときに使います。

付録

-Mn 描画モード(OR PSET NOTPSET など)を指定する
　0: pset
　1: and
　2: or
　3: xor
　4: not pset
　5: not and
　6: not or
　7: not xor
　16: mask+pset
　17: mask+and
　18: mask+or
　19: mask+xor
　20: mask+not pset
　21: mask+not and
　22: mask+not or
　23: mask+not xor

●最新の編集位置へのジャンプ

書式 cont

●文字属性のコピー&ペースト(選択された文字列、またはカーソルの右1文字に設定)

書式 copy kind　[スイッチ]
　-C　コピー(デフォルト)
　-V　ペースト
　-Mn
　　bit0 : ON でフォント ID を設定する
　　bit1 : ON で文字飾りを設定する
　　bit2 : ON で横幅を設定する
　　bit3 : ON で縦幅を設定する

付録

●改行文字の削除(選択された文字列、またはカーソル位置から文末までを対象)

書式 crdel

●改行文字の挿入(選択された文字列、またはカーソル位置から文末までを対象)

書式 crins

メモ 改行文字の挿入/削除は、画面上で折り返されている行の折り返し位置に、改行文字の挿入または削除を行います。

●改行文字の変更(編集中のテキストの編集環境を設定)

書式 crset [スイッチ]
-LTn 起動時のモードを設定する
(環境保存で保存される)
0: $0d0a (¥r¥n ,CR+LF)
1: $0a (¥n ,LF)
2: $0d (¥r ,CR)
3: 自動判別
-Tn 現在編集中のテキストを設定する
(環境保存で保存されない)
0: $0d0a
1: $0a
2: $0d

●ローカルバッファへのカット・コピー&ペースト

書式 cut [スイッチ]
-C 選択部分をバッファにコピーする(デフォルト)
-V バッファの内容をペーストする
-X 選択部分をバッファにカットする
-n または n カットバッファを指定する
コピー/カットした内容をクリップボードに格納しません。
クリップボードの内容を変更したくないときに使います。

付録

●外部コマンド用アーカイバ

書式 ear　[スイッチ] [ファイル名…]

-Afile ライブラリファイルの指定
-B バックアップファイルの作成
-U ファイルの更新（デフォルト）
-X ファイルの取り出し
-D ファイルの削除
-Lfile リスト出力
-Ifile インダイレクトファイルの指定

「シャーペン.ARC」は、このコマンドでアーカイブされています。

●上下の文字揃え指定（選択された文字列、または入力環境（カレント）の設定）

書式 float　[スイッチ]

-Jn 文字揃えを指定する
1: 下揃えで下からのオフセットを指定する
2: 上揃えで上からのオフセットを指定する
-Vn オフセット値を指定する

●連続した数値列の発生

書式 getno　[スイッチ] [初期値]

-Dn 増減値

書式例　getno -D2 10

getnoを実行するたびに10から順に偶数を出力します。

●編集ファイル名の取得

書式 getpath [スイッチ]

-P [n] パス名をえる

0:編集中のファイルのフルパス名をえる（デフォルト）

1:編集中のファイルのパス名のみ（ファイル名を含まない）をえる

2:編集中のファイルのファイル名のみをえる

-E 拡張子を外す

-Xn

0:編集中のファイル名を対象にする（デフォルト）

1:実行ファイル名を対象にする

2:現在読み込んでいる環境ファイルを対象にする

書式例 getpath -P1

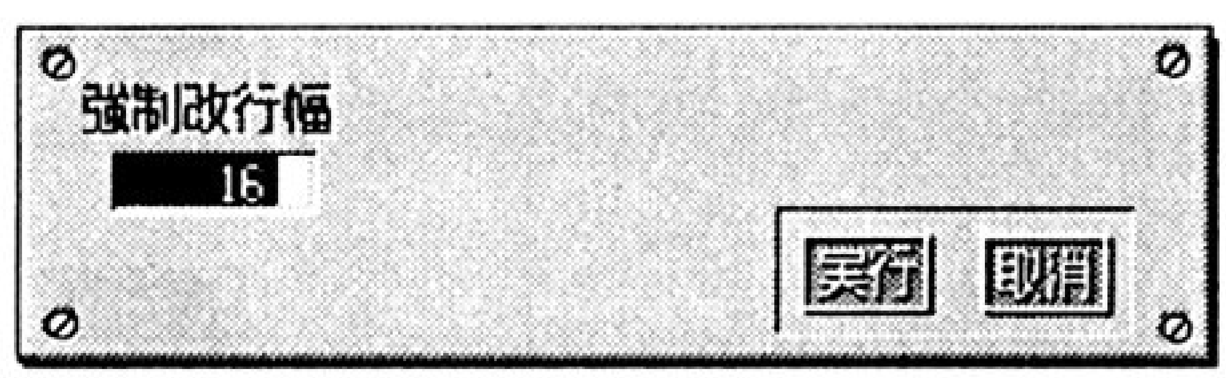
編集中のファイル名のパス名のみ取り出す

●強制改行幅の設定

書式 height [スイッチ]

-Hn（改行幅）

スイッチを省略すると、次のように表示されます。



表示されたダイアログ内で強制改行幅のドット数を入力し、⏎を押すか 実行 を左クリックします。文字が選択されているときは選択されている文字と次の行との改行幅が、選択されていないときは以後に入力される文字と次の行との改行幅が、設定したドット数になります。

書式例 height -H16

強制改行幅を16ドットに設定する

●イメージデータのコピー&ペースト

書式 image [スイッチ]

-C	コピー(デフォルト)	
-Vn	1	:モノクロに変換してペースト
	7	:PAT4に変換してペースト
-Mn	モノクロ変換	
	-1	:変換しない
	0	:ドット単位色変換
	1	:局所誤差分散色変換
	2	:誤差分散色変換
-Sn,n	nは倍率(n/1024)	

> メモ 画面が72dpiで、プリンタが360dpiのときは、5120にすると、ほぼ等しい大きさで印刷します。

書式例 image -V1 -M-1

クリップボードのイメージデータをそのまま(変換せずに)ペーストする。"キャンバス"でコピーしたPICTデータもそのまま貼りつく。

●罫線入力

書式 kei [スイッチ]

-Kn 0:太い(デフォルト)
1:細い
2:罫線消去(スペースで埋める)
-Fn,n,n 罫線のフォントID、サイズを指定する

これを実行すると、罫線入力モードになり、カーソルの移動で全角罫線キャラクタを簡単に書くことができます。罫線入力モードから抜けるときは、ESCを押してください。

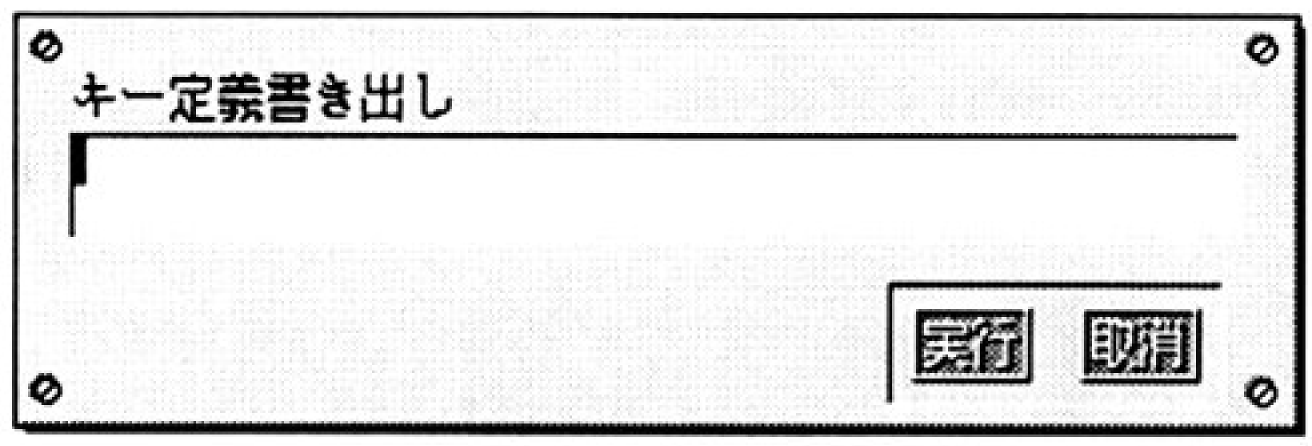
書式例 kei -K0

カーソルを移動すると、太罫線を引く。

●キー定義ファイルの読み込み/書き出し(編集中のテキストの系列の編集環境を設定)

書式 key [スイッチ]
(省略 キー定義書き出し)
-L キー定義読み込み

外部コマンドの実行で key と実行すると、次のように表示されます。



ここでファイル名を入力し、⏎を押すか、実行を左クリックします。
すると、現在登録されているキー定義やメニューなどの情報がファイルに出力されます。

書式例 key -L

※キー定義の読み込みをマクロで実行した場合、そのマクロの定義自体が変更されますので、設定(読み込み)した時点で、マクロの実行を中止します。

●上書き入力(現在の編集環境に設定)

書式 ow [スイッチ]
-Mn 0:上書きモードを解除する
1:上書きモードに設定する
-1:上書きモードを交互に変更する(デフォルト)

●下線、網掛けなどの設定(選択された文字列、または入力環境(カレント)の設定)

書式 pat [スイッチ]【スイッチ】

-Pn パターン番号を指定する

0: 淡千鳥	4: 斜線	8: 細破線	12:細波線
1: 千鳥	5: 濃斜線	9: 太破線	13:二重波
2: 濃千鳥	6: 細実線	10:細二重	14:細一鎖
3: 淡斜線	7: 太実線	11:太二重	15:大波線

-Jn モードを指定する

0:網かけ	2:上線
1:下線	3:中線

-On 文字との重なりを指定する(正の値で下に、負の値で上にずれる〈単位:ドット〉)

-Vn スクラップバッファ(クリップボード)の内容を取り込む

1:モノクロに変換して取り込む

2:そのまま取り込む

書式例 pat -P10 -J1

10番のパターンを文字の下に書く

pat -V1 -P12

パターン No.12番にクリップボード上のパターンを登録する(細波線のパターンがクリップボード上のパターンに変更される)

●行数表示の切り替え(編集中のテキストの編集環境を設定)

書式 pos [スイッチ]

-Pn

0:論理行で表示する

1:物理行で表示する

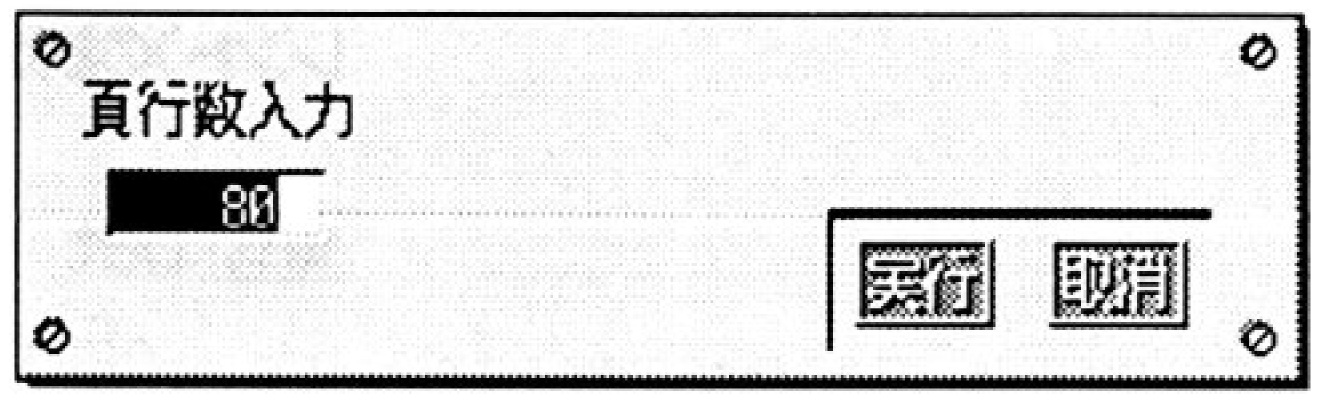
-1:行数表示モードを交互に変更する

n:上記以外で指定された値を1頁とする

-I キーボードから1ページの行数を入力する

付録

pos -l を実行すると、次のように表示されます。



設定したい1ページの行数を入力し、⏎を押すか、実行を左クリックします。

右上の全体行数表示が入力した行数を1ページとしたページ数表示に、現在行表示がそのページ内の行表示に変更されます。

※何行あるかのみを表示するだけなので、イメージ印刷をする場合は、用紙のドット数を計算して出力する必要があります。

書式例 pos -p50

50行を1ページとして、頁数、行数を表示

●印刷

書式 print [スイッチ]

-B イメージ印字（デフォルト）

-C コード印字

書式例 print -B

●文字列置換

書式 rep [スイッチ]

（省略 前方置換）

-B 後方置換

-G 全域置換

-C 選択された文字列、またはカレントワードを置換対象にする

-L 前回置換した文字を対象にする

-Q 確認しない

-H 表示しない

-Mn 現在のカーソル位置から指定されたマーク位置までを置換対象にする

書式例 rep -G -Q -H

確認なし、表示なしで全域置換をする

●文字列検索

書式 sea　[スイッチ]

（省略 前方検索）

-B 後方検索

-L 前回検索した文字を検索対象にする

-G 全域検索

-C 選択された文字列、またはカレントワードを検索対象にする

-N 次検索

書式例　sea -B

後方検索をする

※検索・置換で正規表現や大/小文字を無視/区別するものを作成することもできます。

編集フラグ

テキストが編集されているかいないかを判断するためのものです。タイトルバーのメニューに表示されるファイル名には、編集されていると先頭に「*（アスタリスク）」が表示されます。setef -EF1を実行すると、「*」の表示がなくなり、終了を実行すると保存確認のダイアログが表示されずに無条件で終了します。

●編集フラグのセットまたはリセット

書式 setef　[設定値] [スイッチ]

-EFn　0:編集ありに設定

1:編集なしに設定

-1:現在の状態を反転する

（編集ありのときは編集なしに、

編集なしのときは編集ありにする）

-B$nnnn 上位バイト：読み込み時の設定

01：文字飾りを無視

02：環境を無視

03：文字飾りと環境を無視

下位バイト：保存モードの設定

01：文字飾りを保存

02：文字飾りと環境を保存

-Rn　0:編集禁止モードにする

1:編集禁止モードを解除する

書式例　setef -EF1

編集されていても、編集されていないように扱われます。

●文字属性の設定(選択された文字列、または入力環境(カレント)の設定)

書式 setkind [スイッチ] [スイッチ]

-R 文字属性を解除する (ルビ等も解除される)
-Fn,n,n フォントID、サイズを指定する
-Jn 行揃えの指定
0:左よせ 1:中央よせ -1:右よせ
-I
-Kn,mode 文字飾りとその指定方法を設定する
mode =0 設定します
mode =3 設定されているときは解除し、設定されていないときは設定する

書式例 setkind -K1,3

設定ごとに強調と強調解除を交互に設定する

標準サイズ

標準サイズは、フォントによって決まっています。
たとえば、ROM12ドットならば、12×12ドットが標準サイズです。

●フォントサイズ変更(選択された文字列、または入力環境(カレント)の設定)

書式 setsize

これを実行すると、アイコンの下に文字のサイズを変更する行が表示されます。

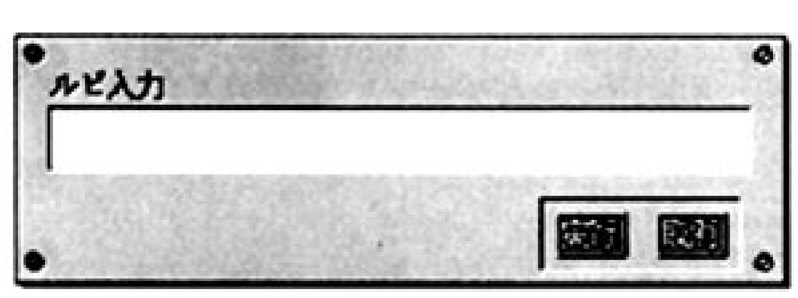


現在のサイズが選択状態で表示されます。
0は標準サイズを意味します。

●ルビ入力(選択された文字列、またはカーソルの右1文字に設定)

書式 sym

これを実行すると、次のように表示されます。



ルビの文字列の入力とその文字に対してサイズ変更やフォント変更、装飾の設定などができます。

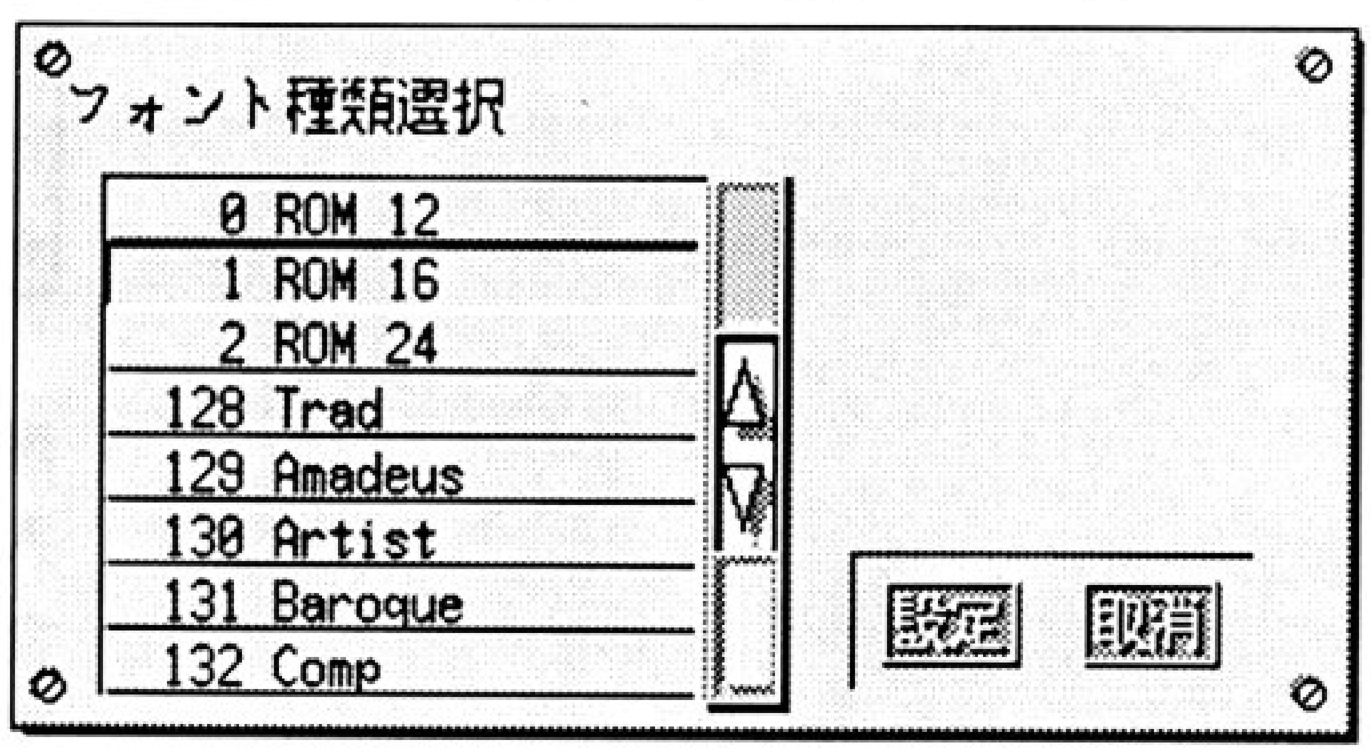
表示されたダイアログ上で入力した文字を選択し、フォントや文字飾りを設定してルビ文字のイメージを作成してから、⏎を押すか、[実行]を左クリックすると、ルビが設定されます。
ルビ文字はイメージデータとして文字属性情報に付加されますので、ルビ文字の修正はできません。
ルビ文字の消去は、ルビ、上線解除で行うことができます。

●フォント選択(選択された文字列、または入力環境(カレント)を設定)

[書式] selfont

[書式例] selfont

これを実行すると、次のように表示されます。



表示されたダイアログ内のメニューからフォントを選択し、⏎を押すか、[設定]を左クリックします。
文字が選択されているときは、選択された文字のフォントが、選択されていないときは、以後に入力される文字が、設定したフォントに変更されます。

付録

●倍率設定(拡大・縮小表示)(編集中のテキストの編集環境に設定)

書式 scale [スイッチ]
-Sn,n (n/1024)倍 (よこ,たて)

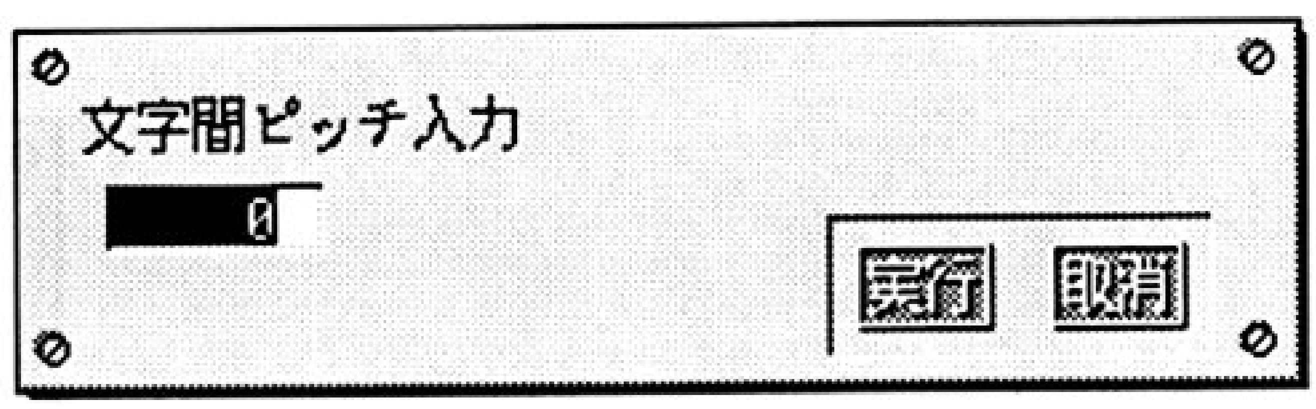
これを実行すると、編集画面が設定した倍率で表示されます。
倍率を変更した画面でも編集することができます。

書式例 scale -S256,256
25%の大きさで表示する

●文字間ピッチ設定(選択された文字列、またはカーソルの右1文字に設定)

書式 track [スイッチ]
-Tn(文字間ピッチ)

スイッチを省略すると、次のように表示されます。



表示されたダイアログ内で、文字間ピッチのドット数を入力し、⏎を押すか、実行 を左クリックします。
文字が選択されているときは、選択された文字の後ろに、選択されていないときは、以後に入力される文字の後ろに、設定したドット数の空白が挿入されます。

書式例 track -T6
文字間を6ドットに設定する

付録

付-3 操作一覧

ファイル操作

編集中のテキストを保存して編集は継続	ESC・H
編集中のテキストを保存して編集を終了	ESC・X
編集中のテキストを保存せず編集を終了	ESC・K
すべてのテキストを保存して編集を終了	ESC・E
すべてのテキストを保存せず編集を終了	ESC・Q

編集中のテキストのファイル名を変更	ESC・T
新しいファイルのテキストを編集	ESC・F / SHIFT +F1
テキストの編集を最初からやり直す	ESC・O / SHIFT +F2

指定した範囲をファイルに書き出す（書き出す範囲は範囲指定の開始 F6 で指定された始点からカーソルまで）	ESC・W / SHIFT +F9
ファイルを読み込み、カーソル位置に挿入	ESC・Y / SHIFT +F8

編集テキストの切り替え（昇順）	ESC・A / SHIFT +F6 / HOME
編集テキストの切り替え（降順）	ESC・D / SHIFT +F7 / CLR
編集ウィンドウの切り替え（昇順）	ESC・ CTRL +A
編集ウィンドウの切り替え（降順）	ESC・ CTRL +D

置換

前方連続置換（↓）確認あり	ESC・J / F3
後方連続置換（↑）確認あり	ESC・L / SHIFT +F3

前方連続置換（↓）確認なし	ESC・R
後方連続置換（↑）確認なし	ESC・U

前方連続置換（↓）表示&確認なし	ESC・^
後方連続置換（↑）表示&確認なし	ESC・_

カレントワード前方連続置換（↓）確認あり	ESC・[
カレントワード後方連続置換（↑）確認あり	ESC・＼
全域連続置換（全テキストを置換）確認あり	ESC・@

大文字変換／小文字変換のモード切り替え	ESC・]
大文字変換あるいは小文字変換の実行	CTRL +]

（カレントワード＝カーソル以降の１ワード）

検索

前方検索(↓)	[ESC]・[N] / [F4]
後方検索(↑)	[ESC]・[S] / [SHIFT] + [F4]
カレントワード前方検索(↓)	[CTRL] + [^]
カレントワード後方検索(↑)	[CTRL] + [\]
全域前方検索(全テキストを検索)	[ESC]・[I]

前方次検索(↓)(または全域検索)	[F5]
後方次検索(↑)	[SHIFT] + [F5]

キーボードマクロ

キーボードマクロの定義開始、および定義終了	[CTRL] + [O]
キーボードマクロの実行	[UNDO]
キーボードマクロをn回実行する	[ESC]・n・[;]
キーボードマクロの編集	[ESC]・[:]
キーボードマクロの中断(確認あり)	[CTRL] + [_]

カット・コピー&ペースト

カーソル位置から行末までを削除　→削除バッファへ転送	[CTRL] + [K]
行頭からカーソルの直前までを削除　→削除バッファへ転送	[CTRL] + [U]
カーソル位置の1ラインを削除　→削除バッファへ転送	[CTRL] + [Y]
削除バッファの内容をカーソル位置に複写	[CTRL] + [L]

範囲指定の開始、および取消し(範囲はカーソル移動で指定)	[F6]
(カット)指定した範囲を削除　→クリップボードへ転送	[F7]
(コピー)指定した範囲　→クリップボードへ転送	[F8]
カーソル行からn行削除　→クリップボードへ転送	[ESC]・n・[P]
クリップボードの内容をカーソル位置にn回複写	[ESC]・n・[G]
(ペースト)クリップボードの内容をカーソル位置に挿入	[F9]

1文字削除	[CTRL] + [G] / [DEL]
1ワード削除	[CTRL] + [T]
バックスペース(後退)	[CTRL] + [H] / [BS]

付録

カーソル移動

カーソルを１文字左に移動	[CTRL]＋[S]／[←]
カーソルを１文字右に移動	[CTRL]＋[D]／[→]
カーソルを１文字上に移動	[CTRL]＋[E]／[↑]
カーソルを１文字下に移動	[CTRL]＋[X]／[↓]

カーソルを１ワード左に移動	[CTRL]＋[A]
カーソルを１ワード右に移動	[CTRL]＋[F]
カーソルを左端に移動	[CTRL]＋[Q]
カーソルを右端に移動	[CTRL]＋[P]
カーソルを左端(または右端)に移動	[CTRL]＋[B]

カーソルをテキストの先頭に移動	[ESC]・[B]／[F1]
カーソルをテキストの最後に移動	[ESC]・[Z]／[F2]
カーソルをホーム位置に移動	[SHIFT]＋[HOME]

指定行番号へのジャンプ	[ESC]・[NUM]
タグジャンプ	[ESC]・[V]
指定行数前方へジャンプ	[ESC]・n・[+]
指定行数後方へジャンプ	[ESC]・n・[-]
マークジャンプ位置へのジャンプ	[ESC]・n・[M]'

画面スクロール

画面をロールアップ	[CTRL]＋[C]／[ROLLUP]
画面をロールダウン	[CTRL]＋[R]／[ROLLDOWN]
画面をn行分ロールアップ	[CTRL]＋[Z]
画面をn行分ロールダウン	[CTRL]＋[W]

（n行分：起動時、あるいは環境で設定したスクロール行）

その他のキー入力

水平タブ	[CTRL]＋[I]／[TAB]
改行と行分割	[CTRL]＋[M]／[CR]

ＥＳＣコマンド	[CTRL]＋[[]／[ESC]
コントロールコードの入力	[CTRL]＋[V]
コマンドの実行	[ESC]・[C]／[SHIFT]＋[F10]
外部コマンドの実行	[ESC]・[CTRL]＋[C]
ヘルプウィンドウの表示	[CTRL]＋[SHIFT]＋[J]／[HELP]

マークの登録	[CTRL]＋[J]

カーソルの上に1行挿入	CTRL + N
行の二重化	F10
改行文字の表示/非表示	ESC・CTRL + M
タブ文字の表示/非表示	ESC・(
テキスト終端記号の表示	ESC・'
行数表示の切り替え	ESC・}
キー定義の初期化	SHIFT + HELP

CTRLキー機能一覧

CTRL + A	カーソルを1ワード左に移動
CTRL + B	カーソルを左端(または右端)に移動
CTRL + C	画面をロールアップ
CTRL + D	カーソルを1文字右に移動
CTRL + E	カーソルを1文字上に移動
CTRL + F	カーソルを1ワード右に移動
CTRL + G	1文字削除
CTRL + H	バックスペース(後退)
CTRL + I	水平タブ
CTRL + J	マークの登録
CTRL + K	カーソル位置から行末までを削除→削除バッファへ転送
CTRL + L	削除バッファの内容をカーソル位置に複写
CTRL + M	改行と行分割
CTRL + N	カーソルの上に1行挿入
CTRL + O	キーボードマクロの定義開始、および定義終了(終了後にキーバインドする)
CTRL + P	カーソルを右端に移動
CTRL + Q	カーソルを左端に移動
CTRL + R	画面をロールダウン
CTRL + S	カーソルを1文字左に移動
CTRL + T	1ワード削除
CTRL + U	行頭からカーソルの直前までを削除→削除バッファへ転送
CTRL + V	コントロールコードの入力
CTRL + W	画面を設定したスクロール行分ロールダウン
CTRL + X	カーソルを1文字下に移動
CTRL + Y	カーソル位置の1ラインを削除→削除バッファへ転送
CTRL + Z	画面を設定したスクロール行分ロールアップ
CTRL + [	ESCコマンド
CTRL + ＼	カレントワードの後方検索
CTRL +]	現在のモードで大文字/小文字変換
CTRL + ^	カレントワードの前方検索

CTRL + ␣	キーボードマクロの中断(確認あり)
SHIFT + CTRL + A	現在の選択位置を1ワード左に移動
SHIFT + CTRL + B	現在の選択位置を左端(または右端)に移動
SHIFT + CTRL + C	現在の選択位置を1画面下に移動
SHIFT + CTRL + D	現在の選択位置を1文字右に移動
SHIFT + CTRL + E	現在の選択位置を1文字上に移動
SHIFT + CTRL + F	現在の選択位置を1ワード右に移動
SHIFT + CTRL + G	1文字削除
SHIFT + CTRL + H	バックスペース(後退)
SHIFT + CTRL + I	水平タブ
SHIFT + CTRL + J	ヘルプファイルを開く
SHIFT + CTRL + K	カーソル位置から行末までを削除→削除バッファへ転送
SHIFT + CTRL + L	削除バッファの内容をカーソル位置に複写
SHIFT + CTRL + M	改行と行分割
SHIFT + CTRL + N	カーソルの上に1行挿入
SHIFT + CTRL + O	キーボードマクロの定義開始、および定義終了
SHIFT + CTRL + P	現在の選択位置を右端に移動
SHIFT + CTRL + Q	現在の選択位置を左端に移動
SHIFT + CTRL + R	現在の選択位置を1画面上に移動
SHIFT + CTRL + S	現在の選択位置を1文字左に移動
SHIFT + CTRL + T	1ワード削除
SHIFT + CTRL + U	行頭からカーソルの直前までを削除→削除バッファへ転送
SHIFT + CTRL + V	コントロールコードの入力
SHIFT + CTRL + W	画面を設定したスクロール行分ロールダウンし選択位置を変更する
SHIFT + CTRL + X	現在の選択位置を1文字下に移動
SHIFT + CTRL + Y	カーソル位置の1ラインを削除→削除バッファへ転送
SHIFT + CTRL + Z	画面を設定したスクロール行分ロールアップし選択位置を変更する
SHIFT + CTRL + [	ESCコマンド
SHIFT + CTRL + ＼	カレントワードの後方検索
SHIFT + CTRL +]	現在と反対のモードで大文字／小文字変換
SHIFT + CTRL + ^	カレントワードの前方検索
SHIFT + CTRL + ␣	キーボードマクロの中断(確認あり)

付録

ESCコマンド一覧

[ESC]・[CTRL]+[A]	編集ウィンドウの切り替え(昇順)
[ESC]・[CTRL]+[B]	カレントワードの全域検索
[ESC]・[CTRL]+[C]	外部コマンドの起動
[ESC]・[CTRL]+[D]	編集ウィンドウの切り替え(降順)
[ESC]・[CTRL]+[F]	新規編集ウィンドウのオープン
[ESC]・[CTRL]+[H]	環境の保存
[ESC]・[CTRL]+[I]	前回検索した文字で全域検索
[ESC]・[CTRL]+[J]	前回検索した文字で前方置換(確認あり)
[ESC]・[CTRL]+[L]	前回検索した文字で後方置換(確認あり)
[ESC]・[CTRL]+[M]	改行文字(↓)の表示／非表示
[ESC]・[CTRL]+[N]	前回検索した文字で前方検索
[ESC]・[CTRL]+[R]	前回検索した文字で前方置換(確認なし)
[ESC]・[CTRL]+[S]	前回検索した文字で後方検索
[ESC]・[CTRL]+[T]	環境ファイル名の変更
[ESC]・[CTRL]+[U]	前回検索した文字で後方置換(確認なし)
[ESC]・[CTRL]+[Y]	環境ファイルの読み込み
[ESC]・[CTRL]+[^]	前回検索した文字で前方置換(表示なし)
[ESC]・[CTRL]+[_]	前回検索した文字で後方置換(表示なし)
[ESC]・[ ]	すべてのテキストを保存して編集は継続
[ESC]・[!]	1ライン半角文字数入力
[ESC]・["]	水平タブ文字数入力
[ESC]・[#]	改行幅入力
[ESC]・[$]	スクロール行数入力
[ESC]・[']	テキスト終端記号([EOF])の表示
[ESC]・[(]	タブ文字(→･･･)の表示
[ESC]・[)]	(カット)指定した範囲を削除　→クリップボードへ転送
[ESC]・[*]	(コピー)指定した範囲　→クリップボードへ転送
[ESC]・[+]	指定行数前方へジャンプ
[ESC]・[,]	表示オフ
[ESC]・[-]	指定行数後方へジャンプ
[ESC]・[/]	カーソルをホーム位置に移動
[ESC]・[0]	数値付コマンド入力
[ESC]・[1]	数値付コマンド入力
[ESC]・[2]	数値付コマンド入力
[ESC]・[3]	数値付コマンド入力
[ESC]・[4]	数値付コマンド入力
[ESC]・[5]	数値付コマンド入力
[ESC]・[6]	数値付コマンド入力
[ESC]・[7]	数値付コマンド入力
[ESC]・[8]	数値付コマンド入力

付録

ESC・9	数値付コマンド入力
ESC・:	キーボードマクロの編集
ESC・n;	キーボードマクロをn回実行する
ESC・<	小ウィンドウ化　{96,16,556,162}
ESC・=	画面大ウィンドウ化
ESC・>	大ウィンドウ化　{86,22,680,490}
ESC・?	新規保存
ESC・@	全域置換
ESC・A	編集テキストの切り替え(昇順)
ESC・B	カーソルをファイルの先頭に移動
ESC・C	コマンドの実行
ESC・D	編集テキストの切り替え(降順)
ESC・E	すべてのテキストを保存して編集終了
ESC・F	新しいファイルの編集
ESC・nG	クリップボードの内容をカーソル位置にn回複写
ESC・H	編集中のテキストを保存して編集は継続
ESC・I	全域検索
ESC・J	前方置換(確認あり)
ESC・K	編集中のテキストを保存せず編集を終了
ESC・L	後方置換(確認あり)
ESC・nM	マークジャンプ位置へのジャンプ(n省略で番号入力表示)
ESC・N	前方置換
ESC・O	テキストの編集を最初からやり直す
ESC・nP	カーソル位置からn行削除→クリップボードへ転送(選択時n無効)
ESC・Q	すべてのテキストを保存せず編集を終了
ESC・R	前方置換(確認なし)
ESC・S	後方検索
ESC・T	編集中のテキストファイル名を変更
ESC・U	後方置換(確認なし)
ESC・V	タグジャンプ
ESC・W	指定した範囲をファイルに書き出す
ESC・X	編集中のテキストを保存して編集を終了
ESC・Y	ファイルを読み込み、カーソル位置に挿入
ESC・Z	カーソルをファイル最終行に移動
ESC・[	カレントワードの前方置換
ESC・＼	カレントワードの後方置換
ESC・]	大文字/小文字変換モードを逆にする
ESC・^	前方置換(表示なし)
ESC・_	後方置換(表示なし)
ESC・a	編集テキストの切り替え(昇順)
ESC・b	カーソルをファイルの先頭に移動

付録

ESC・c	コマンドの実行
ESC・d	編集テキストの切り替え（降順）
ESC・e	すべてのテキストを保存して編集を終了
ESC・f	新しいファイルの編集
ESC・g	クリップボードの内容をカーソル位置にn回複写
ESC・h	編集中のテキストを保存して編集は継続
ESC・i	全域検索
ESC・j	前方置換
ESC・k	編集中のテキストを保存せず編集を終了
ESC・l	後方置換
ESC・m	マークジャンプ位置へのジャンプ
ESC・n	前方検索
ESC・o	テキストの編集を最初からやり直す
ESC・n p	カーソル位置からn行削除→クリップボードへ転送（選択時n無効）
ESC・q	すべてのテキストを保存せず編集を終了
ESC・r	前方置換（確認なし）
ESC・s	後方検索
ESC・t	編集中のテキストのファイル名を変更
ESC・u	後方置換（確認なし）
ESC・v	タグジャンプ
ESC・w	指定した範囲をファイルに書き出す
ESC・x	編集中のテキストを保存して編集を終了
ESC・y	ファイルを読み込み、カーソル位置に移動
ESC・z	カーソルをファイル最終行に移動
ESC・}	論理行/物理行の表示切り替え

ファンクションキー機能一覧

F1	カーソルをファイルの先頭に移動
F2	カーソルをファイル最終行に移動
F3	前方置換
F4	前方検索
F5	前方次検索
F6	範囲指定の開始、および取消し
F7	(カット)指定した範囲を削除 →クリップボードへ転送
F8	(コピー)指定した範囲 →クリップボードへ転送
F9	クリップボードの内容をカーソル位置に挿入
F10	行の二重化
SHIFT + F1	新しいファイルの編集
SHIFT + F2	テキストの編集を最初からやり直す
SHIFT + F3	前方置換(表示なし)
SHIFT + F4	後方検索
SHIFT + F5	後方次検索
SHIFT + F6	編集テキストの切り替え(昇順)
SHIFT + F7	編集テキストの切り替え(降順)
SHIFT + F8	ファイルを読み込み、カーソル位置に挿入
SHIFT + F9	指定した範囲をファイルに書き出す
SHIFT + F10	コマンドの実行

単一キー機能一覧

DEL	1文字削除
BS	バックスペース(後退)
→	カーソルを1文字右に移動
←	カーソルを1文字左に移動
↑	カーソルを1文字上に移動
↓	カーソルを1文字下に移動
HELP	ヘルプファイルを開く
UNDO	キーボードマクロを実行する
CLR	編集テキストの切り替え(降順)
HOME	編集テキストの切り替え(昇順)
ROLL UP	画面をロールアップ
ROLL DOWN	画面をロールダウン
SHIFT + DEL	1文字削除
SHIFT + HELP	キー定義の初期化
SHIFT + UNDO	キーボードマクロを実行する
SHIFT + HOME	カーソルをホーム位置に移動
SHIFT + ROLL UP	現在の選択位置を1画面下に移動
SHIFT + ROLL DOWN	現在の選択位置を1画面上に移動

オプションキー機能一覧

OPT.1 + -	キーボードマクロの中断(確認あり)
OPT.1 + 0	最新の編集位置へのジャンプ
OPT.1 + 1	外部コマンドの起動
OPT.1 + A	全選択
OPT.1 + B	矩形ペースト
OPT.1 + C	(コピー)指定した範囲　→クリップボードへ転送
OPT.1 + D	カレントテキストの分割
OPT.1 + N	新規編集ウィンドウのオープン
OPT.1 + O	新しいファイルの編集
OPT.1 + Q	すべてのテキストを保存せず編集を終了
OPT.1 + S	編集中のテキストを保存して編集は継続
OPT.1 + V	(ペースト)クリップボードの内容をカーソル位置に挿入
OPT.1 + W	編集中のテキストを保存せず編集を終了
OPT.1 + X	(カット)指定した範囲を削除　→クリップボードへ転送
OPT.1 + Z	取り消し

起動時のオプション

-@	バックアップファイルの作成をしない
-Gfile	環境ファイルを指定する
-Mn	1ラインの文字数を半角文字数で指定　標準は96
-Hn	水平タブの表示幅を半角文字数で指定　標準は8
-Dn	最小改行幅をドット数で指定　標準は1
-Sn	1回にスクロールする行数を指定　標準は3
-Fn,n,n	フォントのＩＤとサイズ(よこ、たて) サイズ省略のときは、フォント番号0のとき12×12、1のとき16×16、それ以外のときは24×24のサイズで表示
-Kn	文字飾りを指定
-R	編集禁止属性でオープン
-Jn	nで指定された行位置にジャンプする
-L	改行文字(↓)の表示を指定
-T	タブ文字(→･･･)の表示を指定
-E	終端記号([EOF])の表示を指定
-Pn	行数表示の指定　0=論理行数:論理行位置:論理桁位置 1=物理行数:物理行位置:物理桁位置 上記以外で指定された値を1頁として表示 頁位置:頁内行位置:物理桁位置
-An	アクセスページを指定　標準は2
-In	オートインデントの指定　1はオートインデントを行う
-LT	改行コードの指定　0=$0d0a/1=$0a/2=$0d/3=自動判別
-U	ワードラッピング桁数の指定　0でワードラッピングオフ
-Zn,n	禁則桁数と行頭禁則の指定　桁数0で禁則処理を行わない 0=ぶらさがり禁則/1=追い出し禁則
-Bn	1=文字飾りを保存する 2=文字飾りと環境を保存する
-STn	スタックサイズをKバイト単位で指定する　標準は8K
-Cn	1=ウィンドウを親と同じところにオープンする 2=同一ウィンドウに複数ファイルをオープンする
-N	-1=で-C2の時でも親と別のウィンドウにオープンする
-Vn,n	ウィンドウの幅と高さをドット単位で指定　同時に-Wが指定されているときは無効
-Wn,n,n,n	ウィンドウの表示位置と大きさを左上と右下のドット単位の座標で指定する x1,y1,x2,y2
-Y	同一ファイルのオープンを許可する

付録

付-4 用語説明

数字

1ラインドット数
1行のドット数。

1ライン文字数
1行(物理行)の半角文字数。

A~T

ROM12ドット
ROMにある12×12ドットフォント。

ROM16ドット
ROMにある16×16ドットフォント。

ROM24ドット
ROMにある24×24ドットフォント。

TEXTn.$$$
新規ファイル作成に自動的に付くファイル名。nはウィンドウが開くたびに1つ増える。

あ

網掛アイコン
網掛・下線などを設定するアイコン。

イタリック
文字を斜めに傾けた文字。

移動
移動元でカットした文字を、移動先でペーストする。

イメージ印刷
設定した文字の大きさや文字飾りをそのまま印刷する。

イメージコピー
選択したイメージデータをそのままにしてクリップボードに格納する。設定されている文字飾りや大きさは格納されない。

イメージペースト
イメージコピーしたイメージデータをクリップボードから入力する。

印刷アイコン
印刷を行うアイコン。

上書きモード
入力文字の上から書き換えるモード。罫線文字で囲まれた中の文字を修正するときなどに使う。

エスケーププレフィックス(ESC プレフィックス)
ESC を押し、続いて任意のキーを押して実行する機能。

エディタ
指定したファイルをエディタモードで開く。

エディタ.ENV
マルチフォントエディタのエディタモード環境ファイル。

エディタモード
ソースプログラムなどをスピーディに作成するモード。

オートインデント
タブ文字やスペースで設定した行の開始位置に自動的に揃うように改行する。

追い出し禁則
行末に入力されたくない「(」「〔」などを次行の行頭へ移動する処理。禁則文字数(禁則する桁数)の設定後、追い出し禁則を選択する。

置き換え
選択した文字と入力・ペーストした文字を置き換えること。

オプションシーケンス(OPT.1 シーケンス)
OPT.1 を押しながら任意のキーを押して実行する機能。

か

カーニング
アウトラインフォントの文字間を調整してすっきりした感じにする。

改行文字(↓)
行に入力した文字の終了を意味する。

改行文字削除
改行文字挿入で挿入した改行文字(↓)を削除する。

改行文字挿入
行の折り返し位置に改行文字(↓)を挿入する。

付録

外部コマンド
機能を実行するためのコマンド。

拡大縮小表示
編集した内容を拡大縮小して画面で確認する。

カット
選択した文字を削除し、クリップボードに格納する。設定されている文字飾りや大きさなどをそのまま格納する。

影つき
影を付け立体的なイメージにした文字。

環境アイコン
マルチフォントエディタの使用環境などを設定するアイコン。

環境ファイル
マルチフォントエディタの操作環境を定義しているファイル。エディタモードはエディタ.ENV、文書編集モードはシャーペン.ENV。

環境保存
編集中のウィンドウに読み込まれているキー定義情報を環境ファイルに保存する。エディタモードではエディタ.ENVに、文書編集モードではシャーペン.ENVに保存される。

キー定義書き出し
編集中のウィンドウのキー定義情報を任意のテキストファイルに書き出す。

キー定義ファイル
マルチフォントエディタの環境を設定するテキストファイル。キー定義書き出しを使って、自由に作成できる。

キー定義読み込み
キー定義ファイル(テキストファイル)からキー定義情報を編集中のウィンドウに読み込み、反映する。

キーボードマクロ機能
操作手順をキーに登録して使用する機能。

行数表示
論理行数、物理行数、ページ数表示の表示。ウィンドウ右上に表示される。

強制改行幅
次行と重ね合わせるために改行幅を狭める。

強調
文字を太くする。

禁則処理
行頭に入力されたくない「。」「、」などや、行末に入力されたくない「(」「〔」などをそれぞれ行末や行頭に移す処理。行末への移動は「ぶら下がり」、行頭への移動は「追い出し」。禁則処理をするには、禁則文字数(禁則する桁数)の設定後、追い出し禁則を選択する。

矩形ペースト
矩形範囲でカット・コピーした文字を、クリップボードから矩形で挿入する。

クリップボード
文字データとイメージデータを1つずつ格納する。

罫線アイコン
罫線文字の入力・消去を行うアイコン。

罫線モード
罫線文字の入力・消去するときのモード。カーソル移動キーで罫線文字の入力・消去ができる。罫線文字の入力・消去時は上書きモード、文字入力時は挿入モードになる。

検索
指定した文字を探す。

検索アイコン
文字の検索・置換を行うアイコン。

コード印刷
プリンタの文字フォントで印刷する。イメージデータは印刷されない。

高速後方置換(非表示)
カーソル位置から文頭へ指定した文字を一括置換する。

高速全域置換(非表示)
編集中のテキストすべてを対象に指定した文字を一括置換する。

高速前方置換(非表示)
カーソル位置から文末へ指定した文字を一括置換する。

後方検索
カーソル位置から文頭へ指定した文字を検索する。

後方次検索
カーソル位置から文頭へ前回検索した文字を検索する。

後方置換
カーソル位置から文頭へ指定した文字を置換する。

コピー
選択した文字をそのままにしてクリップボードに格納する。イメージデータは設定されている文字飾りや大きさなどをそのまま格納する。

コントロールシーケンス([CTRL]シーケンス)
[CTRL]を押しながら任意のキーを押して実行する機能。

コントロール左ドラッグ
[CRTL]を押しながらマウスの左ボタンを押してマウスを移動すること。矩形範囲の選択などに使う。

さ

最小改行幅
行間のドット数。文字の高さを含む。

サイズアイコン
文字の大きさを設定するアイコン。「標準」は、文字フォントの標準の大きさ。

シフト左クリック(SHIFT+左クリック)
SHIFTを押しながらマウスの左ボタンを1回押すこと。カーソル位置からポインタまでの選択などに使う。

シフトコントロールシーケンス(SHIFT+CTRLシーケンス)
SHIFTとCTRLを押しながら任意のキーを押して実行する機能。

シフトコントロール左ドラッグ(SHIFT+CTRL+左ドラッグ)
SHIFTとCTRLを押しながら、マウスの左ボタンを押してマウスを移動すること。選択されている矩形範囲の始点を固定したまま変更するときに使う。

シフトファンクションキー(SHIFTファンクションキー)
SHIFTを押しながらF1〜F10などを押す。

シフト右プレス(SHIFT+右プレス)
SHIFTを押しながらマウスの右ボタンを押し続ける。マークジャンプのポップアップメニューの表示に使う。

シャーペン.ARC
マルチフォントエディタの外部コマンドアーカイブファイル。

シャーペン.ENV
文書編集モードの環境ファイル。

シャーペン.X
マルチフォントエディタの本体。

終端記号([EOF])
ファイル内のデータの最後を示す印。

終了
マルチフォントエディタを終了する。

ショートカットキー
さまざまな機能が割り付けられた任意のキー。スピーディに機能を実行できる。

消去
選択した文字を削除する。クリップボードには格納しない。

新規
編集中のウィンドウと同じモードの新しいウィンドウを開く。マルチバッファ機能使用時は、編集中のファイルをバッファに退避させる。

シングルウィンドウモード
マルチバッファ機能使用時のモード。編集中のウィンドウを複数のファイルで使用できる。

シングルビュー
分割したウィンドウのうち、編集中でないウィンドウを閉じる。

水平タブ文字数
タブ位置の半角文字数。

スクロール行数
一度にスクロールする行数。

すべて保存
編集中のすべてのファイルを保存する。

全域検索
編集中のすべてのテキストを対象に、指定した文字を検索する。

全域置換
文頭から文末まで指定した文字を置換する。

全選択
テキスト領域内のすべてを選択する。

前方検索
カーソル位置から文末へ指定した文字を検索する。

前方次検索
カーソル位置から文末へ前回検索した文字を検索する。

前方置換
カーソル位置から文末へ指定した文字を置換する。

挿入モード
文字の入力・編集するときのモード。
INSのランプの点灯/無灯に関係なく常に挿入モードとなる。

た

タイトルバー
ウィンドウ上部のバー。ファイル名などが表示される。

タブ文字(→・・・・)
TABを押して入力した文字。

置換
入力されている文字を、指定した文字に置き換える。

中央よせ
選択した行の文字を1行の中央に移動する。

ディスクアイコン
ファイルの開く/閉じるなどを行うアイコン。

付録

テキスト編集領域
テキスト文字を入力・編集する領域。

特殊文字入力
コントロールコードを入力する。CTRL+Vで特殊文字入力モードになる。

閉じる
編集中のウィンドウを閉じる。

取り消し
直前に実行した編集機能などを取り消し、実行前の状態に戻す。

な

中抜き
文字の輪郭を残し、中を白く抜く文字。

日本語の入力
CTRL+XF1を押すと、日本語入力モードになる。

は

バックアップファイル
編集前のファイルを拡張子「.BAK」を付けて保存したファイル。

左クリック
マウスの左ボタンを1回押すこと。カーソルを移動するときなどに使う。

左ダブルクリック
マウスの左ボタンを続けて2回押すこと。
1単語の選択などに使う。

左ドラッグ
マウスの左ボタンを押しながらマウスを移動すること。範囲の選択などに使う。

左トリプルクリック
マウスの左ボタンを続けて3回押すこと。
1行の選択に使う。

左よせ
選択した行の文字を行頭に寄せる。

表示アイコン
画面表示や行数表示を行うアイコン。

標準サイズ
文字フォントの標準の大きさ。

ファイルアイコン
ファイルの開く/閉じるなどを行うアイコン。

ファンクションキー
F1～F10などのキー。

フォント
文字の種類。ROMフォント(12ドット、16ドット、24ドット)、アウトラインフォント(Tradなど)がある。Zeit社から発売されている「書体倶楽部」も使用できる。アウトラインフォント使用時は、IFM.Xを実行する必要がある。各種フォントの大きさは、サイズアイコンで設定する。

フォントアイコン
文字フォントを選択するアイコン。

フォントサイズ変更
入力・編集する文字フォントの大きさを指定する。

フォント種類変更
入力・編集する文字フォントを選択する。

複写
複写元でコピーした文字を、複写先でペーストする。

物理行
1ライン文字数で設定された行。

ぶら下がり
行頭に入力されたくない「。」「、」などを前行の行末に移動する処理。禁則文字数(禁則する桁数)の設定後、追い出し禁則を選択する。

プリンタアイコン
印刷・拡大・縮小表示などを行うアイコン。

分割
マルチビューを使って同じファイルのウィンドウを2つ開く。閉じるときは、シングルビューを使う。

文書編集
指定したファイルを文書編集モードで開く。

文書編集モード
文字飾りやフォントを使用してワープロ的に文書を作成するモード。

頁行数表示
1ライン文字数で設定した行を1行とし、設定された1ページの行数で表示する。

ペースト
クリップボードに格納した文字を入力する。

別名で保存
編集した内容を別のファイル名で保存する。

編集禁止
修正削除などの編集ができない状態。

保存
編集中のファイルを保存する。

付録

ま

マークジャンプ
登録しておいたマーク位置にカーソルをジャンプすること。

マルチバッファ機能
１つのウィンドウを複数のファイルで使用できるように、表示中以外のファイルをバッファに退避させる機能。

マルチビュー
編集中のファイルのウィンドウを２つ開く。

右プレス
マウスの右ボタンを押し続ける。ポップアップメニューなどの表示に使う。

右よせ
選択した行の文字を右に寄せる。

文字アイコン
文字フォントを選択するアイコン。

文字飾りアイコン
文字を修飾するアイコン。

文字間ピッチ
文字と文字の間隔。

ら

ルビ
漢字などの上に付けるふりがな。大きさを自由に変えられる。

論理行
改行文字までを１行とする。

わ

ワードラップ
１つの英単語（半角のみ）が２行にまたがらないように次行に送る。ワードラップ文字数で設定した半角文字数以下の英単語が次行に送られる。

索　引

数字

Ⓐ〜Ⓩ

Ⓐ

か

ⓢ さ

た

な

は

㋮

㋫

㋻

シャープ株式会社

本　　社　〒545 大阪市阿倍野区長池町22番22号　電話(06) 621-1221(大代表)
電子機器事業本部　〒329-21 栃木県矢板市早川町174番地　電話(0287)43-1131(大代表)

TMAN-3739CEZZ

T0593-A ②